

看護職員確保に係る実態調査報告書

令和 7 年 3 月

福岡県 保健医療介護部
医療指導課 医師・看護職員確保対策室

目 次

I 調査結果の概要	1
1 調査の概要	2
2 調査結果の概要	2
3 ライフステージに応じた看護職員の確保	6
II 調査概要	12
1 目的	13
2 調査対象	13
3 調査方法	13
4 調査時期	13
5 回答状況	13
III 調査結果	14
1 看護職員数及び離職状況	15
2 看護職員の確保	18
3 看護職員の勤務環境	27
4 看護補助者の確保	44
IV まとめ及び考察	48
V データ集	52
1 施設調査(単純集計)	53
2 看護職員調査(単純集計)	64
3 施設調査(クロス集計)	74
4 看護職員調査(クロス集計)	87
VI 福岡県看護職員確保対策協議会	96
VII 調査票	100

I 調査結果の概要

1 調査の概要

- (1) 目的：今後の本県における看護職員等の確保及び質の向上のための施策に繋げる基礎資料とするため、看護職員等の人材確保や充足状況、職場環境の状況について把握を行う。
- (2) 調査対象：①施設調査：6,451施設 ②看護職員調査：78,912人
- (3) 調査方法：対象施設に郵送により依頼し、ふくおか電子申請サービスにて回答
- (4) 調査期間：令和6年11月18日(月)～令和6年12月13日(金)
- (5) 回答状況：

①施設の回答状況 2,201施設

施設	対象施設数	回答数	回答率
病院	451	215	47.7%
診療所	4,205	1,110	26.4%
訪問看護ステーション	984	449	45.6%
介護老人保健施設	173	84	48.6%
介護老人福祉施設	439	191	43.5%
介護医療院	55	23	41.8%
障がい児・者施設	144	81	56.3%
その他(無回答を含む)		48	
合計	6,451	2,201	34.1%

②看護職員の回答状況

所属施設	回答数	割合
病院	6,171	60.5%
診療所	1,941	19.0%
訪問看護ステーション	1,005	9.8%
介護老人保健施設	219	2.1%
介護老人福祉施設	294	2.9%
介護医療院	85	0.8%
障がい児・者施設	130	1.3%
その他(無回答を含む)	363	3.6%
合計	10,208	

2 調査結果の概要

(1) 看護職員の状況

①離職率

看護職員数及び離職率	看護職員計	保健師	助産師	看護師	准看護師
① 令和5年4月1日時点の在籍看護職員数 (令和5年5月1日の免許取得予定者含む)	36,006	182	853	30,874	4,097
② 令和5年10月1日時点の在籍看護職員数	35,814	186	850	30,730	4,048
③ 令和6年3月31日時点の在籍看護職員数 (3月31日付の退職者数を含む)	35,108	190	838	30,131	3,949
④ 令和5年度新卒採用者数 (「新卒」とは免許取得後初めて就労した職員とする)	1,636	2	58	1,508	68
⑤ ④のうち令和5年度中の新卒退職者数	149	0	0	127	22
⑥ 令和5年度の既卒採用者数 (「新卒」以外の看護職員)	2,573	31	59	2,127	356
⑦ ⑥のうち令和5年度中の既卒退職者数	735	4	17	567	147
⑧ 令和5年度の総退職者数 (新卒・既卒・定年退職者全てを含む)	4,642	29	113	3,943	557
総離職率 (=⑧÷{(①+③)÷2}×100)	13.1%	15.6%	13.4%	12.9%	13.8%
新卒離職率 (=⑤÷④×100)	9.1%	0.0%	0.0%	8.4%	32.4%
既卒者(令和5年度採用者)離職率 (=⑦÷⑥×100)	28.6%	12.9%	28.8%	26.7%	41.3%
総退職者のうち令和5年度採用者の退職 が占める割合 (= (⑤+⑦)÷⑧×100)	19.0%	13.8%	15.0%	17.6%	30.3%

※2022年度：総離職率 12.3%、新卒者 11.8% (2023年病院看護実態調査(日本看護協会))

※離職率の計算方法は、日本看護協会の算出方法に同じ。

- 年 齡 別 看 護 職 員 數 (R4 衛 生 行 政 報 告 例)
-
- | 年 齡 別 | 人 数 (人) |
|--------|---------|
| 25歳未満 | 7,000 |
| 25～29歳 | 10,000 |
| 30～34歳 | 8,500 |
| 35～39歳 | 9,500 |
| 40～44歳 | 10,800 |
| 45～49歳 | 11,500 |
| 50～54歳 | 9,800 |
| 55～59歳 | 7,200 |
| 60～64歳 | 5,000 |
| 65歳以上 | 3,500 |

(n=6,253)	
転職経験者の離職理由	割合
職場の人間関係	28.5%
時間外勤務が多い	24.1%
賃金が安い	23.8%
業務の負担感	23.7%
結婚・妊娠・出産	23.5%

看護職員採用者数及び充足率	総数	保健師	助産師	看護師	准看護師
令和6年4月1日時点の採用必要数	3,536	13	97	3,112	314
令和6年4月1日付採用者総数	3,175	15	97	2,783	280
充足率	89.8%	115.4%	100.0%	89.4%	89.2%
令和6年4月1日付採用者総数(委託・派遣を除く)	2,481	10	77	2,261	133
充足率(委託・派遣を除く)	70.2%	76.9%	79.4%	72.7%	42.4%

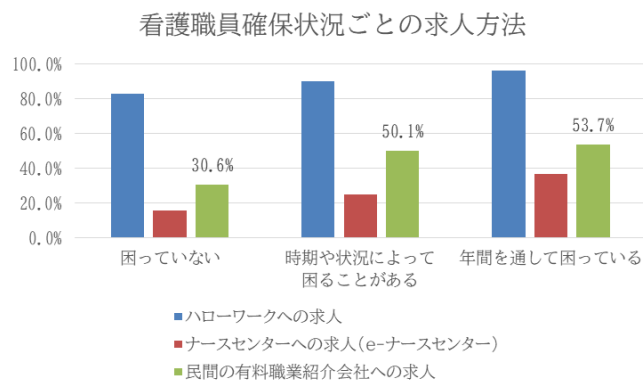
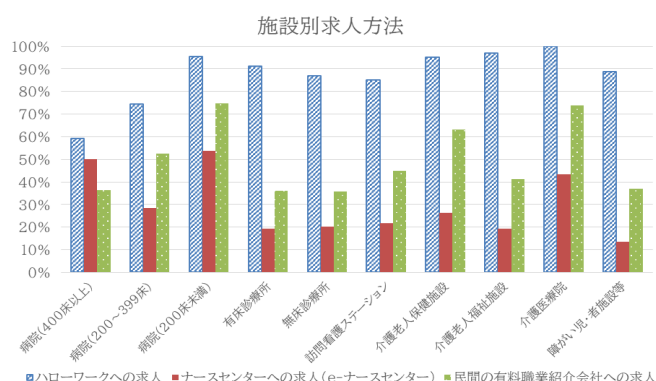
- 施設別看護職員充足率
-
- | 施設タイプ | 委託・派遣除く (%) | 委託・派遣含む (%) |
|--------------|-------------|-------------|
| 病院(400床以上) | 110 | 122 |
| 病院(200~399床) | 65 | 88 |
| 病院(200床未満) | 72 | 80 |
| 有床診療所 | 20 | 45 |
| 無床診療所 | 40 | 72 |
| 訪問看護ステーション | 42 | 68 |
| 介護老人保健施設 | 68 | 132 |
| 介護老人福祉施設 | 20 | 45 |
| 介護医療院 | 22 | 32 |
| 障がい児者施設等 | 80 | 128 |
- 委託・派遣除く ■ 委託・派遣含む
- 医療圏別看護職員充足率
-
- | 医療圏 | 委託・派遣除く (%) | 委託・派遣含む (%) |
|-------|-------------|-------------|
| 福岡・米島 | 85 | 105 |
| 粕屋 | 85 | 88 |
| 宗像 | 38 | 48 |
| 筑紫 | 110 | 195 |
| 柳井 | 30 | 82 |
| 久留米 | 95 | 100 |
| 八女・筑後 | 35 | 52 |
| 有明 | 62 | 75 |
| 飯塚 | 80 | 82 |
| 直方・鞍手 | 88 | 110 |
| 田川 | 58 | 198 |
| 北九州 | 55 | 58 |
| 京築 | 60 | 65 |
- 委託・派遣除く ■ 委託・派遣含む

③求人・求職時の方法

<求人方法・求職で活用した情報> 【回答数の多い割合:上位5位】

	求人方法【施設調査】	割合	求職で活用した情報【看護職員調査】	割合
1	ハローワークの利用	87.2%	友人・知人からの紹介	22.4%
2	有料職業紹介会社利用	42.2%	ハローワーク	21.5%
3	施設のホームページ掲載等	38.8%	大学・養成所等での進路指導	14.8%
4	ナースセンター利用	23.0%	民間の職業紹介会社	10.1%
5	広報	14.3%	ナースセンター	6.1%

- ・施設では「ハローワーク」、「民間の有料職業紹介会社」への求人利用が多く、看護職員では「友人・知人からの紹介」、「ハローワーク」の順で求職情報を得ている。



- ・ナースセンターを活用した求人は、「病院(400床以上)」、「病院(200床未満)」、「介護医療院」で比較的高いものの、その他施設ではあまり活用されていない。
- ・「時期や状況によって」あるいは「年間を通じて」求人困っている施設では、民間職業紹介会社の利用が多くなっている。

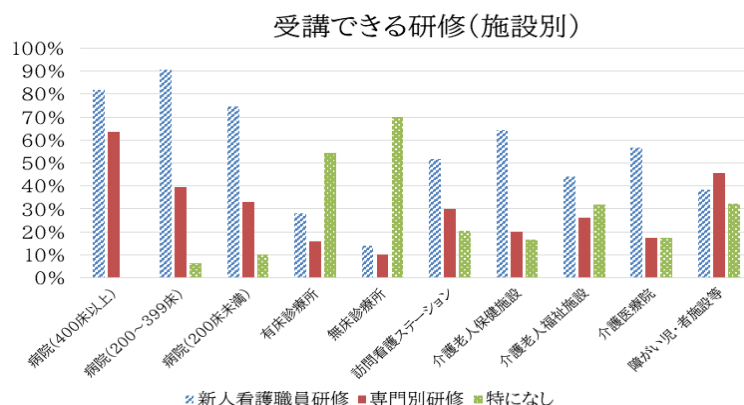
(2) 看護職員の教育体制

①教育体制

- ・看護職員が受講できる研修について、「新人看護職員研修」は34.9%、「専門別研修」は20.3%が受講できると回答している。
- 一方で、「特になし」が44.8%であった。
- ・施設別にみると、新人看護職員研修は「病院」において、他施設より割合が高い。専門別研修は「病院(400床以上)」が63.6%と最も高く、次いで「障がい児・者施設等」が45.7%となっている。
- 診療所では、「特になし」の割合が高い。

受講できる研修(複数回答) (N=2,201)

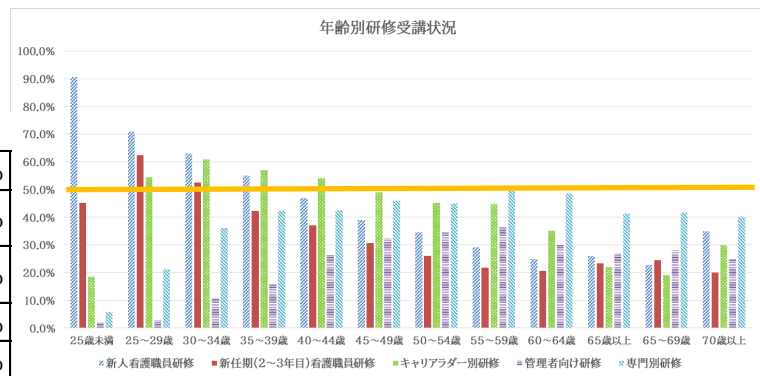
研修	割合
新人看護職員研修(自施設・他施設が行う集合研修)	34.9%
新任看護職員フォローアップ研修(自施設・他施設が行う集合研修)	24.0%
新人看護職員の指導者向け研修	18.4%
習熟段階に応じた研修(キャリアラダー別研修)	17.8%
専門別研修	20.3%
管理者向け研修	18.3%
特になし	44.8%



②受講状況

看護職員が受講した研修(n=7,419)

新人看護職員研修	50.2%
新任期(2～3年目)看護職員研修 (フォローアップ研修等)	38.0%
習熟段階に応じた研修 (キャリアラダー別研修)	47.2%
管理者向け研修	21.8%
専門別研修	37.5%



- ・看護職員の研修受講機会については、72.7%が「ある」と回答している。
- ・年齢別研修受講機会は、25歳未満の83.3%が最も高く、年齢とともに低くなる。
- ・一方、年齢別の研修受講状況は、25歳未満の新人看護職員研修が90.6%であるが、「専門別研修」や「管理期研修」の受講率は50%以下となっている。
- ・看護職員の質の向上や職場における離職防止を図るためには、「専門別研修」や「管理期研修」の受講者を増加させる必要がある。

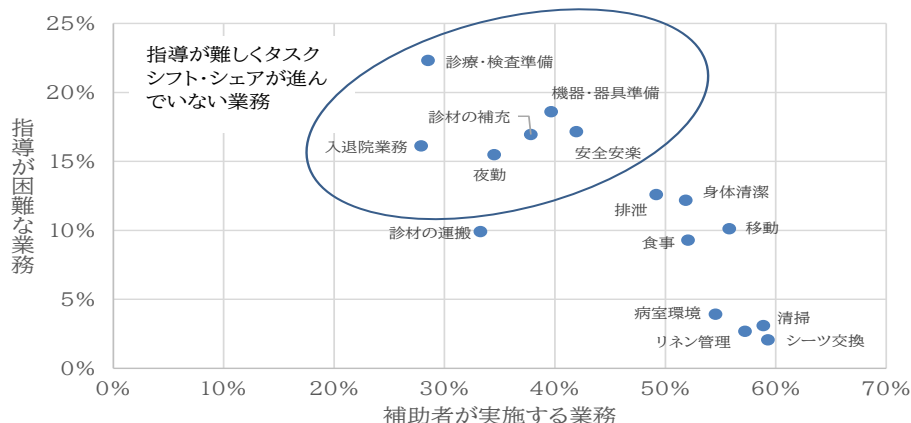
(3) 看護補助者の状況

- ・看護補助者を雇用している施設は、484施設。令和5年4月1日時点の看護補助者数は6,491人で、そのうち「自施設雇用職員」は5,648人。離職率は、20.9%である。
- ・病院及び介護医療院において看護補助者を多く雇用されているが、確保が難しいとの回答も多い。
- ・看護補助者が実施している業務は、「シーツ交換・ベットメイキング(59.3%)」、「病床及び病床周辺の清掃・整頓(58.9%)」の順となっている。
- ・また、看護補助者への指導が難しい業務は、「診療・検査等の書類の準備、補充(22.3%)」、「診療に必要な機器・器具等の準備、片付け(18.6%)」、「安全安楽に関する業務(17.6%)」の順となっており、指導が困難な業務ほど、看護補助者への業務のタスク・シフト/シェアが進んでいない。

看護補助者数及び離職率	自施設雇用職員数	自施設以外雇用職員(委託・派遣)数	合計
令和5年4月1日時点の在籍看護補助者数	5,648	843	6,491
令和5年4月1日～令和6年3月31日の新規採用者数	1,052	506	1,558
離職率	17.1%	46.3%	20.9%

施設区分	調査回答施設数(N)	看護補助者を雇用している		看護補助者の確保が困難	
		回答数	割合	回答数	割合
病院(400床以上)	22	15	68.2%	14	63.6%
病院(200～399床)	63	50	79.4%	45	71.4%
病院(200床未満)	130	110	84.6%	90	69.2%
有床診療所	114	65	57.0%	16	14.0%
無床診療所	996	120	12.0%	44	4.4%
訪問看護ステーション	449	54	12.0%	14	3.1%
介護老人保健施設	84	18	21.4%	13	15.5%
介護老人福祉施設	191	19	9.9%	3	1.6%
介護医療院	23	18	78.3%	10	43.5%
障がい児・者施設等	81	12	14.8%	5	6.2%
その他・無回答	48	3	6.3%	3	6.3%
合計	2,201	484	22.0%	257	11.7%

看護補助者の業務

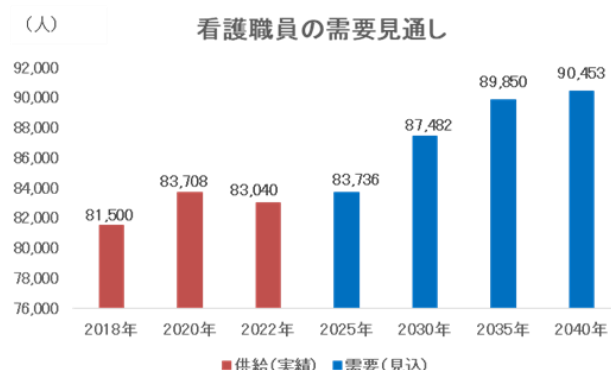


3 ライフステージに応じた看護職員の確保

学齢期・養成期

現状と課題

- ・ 厚生労働省が令和 5 年 7 月に示した看護職員の需要見通しを元に、本県の2025年以降の推計を行うと、2040 年に約 90,500 人の看護職員が必要とされる。



- ・ この需要見通しによる 2025 年の看護需要は約 84,000 人で、2022 年の就業看護職員数、約 83,000 人と、1,000 人の需給ギャップがあり、看護職員を確保する必要がある。
- ・ 少子高齢化に伴い、2020 年から 2030 年の 10 年間で、15 歳～24 歳人口は、3.1%減少するとされる中、将来看護職を志望する学生を確保する必要がある。
- ・ 本県では、看護大学 16 校、一貫教育校 8 校、専門学校等の養成所 36 校で、看護職を養成。同規模県に比べ学校数が多く、少子化・高学歴化の影響から、閉課、閉校となる学校が出てきている。
- ・ 県内の養成学校卒業生の令和5年の就業状況をみると、県内就職率が全体の73.6%に留まり、大学生及び一貫教育校生を中心に、大都市圏への流出が多い。

県内の養成学校卒業生(令和5年3月)の就業状況等

(単位:人)

	卒業者数	就業者数	県内就業者数		県外就業者数				
				就業率		東京・大阪・名古屋圏 (就業率)		九州・山口 (就業率)	
大学(短大含む)	1,337	1,199	801	66.8%	398	252	21.0%	127	10.6%
一貫教育校	371	350	259	74.0%	91	82	23.4%	7	2.0%
養成所	2,168	1,872	1,458	77.9%	414	139	7.4%	258	13.8%
合計	3,876	3,421	2,518	73.6%	903	473	13.8%	392	11.5%

まとめと考察

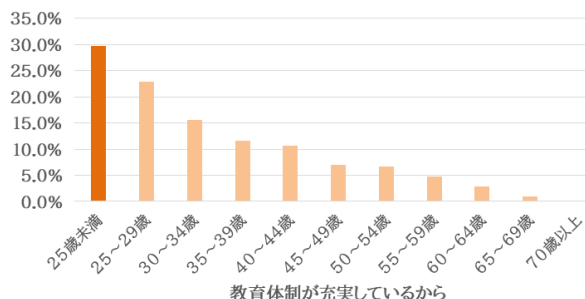
- ・ 本県の就業看護職員数は、83,040 人(令和 4 年衛生行政報告例)となっている。今後、高齢化の進行に伴う看護需要の増大が見込まれる。一方、本県においても、少子高齢化の進行、生産年齢人口の減少により、看護職員の確保が、今後さらに難しくなることが予想される。
- ・ 少子化・高学歴化の影響から、看護師学校養成所において、閉課、閉校となる学校が出てきているなか、将来看護職員を志望する学生を確保する必要がある。
- ・ 看護職員を目指す学生を増やすため、実際看護に触れる機会を小学生などの早い段階からアプローチする取組などが考えられる。また、県内養成学校卒業生の県内就業率を向上させる取組が必要である。

新人・新任期(25歳未満の看護職員)

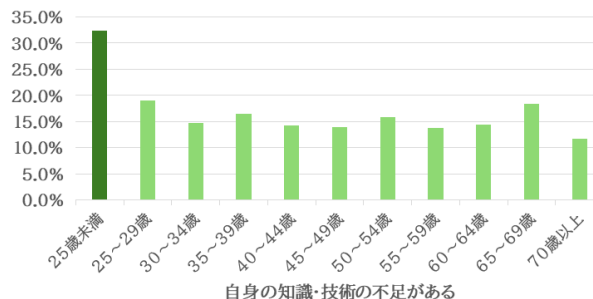
現状と課題

- ・ 25歳未満の看護職員は、「教育の体制が充実している」ことを重視して職場選択を行っている。
- 一方で、「自身の知識・技術の不足」に対し不安を感じている。

(看護職員調査) 職場選択の理由

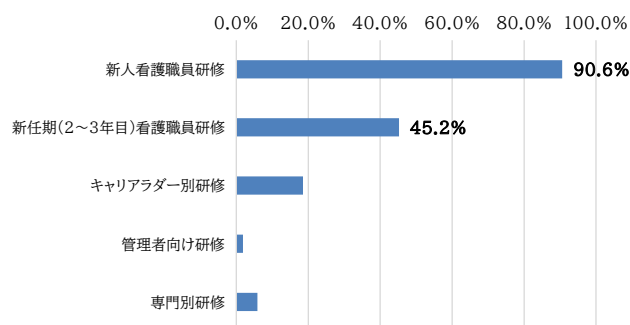


現在の職場の悩み、不安、不満等



- ・ 新人看護職員研修受講者は、90.6%、新任期(2～3年目)看護職員研修受講者は、45.2%となっている。
- ・ 新人看護職員の採用がない施設は73.4%で、今後予定している施設は、8.2%となっている。
- ・ 今後採用を予定する多くの施設では、「自施設での教育体制整備」が必要としているが、看護職員配置の少ない施設での体制整備は困難との意見がある。
- ・ 新人看護職員研修を受講できる施設は、34.9%、研修受講できる体制がないと回答した施設は、44.8%である。

25歳未満の看護職員が受講した研修(n=701)



新人看護職員の採用 (n=2,168)

項目	割合
1 ある	18.5%
2 ない	73.4%
3 今後予定している	8.2%

看護職員が受講できる研修 (N=2,201)

項目	割合
新人看護職員研修	34.9%
新任期(2～3年目)看護職員研修	24.0%
特になし	44.8%

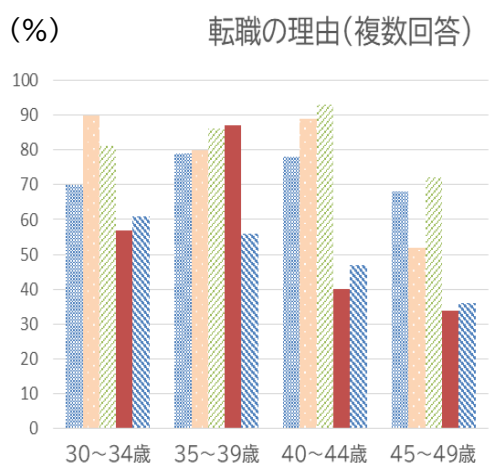
まとめと考察

- ・ 新人看護職員は、職場選択にあたり「教育体制の充実」をより重視しており、「自身の知識・技術の不足」の不安を抱えていることが明らかとなった。
- ・ 新人看護職員研修受講者は、90%を超えるが、新任期(2～3年目)看護研修受講者は45%と半減しており、施設側からは、「自施設での教育体制整備」が困難との意見もあり、指導者の人的余裕が少ない中小規模施設に対する、人材育成支援(実習指導者研修会や新人・新任期向け研修の受講体制の確保等)が必要である。
- ・ また、新任期職員の離職の減少や定着を図るため、施設自らフォローアップ体制を整えとともに、施設内外を問わず同じ悩みや不安を抱える職員が集い語れる場等を整える必要がある。

中堅期(25歳～49歳)

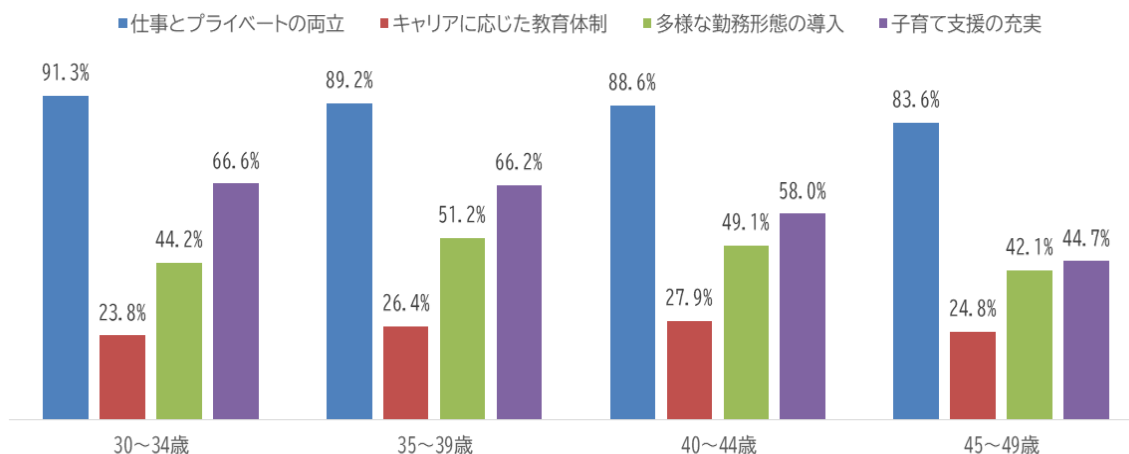
現状と課題

- ・ 30～39 歳未満の看護職員の転職理由として、「結婚・妊娠・出産」が他の年代に比べ高い。また、生涯働き続けるための必要な要件として、「子育て支援の充実」や「多様な勤務形態の導入」の回答割合が高くなっている。
- ・ 子育て・介護と仕事の両立の支援として、「勤務希望のシフト調整(76.4%)」、「短時間勤務制度(44.8%)」、「フレックスタイム制または時差出勤の導入(14.9%)」、「院内保育所(8.9%)」と支援を行う施設がある一方、「いずれの制度もない(10.5%)」との回答がある。



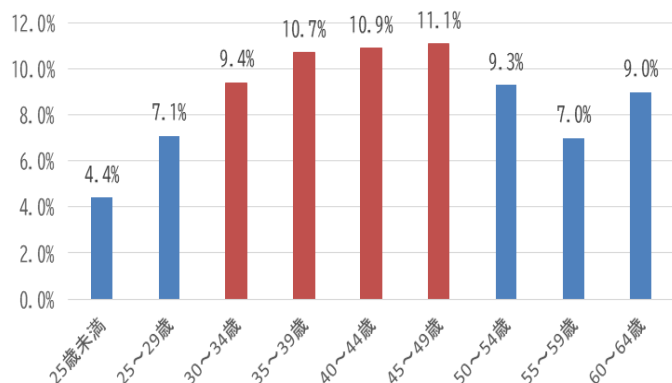
子育て・介護の両立支援(N=2,201)	割合
勤務希望のシフト調整を行っている	76.4%
法定に上乗せした育児休業制度がある	11.1%
院内保育所がある	8.9%
保育所に支払う保育費の補助を行っている	3.4%
学童保育がある	0.5%
短時間勤務制度がある	44.8%
介護休業制度がある	40.0%
法定5日を超える介護休暇制度がある	10.5%
フレックスタイム制または時差出勤を導入している	14.9%
介護に関する費用の助成を行っている	1.0%
その他	4.7%
上記に示すいずれの制度もない	10.5%

生涯働き続けるために必要な要件



- ・ 現在の職場での不満については、「教育体制・キャリアアップの機会が少ない」と考える割合が他の年代より高くなっている。
- ・ 研修の受講機会は、7割を超す者が「ある」と回答しているものの、専門別研修の受講者は、そのうち約4割に留まる。

現在の職場での不満
教育体制・キャリアアップの機会が少ない

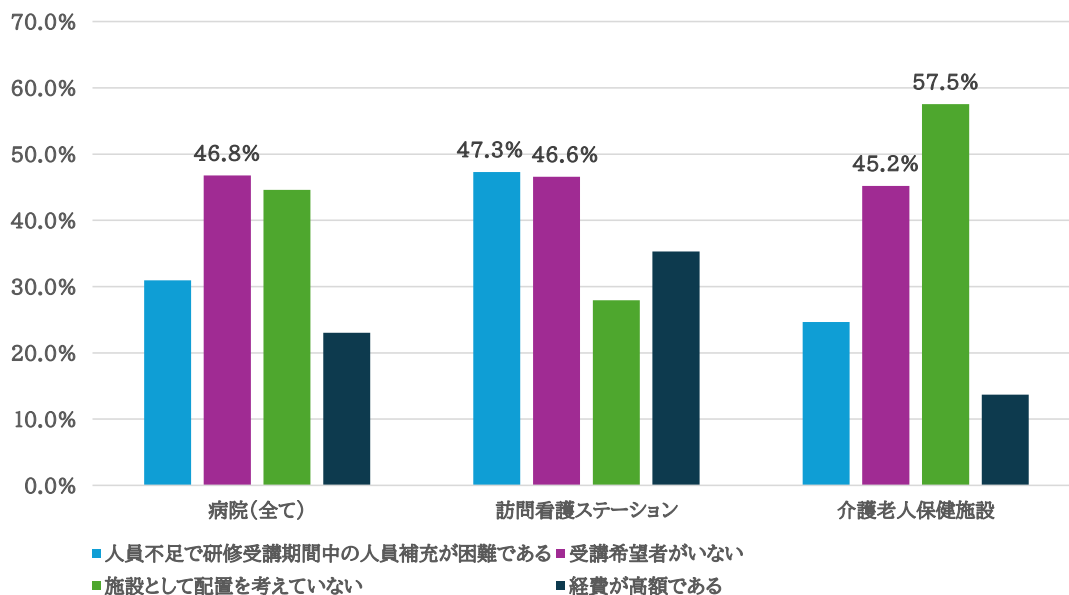


研修受講機会および受講研修内容

	ある	受講研修		
		キャリアラダー	管理者向け	専門別
30～34歳	73.3%	60.8%	10.7%	36.1%
35～39歳	72.0%	57.0%	15.9%	42.3%
40～44歳	72.5%	54.2%	26.5%	42.5%
45～49歳	74.0%	49.1%	32.4%	46.0%

- ・ 特定行為研修修了者のいない施設のうち、病院・訪問看護ステーション・介護老人保健施設（748 施設）の研修未受講の理由は、病院では「受講希望者がいない（46.8%）」、訪問看護ステーションでは「人員不足で補充が困難である（47.3%）」、介護老人保健施設では「配置を考えていない（57.5%）」が最も高く、「受講希望者がいない」は、訪問看護ステーション及び介護老人保健施設でも割合が高い。
- ・ 一方で、資格取得や能力に応じた手当が「ある」とした、病院・訪問看護ステーション・介護老人保健施設は、3割～4割程度に留まる。

特定行為研修未受講の理由(n=748)



	病院	診療所	訪問看護ステーション	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	介護医療院	障がい児・者施設等	その他・無回答
調査回答施設数(N=2,201)	215	1,110	449	84	191	23	81	48
特定行為研修修了者がいない	64.7%	93.6%	90.9%	86.9%	80.1%	95.7%	92.6%	45.8%
資格取得や能力に応じた手当がある	40.9%	45.9%	43.4%	33.3%	37.7%	30.4%	37.0%	60.4%

まとめと考察

- ・ 令和 4 年の年齢別就業看護職員数(衛生行政報告例)をみると、30～34 歳の年代の職員が「結婚・妊娠・出産」を機に離職する、いわゆる M 字カーブを描き、就業継続が難しい労働環境にあることがわかる。今回の看護職員調査結果の転職の理由も、「結婚・妊娠・出産」が他の年代よりも高い。また、転職経験は、「25～29 歳」が35.3%であるのに対し「45～49 歳」では、74%まで上昇する。
- ・ 生涯働き続けるために必要な要件として、「子育て支援の充実」や「多様な勤務形態の導入」の回答割合が高く、施設側においても「勤務希望のシフト調整」、「短時間勤務制度」など柔軟な働き方の導入や保育に関する支援等も実施されている。
- ・ 今後、子育て世代の早期の復職支援のため、子育て期における勤務希望を把握し、求人施設が実施する子育て支援の情報提供を行うとともに、求人施設に対しても、子育て期における勤務希望を伝え、より柔軟な勤務形態を求めていく必要がある。
- ・ また、夜勤等を担う職員の負担軽減のため、看護補助者へのタスク・シフト/シェアや他職種との協働のための業務整理を実施し、業務の効率化を図るなど、他の世代への配慮や働き方改革を進める必要がある。
- ・ 経験年数も豊富になる看護職員のキャリアアップを図り、今後、在宅医療の推進に必要となる「特定行為研修修了者」を増やすため、施設における受講機会や研修修了生への手当の確保、在宅の場における特定行為研修修了生の活用の推進、地域における手順書の標準化等行う必要がある。

ベテラン期・管理期(50 歳以上)

現状と課題

- ・ 施設側としては、定年以降の看護職員の活用について、約 65%が「活用したい」(積極的に活用したい、活用したい)とし、定年以降の業務として、「職員が手薄となる時間帯のカバー・急な欠勤のバックアップ(55.4%)」、「患者相談・サポート、患者家族の相談・対応(36.0%)」、「新人の教育支援や中途採用者の相談支援(25.2%)」となっている。
- ・ 一方で、何歳まで働きたいかの問いに対し、70 歳まで働きたいと考える 55 歳以上の看護職員が一定程度いるものの、定年での退職を多くの看護職員が考えている。

(施設調査)

定年以降の看護職員の活用(拡充)

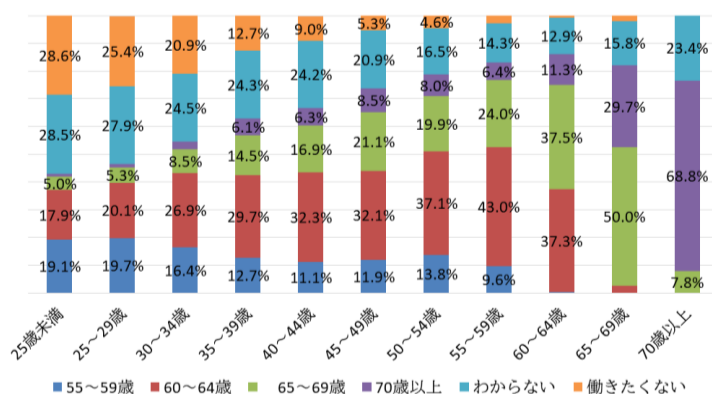
	割合
積極的に活用したい	22.1%
活用したい	43.3%
考えていない	31.8%

定年以降の看護職員に求める業務(複数回答)(n=1440)

	割合
院内の案内	9.9%
患者相談・サポート、患者家族の相談・対応	36.0%
入退院支援、地域連携の調整	12.4%
新人の教育支援や中途採用者の相談支援	25.2%
新任看護管理者の相談支援	13.6%
地域住民向けの健康相談や健康教室の講師	5.4%
職員が手薄となる時間帯(夕方等)のカバー 急な欠勤のバックアップ	55.4%
産休・育休中の職員のバックアップ	28.0%
介護老人保健施設等における感染管理	5.3%
要介護認定に係る業務	2.8%
その他	23.1%

(看護職員調査)

何歳まで働きたいか(年齢別)



生涯働き続けるために必要と考えること

	キャリアに応じた教育体制
50~54歳	25.1%
55~59歳	24.6%
60~64歳	24.2%
65~69歳	19.8%
平均	24.4%

まとめと考察

- ・ 本県の令和 4 年の年齢別就業看護職員数(衛生行政報告例)は、50 歳代以降大きく減少しており、生涯働き続けられる働き方や労働条件・社会保障等の研修を行い、プラチナナースを確保する必要がある。
- ・ この年代の生涯働くための要件は、「自身の健康」、「仕事とプライベートの両立」が上位となっており、求人施設に対し、フルタイム勤務のみでなく、短日・短時間勤務など多様な勤務形態の情報提供や雇用条件の提案をナースセンター等が行い、求人施設と求職者のマッチングを円滑にする働きかけが必要である。
- ・ また、看護職としてのキャリアを考えるため、医療機関以外での看護職員の働き方や魅力の発信、医療機関等における定年以降の看護職員の活用について検討を行い、看護職員を潜在化させない取組が必要である。

Ⅱ 調査概要

1 目的

今後の、本県における看護職員等の確保及び質の向上のための施策に繋げる基礎資料とするため、看護職員等の人材確保や充足状況、職場環境の状況について把握を行う。

2 調査対象

(1) 施設調査:6,451 施設

病院、診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、介護医療院、障がい児・者施設を調査対象施設とする。

(2) 看護職員調査:約 78,912 人(令和 4 年衛生行政報告例)

上記施設調査対象施設に勤務するすべての看護職員(委託。派遣除く)

3 調査方法

(1) 対象施設に依頼文及び調査票(施設対象と看護職員対象)を郵送し、「ふくおか電子申請サービス」にて回答を依頼。

(2) 公益社団法人 福岡県看護協会に委託し実施。

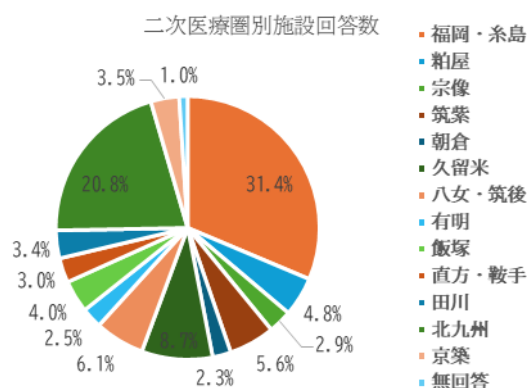
4 調査時期

令和 6 年 11 月 18 日(月)～令和 6 年 12 月 13 日(金)

5 回答状況

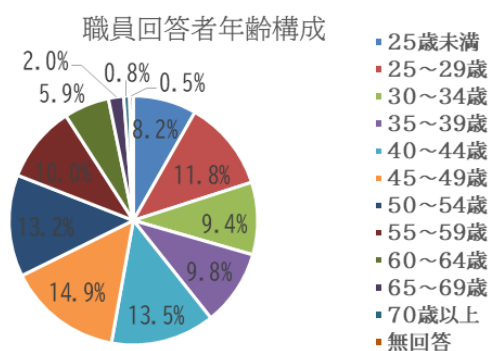
(1) 施設調査の回答数及び二次医療圏別施設回答数

施設	対象施設数	回答数	割合
病院	451	215	47.7%
診療所	4,205	1,110	26.4%
訪問看護ステーション	984	449	45.6%
介護老人保健施設	173	84	48.6%
介護老人福祉施設	439	191	43.5%
介護医療院	55	23	41.8%
障がい児・者施設	144	81	56.3%
その他	0	22	
無回答	0	26	
合計	6,451	2,201	34.1%



(2) 看護職員の回答数及び回答者年齢構成

施設	回答数	割合
病院	6,171	60.5%
診療所	1,941	19.0%
訪問看護ステーション	1,005	9.8%
介護老人保健施設	219	2.1%
介護老人福祉施設	294	2.9%
介護医療院	85	0.8%
障がい児・者施設	130	1.3%
その他・無回答	363	3.6%
合計	10,208	100.0%



Ⅲ 調査結果

1 看護職員数及び離職状況

(1) 看護職員数・採用者数・退職者・離職率等

(回答施設:2,201施設)

看護職員数及び離職率	看護職員計	保健師	助産師	看護師	准看護師
① 令和5年4月1日時点の在籍看護職員数 (令和5年5月1日の免許取得予定者含む)	36,006	182	853	30,874	4,097
② 令和5年10月1日時点の在籍看護職員数	35,814	186	850	30,730	4,048
③ 令和6年3月31日時点の在籍看護職員数 (3月31日付の退職者数を含む)	35,108	190	838	30,131	3,949
④ 令和5年度新卒採用者数 (「新卒」とは免許取得後初めて就労した 職員とする)	1,636	2	58	1,508	68
⑤ ④のうち令和5年度中の新卒退職者数	149	0	0	127	22
⑥ 令和5年度の既卒採用者数 (「新卒」以外の看護職)	2,573	31	59	2,127	356
⑦ ⑥のうち令和5年度中の既卒退職者数	735	4	17	567	147
⑧ 令和5年度の総退職者数 (新卒・既卒・定年退職者全てを含む)	4,642	29	113	3,943	557
総離職率 $(=⑧÷\{(①+③)÷2\}×100)$	13.1%	15.6%	13.4%	12.9%	13.8%
新卒離職率 $(=⑤÷④×100)$	9.1%	0.0%	0.0%	8.4%	32.4%
既卒者(令和5年度採用者)離職率 $(=⑦÷⑥×100)$	28.6%	12.9%	28.8%	26.7%	41.3%
総退職者のうち令和5年度採用者の退職 が占める割合 $(=(⑤+⑦)÷⑧×100)$	19.0%	13.8%	15.0%	17.6%	30.3%

※2022年度:総離職率 12.3%、新卒者 11.8%(2023年病院看護実態調査(日本看護協会))

※離職率の計算方法は、日本看護協の算出方法に同じ。

- ・ 本調査における、令和5年4月1日時点の在籍看護職員数は、36,006人であった。
看護職員の離職率は、総離職率 13.1%、新卒者 9.1%、既卒者 28.6%となり、日本看護協会が
実施している病院実態調査(2022年)(総離職率 12.3%、新卒者 11.8%)に比べ、総離職率は
高く、新卒者は低い結果となった。
- ・ 医療圏別にみると新卒離職率は、「田川医療圏(23.8%)」が最も高く、既卒離職率は、「筑紫
(44.8%)」、「有明(34.6%)」が高い。また、免許別でみると「准看護師」は、新卒・既卒離職率と
もに高い。

(2) 看護職員の離職の理由

① 看護職員の離職理由（全体）（施設調査及び看護職員調査結果（複数回答）から）

	施設調査（施設が考える理由）対象：2,201施設	看護職員調査（転職有の人の転職理由）対象：6,253人
1	職場の人間関係 43.0%	職場の人間関係 28.5%
2	他職場への関心、再就職 30.7%	時間外勤務が多い 24.1%
3	自分の健康（身体的・精神的） 26.3%	賃金が安い 23.8%
4	転居 21.1%	業務の負担感 23.7%
6	妊娠・出産・子育て 19.7%	結婚・妊娠・出産 23.5%

- ・ 看護職員の離職理由として、施設調査及び看護職員調査ともに「職場の人間関係」が最も高い。施設での2位は、「他職場への関心、再就職」であるが、看護職員は「時間外勤務が多い」、「賃金が安い」、「業務の負担感」などの勤務環境・労働条件に関する理由となっている。

転職経験の有無

	回答数	ある	ない		回答数	ある	ない
25歳未満	842	7.0%	92.9%	50～54歳	1,349	77.3%	22.5%
25～29歳	1,204	35.3%	64.5%	55～59歳	1,016	79.1%	20.6%
30～34歳	960	51.8%	48.2%	60～64歳	603	78.9%	20.6%
35～39歳	1,005	63.8%	36.2%	65～69歳	202	77.2%	22.8%
40～44歳	1,382	69.1%	30.8%	70歳以上	77	75.3%	24.7%
45～49歳	1,518	74.0%	25.8%	計	10,208	61.2%	38.3%

- ・ 看護職員としての転職経験の有無について、「ある」は61.2%、「なし」は38.3%であり、転職を経験している看護職員が多いことが分かる。
- ・ 年代別にみても、年齢を重ねると転職経験の割合が増え、45歳以降では70%を超える。

② 看護職員の離職理由（施設調査）

施設区分	回答数	職員間の人間関係	結婚	妊娠・出産・子育て	転居	自分の適性・能力への不安	自分の健康（身体的・精神的理由）	スキルアップの機会が少ない	勤務時間が長い、超過勤務が多い、多忙	夜勤の負担・不安が大きい	リフレッシュのため	他職場への関心、再就職	親族の健康問題・介護	その他
病院(400床以上)	22	13.6%	45.5%	31.8%	18.2%	4.5%	40.9%	0.0%	13.6%	13.6%	4.5%	40.9%	0.0%	4.5%
病院(200～399床)	63	42.9%	19.0%	17.5%	12.7%	17.5%	38.1%	11.1%	14.3%	7.9%	1.6%	55.6%	6.3%	12.7%
病院(200床未満)	130	46.2%	13.8%	17.7%	29.2%	20.8%	28.5%	11.5%	15.4%	6.9%	0.8%	56.9%	10.8%	6.2%
有床診療所	114	43.0%	12.3%	23.7%	22.8%	20.2%	28.9%	7.0%	3.5%	3.5%	0.9%	32.5%	21.1%	5.3%
無床診療所	996	41.9%	14.6%	26.2%	29.2%	15.1%	19.6%	3.1%	6.5%	0.6%	1.7%	22.3%	20.0%	6.8%
訪問看護ステーション	449	33.6%	5.3%	14.7%	12.9%	30.1%	29.4%	6.7%	12.0%	8.2%	1.8%	35.0%	19.8%	9.1%
介護老人保健施設	84	57.1%	6.0%	9.5%	10.7%	11.9%	44.0%	7.1%	10.7%	21.4%	0.0%	39.3%	14.3%	6.0%
介護老人福祉施設	191	68.6%	3.1%	5.8%	8.9%	19.4%	36.1%	6.8%	5.8%	3.7%	0.5%	28.3%	15.2%	8.4%
介護医療院	23	52.2%	4.3%	4.3%	13.0%	13.0%	73.9%	0.0%	21.7%	0.0%	4.3%	56.5%	4.3%	8.7%
障がい児・者施設等	81	46.9%	8.6%	13.6%	6.2%	24.7%	27.2%	4.9%	4.9%	2.5%	3.7%	34.6%	16.0%	7.4%
計	2,201	43.0%	11.2%	19.7%	21.1%	19.1%	26.3%	5.4%	8.5%	4.2%	1.6%	30.7%	17.5%	7.5%

1位 2位 3位

- ・ 施設調査での看護職員の離職理由は、「職員間の人間関係(43.0%)」、「他職場への関心、再就職(30.7%)」、「自分の健康(身体的・精神的理由)(26.3%)」の順となっており、上位は令和2年調査と変わらない結果となった。

- ・施設別にみると、病院(400 床以上)では、「結婚(45.5%)」、「妊娠・出産・子育て(31.8%)」、病院(400 床未満)では、「他職場への関心、再就職(55.6%)」、訪問看護ステーションでは、「他職場への関心、再就職(35.0%)」、介護医療院では、「自分の健康(身体的・精神的理由)(73.9%)」の割合が高くなっている。

③ 看護職員の転職理由(看護職員調査)

転職の理由

	回答数	職場の人間関係	賃金が安い	能力が適正に評価されない	教育体制・スキルアップの機会がない	有給休暇がとりにくい	時間外勤務が多い	職場の相談体制の不足(フォロー体制)	患者・家族、上司等からの暴言・暴力	業務の負担感(看護部内の役割が多い等)	自身の身体的な健康問題
25歳未満	59	50.8%	32.2%	6.8%	13.6%	15.3%	30.5%	18.6%	13.6%	25.4%	15.3%
25～29歳	425	34.1%	54.4%	14.1%	25.9%	36.7%	49.6%	22.8%	19.5%	38.4%	9.6%
30～34歳	497	32.6%	55.3%	16.7%	20.9%	46.9%	70.0%	29.8%	24.9%	61.6%	15.1%
35～39歳	641	31.2%	6.2%	2.7%	2.2%	8.1%	8.1%	4.7%	3.1%	8.7%	2.5%
40～44歳	955	26.8%	33.7%	13.5%	9.0%	31.9%	33.5%	19.3%	16.3%	39.5%	14.0%
45～49歳	1,123	28.3%	21.8%	9.6%	9.8%	13.1%	20.9%	11.1%	9.0%	21.3%	6.9%
50～54歳	1,043	26.8%	4.3%	1.2%	1.5%	3.7%	4.9%	2.1%	1.9%	4.7%	1.7%
55～59歳	804	26.0%	6.5%	2.6%	1.4%	4.2%	7.2%	4.6%	2.9%	7.6%	4.9%
60～64歳	476	28.8%	2.9%	0.8%	0.6%	1.3%	1.3%	1.5%	1.3%	2.5%	1.1%
65～69歳	156	18.6%	16.0%	7.1%	7.1%	17.3%	17.9%	9.0%	8.3%	17.3%	8.3%
70歳以上	58	20.7%	86.2%	31.0%	17.2%	48.3%	91.4%	34.5%	34.5%	93.1%	34.5%
計	6,253	28.5%	21.1%	7.5%	7.8%	16.6%	22.1%	11.1%	9.2%	21.7%	7.2%

転職の理由

	回答数	自身の精神的な健康問題	夜勤ができない	通勤が不便	結婚・妊娠・出産	子供の教育・進学	家族の介護	転居	定年、雇用期間終了	他にしたいことがある	その他
25歳未満	59	16.9%	1.7%	11.9%	5.1%	0.0%	0.0%	5.1%	0.0%	6.8%	8.5%
25～29歳	425	14.1%	9.4%	17.9%	43.5%	8.7%	8.2%	42.1%	0.0%	19.1%	27.3%
30～34歳	497	19.9%	11.7%	26.6%	45.5%	13.9%	9.1%	46.1%	0.0%	17.7%	23.5%
35～39歳	641	2.2%	1.9%	3.6%	10.0%	2.8%	1.1%	6.1%	0.2%	3.0%	4.5%
40～44歳	955	13.0%	22.0%	13.9%	51.7%	16.5%	7.0%	29.5%	0.2%	9.8%	17.9%
45～49歳	1,123	6.3%	11.1%	8.0%	20.4%	7.0%	3.5%	13.8%	0.1%	12.2%	6.2%
50～54歳	1,043	2.1%	1.1%	2.5%	3.6%	1.2%	0.8%	2.5%	0.1%	0.8%	1.8%
55～59歳	804	4.1%	4.4%	2.9%	6.1%	3.0%	2.5%	5.0%	0.1%	2.7%	3.2%
60～64歳	476	2.9%	0.6%	1.3%	3.2%	0.4%	1.1%	2.9%	0.0%	0.8%	1.7%
65～69歳	156	5.1%	9.0%	10.9%	17.3%	9.0%	5.1%	12.8%	0.0%	9.6%	9.6%
70歳以上	58	39.7%	29.3%	17.2%	56.9%	24.1%	13.8%	37.9%	1.7%	46.6%	27.6%
計	6,253	7.7%	8.4%	8.7%	21.9%	6.9%	3.9%	16.2%	0.1%	8.0%	9.5%

1位 2位 3位

- ・看護職員の転職理由としては、「職場の人間関係(28.5%)」、「時間外勤務が多い(22.1%)」、「結婚・妊娠・出産(21.9%)」、「業務の負担感(21.7%)」、「賃金が安い(21.1%)」の順となった。令和 2 年調査では、「結婚・妊娠・出産」、「職員間の人間関係」、「時間外勤務が多い」、「転居」、「賃金が低い」の順となっている。
- ・年齢別の転職理由は、ほとんどの年代で「職場の人間関係」が多く、30～34 歳では「時間外勤務が多い」、40～44 歳では「結婚・妊娠・出産」の回答が多い。
- ・新卒離職率の高い准看護師の離職理由は、「職場の人間関係(34.6%)」、「結婚・妊娠・出産(24.3%)」、「賃金が安い(22.7%)」の順となっている。

2 看護職員の確保

(1) 看護職員の充足状況

① 令和6年4月1日時点の看護職員の充足状況：職種別

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
(A) ①令和6年4月1日時点の採用必要数	13	97	3,112	314	3,536
(B) ②+③ 採用数	15	97	2,783	280	3,175
内 委託・派遣除く採用者数	10	77	2,261	133	2,481
訳 委託・派遣採用数	5	20	522	147	694
(B) - (A) 不足人数	2	0	-329	-34	-361
充足率	115.4%	100.0%	89.4%	89.2%	89.8%
充足率（委託派遣を除く）	76.9%	79.4%	72.6%	42.4%	70.2%

- ・ 令和6年4月1日時点の施設の採用必要数 3,536 人に対し、採用者数は 3,175 人であり、看護職員の充足率は 89.8%。委託・派遣職員を除く充足率は 70.2%であった。
- ・ 職種別では、保健師、助産師は充足できているが、看護師、准看護師の充足率は約 90%となっている。

施設別充足率

施設区分	採用数/ 必要採用数	委託派遣 採用者数/ 採用必要数
病院(400床以上)	121.7%	10.1%
病院(200～399床)	88.2%	23.6%
病院(200床未満)	79.1%	9.1%
有床診療所	44.1%	52.4%
無床診療所	73.7%	47.6%
訪問看護ステーション	71.6%	42.1%
介護老人保健施設	133.3%	47.7%
介護老人福祉施設	45.2%	57.1%
介護医療院	30.3%	30.0%
障がい児・者施設等	128.6%	38.9%
その他	50.0%	12.5%
計	89.8%	21.9%

医療圏別充足率

医療圏	採用数/ 必要採用数	委託派遣 採用者数/ 採用必要数
福岡・糸島	105.7%	17.8%
粕屋	87.6%	2.6%
宗像	48.1%	26.9%
筑紫	198.9%	43.4%
朝倉	81.3%	65.4%
久留米	102.2%	11.0%
八女・筑後	51.3%	35.4%
有明	75.4%	14.3%
飯塚	81.5%	8.5%
直方・鞍手	112.5%	23.8%
田川	266.3%	77.9%
北九州	59.5%	15.6%
京築	66.7%	12.5%
計	89.8%	21.9%

上位3位

下位3位

- ・ 施設別に、充足しているのは、「病院(400 床以上)」「介護老人保健施設」「障がい児・者施設」のみであり、「病院(400 床以上)」、「病院(200 床未満)」以外の施設では派遣・委託の採用の割合が多くなっている。
- ・ 施設別の採用充足率は、「介護医療院」、「有床診療所」、「介護老人福祉施設」の順に低く、採用数に占める委託・派遣採用者の割合は、「介護老人福祉施設」、「有床診療所」で 5 割を超える。

- ・医療圏別の採用充足率は、「宗像」、「八女・筑後」、「北九州」の順に低く、採用数に占める委託・派遣採用者の割合は、「田川」、「朝倉」、「筑紫」の順で高く、委託・派遣を活用し看護職員が充足されている。

(2) 看護職員の確保や定着についての課題(施設調査)

看護職員の確保や定着についての課題

	回答数	夜勤ができる人材の確保	民間の有料職業紹介会社による経済的負担	離職が多い	経営面で、労働条件や労働環境改善が困難	管理者の指導・管理能力等が不足	施設の教育体制が脆弱	看護職員の意欲・姿勢、コミュニケーション能力等不十分	健康問題を抱える職員の増加	看護技術不十分	看護補助者確保困難	現在の診療報酬では賃金が上げられない	その他	課題はない
病院(400床以上)	22	54.5%	22.7%	36.4%	13.6%	9.1%	9.1%	13.6%	54.5%	4.5%	63.6%	31.8%	0.0%	0.0%
病院(200～399床)	63	50.8%	54.0%	44.4%	27.0%	31.7%	17.5%	25.4%	49.2%	25.4%	71.4%	50.8%	3.2%	0.0%
病院(200床未満)	130	56.9%	73.1%	46.9%	30.8%	30.0%	27.7%	25.4%	34.6%	19.2%	69.2%	53.1%	1.5%	0.8%
有床診療所	114	43.0%	33.3%	15.8%	21.1%	8.8%	16.7%	10.5%	13.2%	13.2%	14.0%	37.7%	7.0%	9.6%
無床診療所	996	1.5%	25.6%	14.1%	20.3%	7.0%	11.3%	12.0%	9.4%	6.9%	4.4%	37.6%	3.4%	23.6%
訪問看護ステーション	449	14.3%	36.7%	22.9%	23.8%	19.2%	18.3%	19.4%	22.0%	16.9%	3.1%	39.0%	4.7%	7.1%
介護老人保健施設	84	61.9%	63.1%	19.0%	22.6%	26.2%	29.8%	20.2%	20.2%	20.2%	15.5%	25.0%	2.4%	4.8%
介護老人福祉施設	191	10.5%	41.9%	22.5%	18.3%	13.6%	21.5%	20.9%	19.9%	9.4%	1.6%	23.6%	7.3%	6.8%
介護医療院	23	60.9%	65.2%	26.1%	34.8%	21.7%	26.1%	17.4%	47.8%	13.0%	43.5%	39.1%	0.0%	4.3%
障がい児・者施設等	81	21.0%	30.9%	11.1%	9.9%	9.9%	17.3%	18.5%	14.8%	12.3%	6.2%	7.4%	16.0%	25.9%
計	2,201	16.1%	35.2%	19.9%	21.3%	13.3%	16.0%	16.1%	17.2%	11.4%	11.7%	35.7%	4.4%	14.9%

1位 2位 3位

- ・看護職員の確保や定着についての課題では、「現在の診療報酬では賃金が上げられない(35.7%)」、「民間の有料職業紹介会社の利用による経済的負担(35.2%)」と高い。
- ・施設別にみると、病院(200床以上)では、「看護補助者の確保困難」が最も高く、病院(200床未満)、介護老人保健・福祉施設、介護医療院及び障がい児・者施設では、「民間の有料職業紹介会社の利用による経済的負担」が高い。無床診療所、訪問看護ステーションでは、「現在の診療報酬では賃金が上げられない」の項目が高い。

(3) 看護職員の労働条件・仕事の負担等での悩み、不安等(看護職員調査)

職場で感じる、労働条件・仕事の負担等での悩み、不安、不満等

	回答数	仕事の 内容・ やりがい が少ない	教育体制・ キャリアアッ プの機会 (研修の機 会・能力開 発等)が少 ない	雇用形態 に不満が ある (非正規・ パート等)	人手が 足りない	仕事内容 のわりに 賃金が低 い	福利厚生 に不満が ある	時間外勤 務が多い・勤務 時間が長 い	夜勤の 負担が大 きい
病院(400床以上)	2,511	15.3%	5.6%	6.5%	66.3%	56.9%	15.9%	42.8%	32.4%
病院(200～399床)	2,059	18.7%	9.1%	6.9%	64.7%	61.2%	25.4%	24.7%	24.9%
病院(200床未満)	1,601	18.8%	10.1%	8.9%	62.3%	56.9%	26.2%	20.9%	19.9%
有床診療所	271	10.3%	14.0%	6.6%	52.8%	41.3%	25.5%	12.2%	12.9%
無床診療所	1,670	10.7%	10.1%	6.3%	33.2%	29.5%	14.0%	11.1%	1.2%
訪問看護ステーション	1,005	9.5%	10.7%	6.2%	37.1%	36.2%	17.9%	20.8%	6.5%
介護老人保健施設	219	11.9%	9.6%	5.9%	74.0%	49.8%	17.8%	14.2%	24.7%
介護老人福祉施設	294	14.6%	12.6%	5.4%	42.2%	34.4%	12.6%	10.9%	3.4%
介護医療院	85	22.4%	7.1%	9.4%	84.7%	58.8%	25.9%	24.7%	29.4%
障がい児・者施設等	130	18.5%	16.2%	5.4%	47.7%	23.1%	11.5%	8.5%	10.8%
計	10,208	15.0%	9.0%	6.8%	55.3%	48.9%	19.7%	24.4%	18.6%

職場で感じる、労働条件・仕事の負担等での悩み、不安、不満等

	回答数	有給 休暇が とりにく い	医療のIT 化に適 応でき ない	身体的 ・精神的 負担が大 きい	職場の 人間関係	事故や 感染の 危険が ある	自身の 知識・技 術の不足 がある	その他	なし
病院(400床以上)	2,511	37.7%	5.0%	47.2%	20.0%	12.8%	16.4%	4.6%	2.5%
病院(200～399床)	2,059	25.3%	6.2%	34.8%	22.3%	10.3%	16.3%	5.1%	3.1%
病院(200床未満)	1,601	21.4%	7.2%	33.4%	21.4%	10.1%	15.8%	8.1%	3.7%
有床診療所	271	17.7%	7.4%	29.2%	21.0%	9.2%	20.3%	7.0%	7.4%
無床診療所	1,670	23.2%	4.5%	14.3%	17.0%	7.6%	14.6%	8.9%	16.3%
訪問看護ステーション	1,005	16.2%	5.0%	25.8%	14.6%	10.0%	22.9%	7.1%	11.7%
介護老人保健施設	219	20.5%	11.4%	29.2%	20.5%	10.5%	15.5%	3.7%	1.8%
介護老人福祉施設	294	13.3%	8.2%	23.1%	24.5%	8.8%	17.0%	14.3%	6.8%
介護医療院	85	34.1%	3.5%	45.9%	24.7%	15.3%	12.9%	7.1%	3.5%
障がい児・者施設等	130	18.5%	6.9%	30.0%	16.9%	13.1%	15.4%	10.8%	16.2%
計	10,208	25.6%	5.8%	32.3%	19.9%	10.3%	16.7%	6.7%	6.6%

1位 2位 3位

- ・ 看護職員が、現在の職場で感じる、労働条件・仕事の負担等での悩み、不安、不満等では、「人手が足りない(55.3%)」、「仕事内容のわりに賃金が低い(48.9%)」、「身体的・精神的負担が大きい(32.3%)」の順である。
- ・ 施設別でも、全体の傾向と変わらないが、無床診療所では「有給休暇がとりにくい」、介護老人福祉施設では、「職場の人間関係」の割合も高い。また、「なし」と回答した割合をみると無床診療所、障がい児・者施設等及び訪問看護ステーションにおいて10%を上回る。

職場で感じる、労働条件・仕事の負担等での悩み、不安、不満等

	回答数	仕事の 内容・ やりがい が 少ない	教育体制・ キャリア アップの機 会(研修の 機会・能力 開発等)が 少ない	雇用形態 に不満が ある (非正規・ パート等)	人手が 足りない	仕事内容 のわりに 賃金が 低い	福利厚生 に不満が ある	時間外勤 務が多 い・勤務 時間が 長い	夜勤の 負担が 大きい
25歳未満	842	12.6%	4.4%	2.7%	62.6%	57.1%	16.2%	35.0%	24.0%
25～29歳	1,204	15.3%	7.1%	4.2%	62.7%	58.5%	20.8%	31.6%	28.9%
30～34歳	960	18.8%	9.4%	4.6%	63.0%	57.1%	20.2%	27.6%	25.4%
35～39歳	1,005	15.6%	10.7%	9.7%	56.0%	53.7%	21.8%	26.0%	20.2%
40～44歳	1,382	14.8%	10.9%	6.4%	52.7%	49.3%	20.0%	23.2%	16.7%
45～49歳	1,518	15.4%	11.1%	6.7%	51.0%	47.4%	20.8%	22.9%	16.1%
50～54歳	1,349	15.9%	9.3%	7.9%	52.6%	44.4%	20.1%	24.5%	16.5%
55～59歳	1,016	13.8%	7.0%	7.3%	53.1%	40.0%	18.2%	19.4%	13.7%
60～64歳	603	13.1%	9.0%	14.6%	50.9%	38.3%	18.2%	12.1%	8.8%
65～69歳	202	11.9%	6.9%	8.4%	49.5%	31.7%	16.8%	6.9%	5.0%
70歳以上	77	6.5%	11.7%	7.8%	36.4%	16.9%	11.7%	1.3%	1.3%

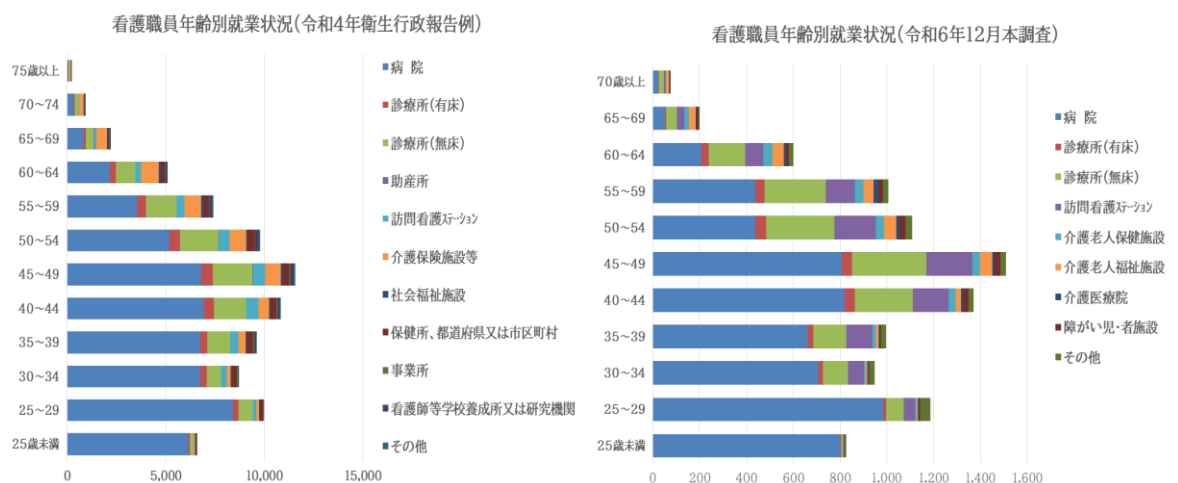
職場で感じる、労働条件・仕事の負担等での悩み、不安、不満等

	回答数	有給 休暇が とりにくい	医療のIT 化に適応 できない	身体的 ・精神的 負担が 大きい	職場の 人間関係	事故や 感染の 危険が ある	自身の 知識・技 術の不足 がある	その他	なし
25歳未満	842	20.0%	1.8%	37.6%	21.1%	11.2%	32.4%	1.2%	3.1%
25～29歳	1,204	25.4%	3.0%	37.0%	18.1%	11.0%	19.1%	3.2%	3.9%
30～34歳	960	27.8%	4.2%	34.2%	19.2%	12.1%	14.7%	6.1%	5.3%
35～39歳	1,005	25.5%	6.6%	32.9%	21.7%	12.1%	16.5%	7.3%	6.1%
40～44歳	1,382	25.7%	4.6%	31.9%	19.9%	10.6%	14.3%	8.2%	8.0%
45～49歳	1,518	27.5%	6.2%	31.3%	20.2%	8.9%	13.9%	8.2%	6.9%
50～54歳	1,349	28.3%	7.7%	33.2%	21.4%	10.7%	15.8%	9.0%	6.5%
55～59歳	1,016	28.1%	9.1%	31.7%	20.0%	8.9%	13.8%	8.6%	8.2%
60～64歳	603	21.9%	8.1%	24.5%	19.6%	8.5%	14.4%	7.1%	10.0%
65～69歳	202	15.8%	7.9%	15.8%	14.9%	6.9%	18.3%	3.5%	11.9%
70歳以上	77	6.5%	14.3%	10.4%	11.7%	7.8%	11.7%	5.2%	27.3%

1位 2位 3位

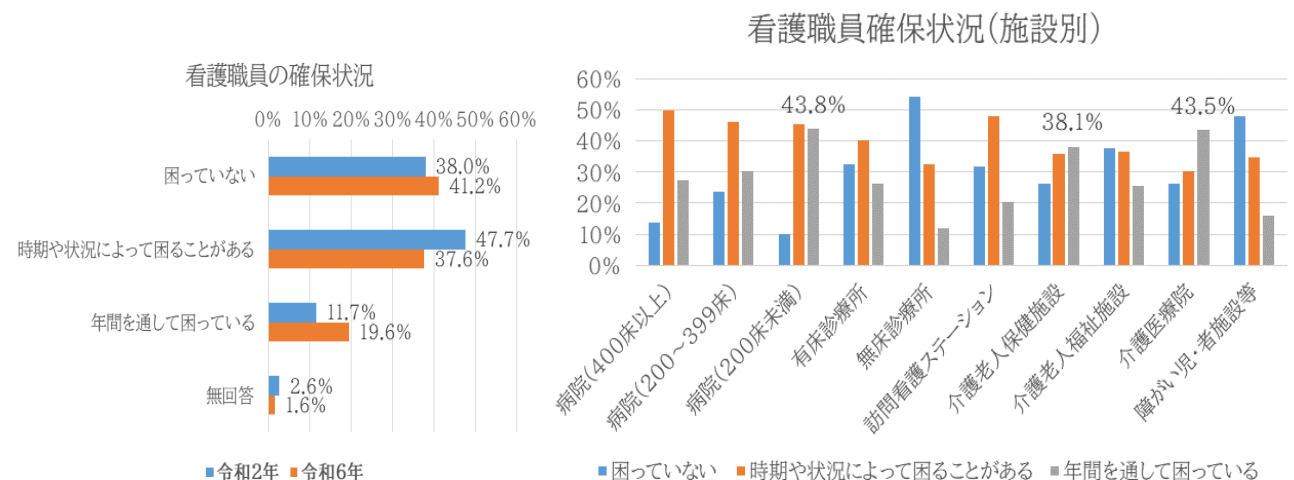
- ・ 年齢別にみると、どの年代でも「人手が足りない」、「仕事内容のわりに賃金が低い」、「身体的・精神的負担が大きい」が上位となっている。25 歳未満では、「自分の知識・技術の不足がある」と 32.4% が回答しており、他の年代よりも高い。
- ・ 35～49 歳では「教育体制・キャリアアップの機会が少ない」、50 歳以上では「医療の IT 化に適応できない」が他の年代よりも高い。

(4) 看護職員の年齢別就業状況



- ・ 今回の看護職員調査による回答者の年齢階級別就業状況は、令和4年衛生行政報告例と同様の傾向となった。また、看護職員の所属する職場区分は、「病院」が60.5%と最も多く、「診療所(19.0%)」、「訪問看護ステーション(9.8%)」、「介護老人施設等(5.9%)」、「障がい児・者施設等(1.3%)」、「その他(2.2%)」である。

(5) 過去1年間の看護職員の確保状況（施設調査）



- ・ 施設の看護職員の確保状況について、困っているとの回答は、「年間を通して困っている」、「時期や状況によって困る」を合わせ57.2%である。令和2年の59.4%から微減しているが、内訳では、「時期や状況によって困っている」が47.7%から37.6%に減少する一方で、「年間を通して困っている」が11.7%から19.6%に増加している。
- ・ 「年間を通して困っている」との回答は、「病院(200床未満)(43.8%)」、「介護医療院(43.5%)」、「介護老人保健施設(38.1%)」の順に高い。
- ・ 看護職員の確保に困る理由については、「募集しても集まらない(69.8%)」が最も高く、次いで「産前・産後休暇、育児休業等の職員が多い」が6.0%であった。

看護職員確保に困ったときの工夫

	回答数	業務・サービス内容を見直した	他職員が不足する病棟を応援する等、病院(系列の施設)全体で取組んだ	ITやDXの活用により、業務の効率化を図った	派遣職員を雇用した	臨時・パート職員を雇用した	病床又は病棟を減らした(休床)	その他
病院(400床以上)	17	23.5%	47.1%	17.6%	23.5%	29.4%	5.9%	17.6%
病院(200～399床)	48	25.0%	54.2%	4.2%	20.8%	25.0%	12.5%	14.6%
病院(200床未満)	116	31.0%	50.9%	6.0%	25.9%	39.7%	4.3%	16.4%
有床診療所	76	35.5%	30.3%	9.2%	11.8%	21.1%	2.6%	21.1%
無床診療所	445	38.0%	9.2%	7.4%	11.2%	27.0%	0.7%	30.6%
訪問看護ステーション	306	47.7%	14.1%	16.3%	4.2%	21.6%	0.3%	29.4%
介護老人保健施設	62	43.5%	37.1%	9.7%	21.0%	32.3%	0.0%	22.6%
介護老人福祉施設	119	33.6%	13.4%	6.7%	30.3%	12.6%	0.0%	24.4%
介護医療院	17	41.2%	23.5%	5.9%	23.5%	29.4%	5.9%	17.6%
障がい児・者施設等	41	39.0%	26.8%	4.9%	19.5%	17.1%	0.0%	19.5%
計	1,260	38.9%	20.2%	9.5%	14.2%	24.8%	1.5%	26.2%

1位 2位 3位

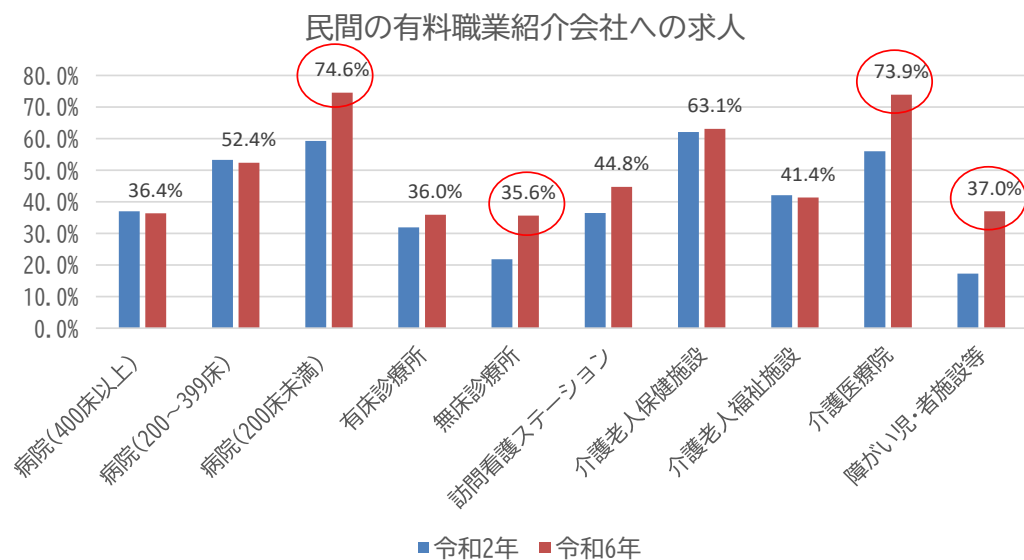
- ・ 看護職員の確保に困った時の工夫として、「業務・サービス内容を見直した(38.9%)」、「臨時・パート職員を雇用した(24.8%)」、「他職員が不足する病棟を応援する等、病院全体で取り組んだ(20.2%)」に取り組まれている。
- ・ 施設別では、すべての病院では「他職員が不足する病棟を応援する等、病院全体で取り組んだ」が最も高く、それ以外の施設では「業務・サービス内容を見直した」が高い。

(6) 求人・求職時の募集方法

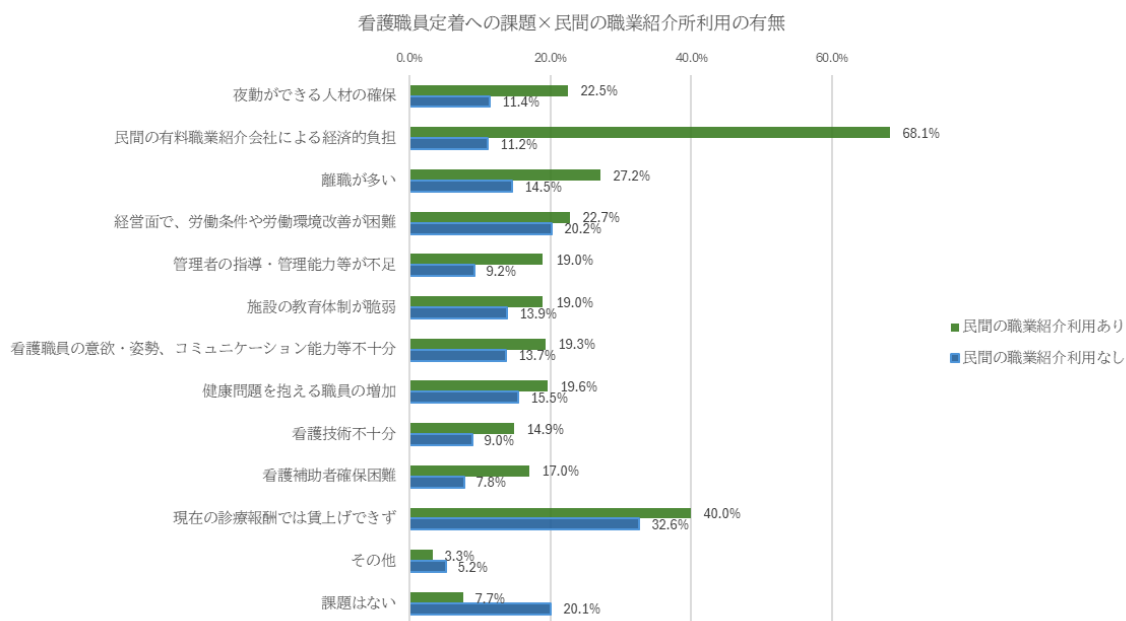
求人施設の求人方法と求職者が活用した情報上位 5 位

	求人方法 【施設調査】	割合	求職で活用した情報 【看護職員調査】	割合
1	ハローワークの利用	87.2%	友人・知人からの紹介	22.4%
2	有料職業紹介会社利用	42.2%	ハローワーク	21.5%
3	施設のホームページ掲載等	38.8%	大学・養成所等での進路指導	14.8%
4	ナースセンター利用	23.0%	民間の職業紹介会社	10.1%
5	広報	14.3%	ナースセンター	6.1%

- ・ 施設の求人方法は、「ハローワークへの求人」、「民間の有料職業紹介会社への求人」、「法人、施設等のホームページの掲載」、「ナースセンターへの求人」の順に多く、「ハローワーク」の利用は、すべての施設で最も高く、令和 2 年調査と同様となっている。



- ・ 民間の有料職業紹介会社の利用状況について、施設別に令和 2 年調査と比較すると、「病院（200 床未満）」、「無床診療所」、「介護医療院」、「障がい児・者施設等」での増加が顕著である。



- ・ 看護職員の確保や定着に課題のある施設において、看護職員を確保するため、「民間の有料職業紹介会社」を利用しており、経済的負担が大きくなっている。

職場を選ぶ際に、最も活用した情報

	回答数	ハローワーク	ナースセンター	民間の職業紹介会社	大学・養成所等での進路指導	法人、施設等のホームページ	就職懇談会(セミナー)・説明会	友人・知人からの紹介	臨地実習施設の情報	法人、施設からの就職の働きかけ	広告	その他
25歳未満	842	3.1%	3.6%	4.3%	38.2%	6.8%	8.0%	11.6%	16.7%	2.3%	1.5%	3.6%
25～29歳	1,204	7.9%	6.6%	12.7%	25.6%	6.4%	5.8%	14.6%	11.0%	2.1%	1.7%	4.9%
30～34歳	960	12.0%	6.6%	17.6%	19.4%	8.1%	4.0%	14.7%	8.9%	2.1%	1.1%	5.4%
35～39歳	1,005	18.8%	9.4%	14.6%	14.8%	6.5%	1.9%	18.5%	5.9%	1.7%	1.9%	5.7%
40～44歳	1,382	24.0%	7.1%	12.8%	11.7%	7.9%	1.0%	20.5%	4.3%	2.1%	2.4%	5.4%
45～49歳	1,518	29.1%	6.3%	9.2%	10.3%	4.5%	0.7%	25.5%	2.6%	2.6%	3.5%	5.5%
50～54歳	1,349	29.8%	5.6%	8.0%	9.0%	4.1%	0.1%	27.0%	2.1%	2.7%	4.4%	6.6%
55～59歳	1,016	32.7%	4.8%	6.4%	8.0%	1.5%	0.0%	28.2%	1.8%	3.3%	6.8%	6.0%
60～64歳	603	31.8%	3.6%	5.0%	4.0%	1.5%	0.3%	38.1%	0.3%	3.2%	7.0%	4.8%
65～69歳	202	24.3%	2.0%	4.0%	0.5%	1.5%	1.0%	46.5%	0.0%	5.9%	6.4%	7.4%
70歳以上	77	16.9%	5.2%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	49.3%	1.3%	13.0%	10.4%	2.6%
計	10,208	21.5%	6.1%	10.1%	14.8%	5.3%	2.2%	22.4%	5.6%	2.6%	3.4%	5.4%

1位 2位 3位

- ・ 看護職員が求職で活用した情報は、「友人・知人からの紹介」「ハローワーク」の順で多く、施設の求人方法と相違があった。ナースセンターの活用割合は求職者が6.1%と低くなっている。
- ・ 年齢別では、25歳未満から34歳までの年代では「大学・養成所等での進路指導」、35歳から59歳までの年代では「ハローワーク」、60歳以降は「友人・知人からの紹介」が多くなっている。

職場を選ぶ際に、最も活用した情報

	回答数	ハローワーク	ナースセンター	民間の職業紹介会社	大学・養成所等での進路指導	法人、施設等のホームページ	就職懇談会(セミナー)・説明会	友人・知人からの紹介	臨地実習施設の情報	法人、施設からの就職の働きかけ	広告	その他
病院(400床以上)	2,511	5.1%	3.8%	4.3%	39.7%	7.7%	4.8%	13.5%	11.7%	1.6%	1.4%	5.8%
病院(200～399床)	2,059	11.2%	7.3%	9.1%	17.0%	7.3%	3.3%	22.8%	9.6%	2.6%	2.5%	7.0%
病院(200床未満)	1,601	21.4%	8.2%	17.5%	6.2%	5.2%	1.6%	25.0%	2.9%	2.7%	3.0%	5.6%
有床診療所	271	38.4%	4.8%	12.5%	4.1%	2.2%	0.0%	25.5%	1.1%	3.0%	4.8%	3.3%
無床診療所	1,670	48.6%	5.7%	8.3%	0.8%	1.4%	0.2%	21.3%	0.0%	2.6%	6.5%	4.3%
訪問看護ステーション	1,005	27.8%	5.6%	15.5%	1.3%	4.7%	0.3%	31.9%	0.8%	3.1%	4.5%	4.3%
介護老人保健施設	219	29.2%	4.6%	17.4%	0.9%	3.2%	0.0%	29.2%	0.5%	3.7%	6.4%	4.6%
介護老人福祉施設	294	29.6%	4.8%	11.6%	0.7%	1.4%	0.3%	37.8%	0.0%	7.1%	4.4%	2.4%
介護医療院	85	36.5%	10.6%	9.4%	3.5%	1.2%	0.0%	20.0%	0.0%	5.9%	1.2%	10.6%
障がい児・者施設等	130	24.6%	7.7%	7.7%	1.5%	3.8%	0.8%	40.0%	3.1%	2.3%	3.8%	3.8%
計	10,208	21.5%	6.1%	10.1%	14.8%	5.3%	2.2%	22.4%	5.6%	2.6%	3.4%	5.4%

1位 2位 3位

- ・ 職場を選ぶ際に最も活用した情報について、回答者(看護職員)が所属する施設別にみると、病院(400床以上)では「大学・養成所等での進路指導」、病院(200～399床)、病院(200床未満)、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、介護老人福祉施設及び障がい児・者施設では「友人・知人からの紹介」、有床・無床診療所と介護医療院では「ハローワーク」が最も活用割合が高い。
- ・ 病院(200床未満)、有床診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設及び介護老人福祉施設では、約1割～2割弱に相当する職員が、民間の職業紹介会社を通じた就業である。

- ・ その他、自由記述では、「附属(系列)の病院だったから」が最も多く、「近く、近所、地元」、「民間の人材紹介・派遣会社」の順となった。調査の選択肢になかった項目として、「院長からの勧誘」、「SNS」、「開業・立ち上げ」、「家族や知人の入院・受診」等のキーワードが複数見られた。

(7) 看護職員が現在の職場を選んだ理由

職場の選択理由

	回答数	仕事の 内容が 魅力的	設置者の 理念・方 針に共感 したから	資格・技 能が活か せるから	教育体制 が充実 している から	通勤が 便利 だから	給与が 高いから	福利厚生・ 労働環境 (子育て支 援・介護支 援等)が 充実して いるから	経営が健 全で将来 的に安定し た職場で あるから	勤務時間 に柔軟性 があるから	人に勧め られたか ら(家族・ 学校・先 輩など)	その他
25歳未満	842	24.9%	7.5%	11.3%	29.7%	24.5%	24.2%	18.1%	4.6%	2.9%	24.9%	10.0%
25～29歳	1,204	24.6%	5.0%	16.9%	22.8%	27.7%	27.5%	21.7%	7.7%	5.9%	21.3%	11.4%
30～34歳	960	27.9%	4.8%	16.0%	15.5%	33.9%	23.8%	21.7%	7.3%	11.9%	19.2%	12.1%
35～39歳	1,005	26.4%	5.2%	17.7%	11.6%	42.8%	19.9%	20.6%	6.2%	18.7%	18.1%	12.3%
40～44歳	1,382	29.1%	5.9%	21.9%	10.7%	44.2%	17.1%	18.2%	7.3%	17.9%	19.0%	11.4%
45～49歳	1,518	29.3%	6.1%	23.8%	6.9%	46.7%	13.9%	12.9%	8.6%	17.6%	18.8%	12.7%
50～54歳	1,349	26.6%	7.0%	29.0%	6.7%	47.4%	9.9%	10.7%	8.0%	14.5%	21.8%	12.5%
55～59歳	1,016	27.2%	7.1%	32.0%	4.8%	50.1%	6.2%	8.7%	8.7%	14.6%	20.8%	14.3%
60～64歳	603	22.7%	6.1%	34.8%	2.8%	51.6%	4.3%	6.6%	7.3%	20.6%	20.9%	13.4%
65～69歳	202	23.3%	8.4%	37.1%	1.0%	50.5%	4.0%	7.4%	6.9%	27.7%	20.8%	7.9%
70歳以上	77	24.7%	14.3%	50.6%	0.0%	53.2%	5.2%	6.5%	10.4%	31.2%	20.8%	6.5%
計	10,208	26.7%	6.2%	23.0%	11.8%	41.4%	16.1%	15.4%	7.4%	14.3%	20.3%	12.1%

1位 2位 3位

- ・ 看護職員が現在の職場を選んだ理由については、「通勤が便利だから(41.4%)」、「仕事の内容が魅力的(26.7%)」、「資格・技能が活かせるから(23.0%)」の順に多い。
- ・ 年齢別にみると、25 歳未満では「教育体制が充実しているから」、その他の年代では「通勤が便利だから」の割合が最も高い。また、「仕事の内容が魅力的」と回答した割合は、どの年代においても高い。

職場の選択理由

	回答数	仕事の 内容が 魅力的	設置者の 理念・方 針に共感 したから	資格・技 能が活か せるから	教育体制 が充実 している から	通勤が 便利 だから	給与が 高いから	福利厚生・ 労働環境 (子育て支 援・介護支 援等)が 充実して いるから	経営が健 全で将来 的に安定し た職場で あるから	勤務時間 に柔軟性 があるから	人に勧め られたか ら(家族・ 学校・先 輩など)
病院(400床以上)	2,511	27.9%	5.5%	19.2%	0.6%	29.6%	28.1%	26.6%	13.2%	3.3%	20.7%
病院(200～399床)	2,059	17.0%	2.9%	13.4%	14.5%	38.5%	15.3%	14.4%	5.2%	7.4%	26.5%
病院(200床未満)	1,601	15.6%	3.2%	18.1%	3.9%	46.2%	10.9%	13.4%	4.4%	12.3%	20.8%
有床診療所	271	30.6%	5.5%	35.4%	2.2%	48.0%	7.4%	5.9%	3.3%	20.3%	24.0%
無床診療所	1,670	31.8%	9.3%	31.0%	1.3%	58.0%	8.8%	7.6%	5.7%	28.9%	13.8%
訪問看護ステーション	1,005	53.4%	14.0%	35.6%	3.7%	37.6%	14.6%	11.2%	6.9%	30.5%	16.3%
介護老人保健施設	219	16.0%	2.3%	32.0%	1.4%	46.1%	6.8%	16.9%	5.0%	13.2%	20.5%
介護老人福祉施設	294	21.4%	7.8%	33.3%	1.7%	53.4%	8.2%	9.2%	8.2%	19.7%	20.7%
介護医療院	85	7.1%	3.5%	20.0%	0.0%	54.1%	8.2%	7.1%	3.5%	12.9%	24.7%
障がい児・者施設等	130	34.6%	6.9%	36.9%	0.0%	42.3%	13.1%	24.6%	11.5%	21.5%	26.9%
計	10,208	44.1%	12.2%	31.5%	5.4%	36.9%	26.1%	10.8%	6.3%	22.1%	14.4%

1位 2位 3位

- ・ 職場選択の理由を施設別にみると、訪問看護ステーションでは「仕事の内容が魅力的(53.4%)」が高く、無床診療所、介護老人福祉施設及び介護医療院では、「通勤が便利だから」の割合が

50%を超えている。

- ・ 職場選択の理由を医療圏別にみると、「通勤が便利だから」がどの医療圏でも最も高い。次いで、「福岡・糸島」、「粕屋」、「宗像」、「筑紫」、「久留米」では「仕事の内容が魅力的」、「筑紫」、「直方・鞍手」、「京築」では「資格・技能が活かせるから」、「朝倉」、「八女・筑後」、「有明」、「飯塚」、「田川」、「北九州」では「人に勧められたから」の項目が、それぞれの医療圏の 2 番目に高い理由になっている。

3 看護職員の勤務環境

(1) 資格・能力手当の有無、昇給制度、年休・給与

① 資格・能力手当の有無(施設調査)

昇給制度の有無（施設調査）

昇給制度の有無	回答数	割合
ある	1,959	89.1%
ない	202	9.1%
無回答	40	1.8%
計	2,201	100.0%

資格・能力手当の有無（施設調査）

資格・能力 手当の有無	回答数	割合
ある	923	42.3%
ない	1,243	56.1%
無回答	35	1.6%
計	2,201	100.0%

- ・ 昇給制度については、1,959 施設(89.1%)が「ある」と回答しており、資格取得や能力に応じた手当の有無については、923 施設(42.3%)が「ある」と回答した。
- ・ 手当の種類としては、「その他」と回答した施設が最も多く、リーダーや看護師長等の「管理職手当」、「介護支援専門員等の他資格取得手当」、看護職員として雇用する際の「看護職員手当」、「オンコールや感染症対策等の業務に係る手当」等との回答がみられた。

資格・能力手当の種類

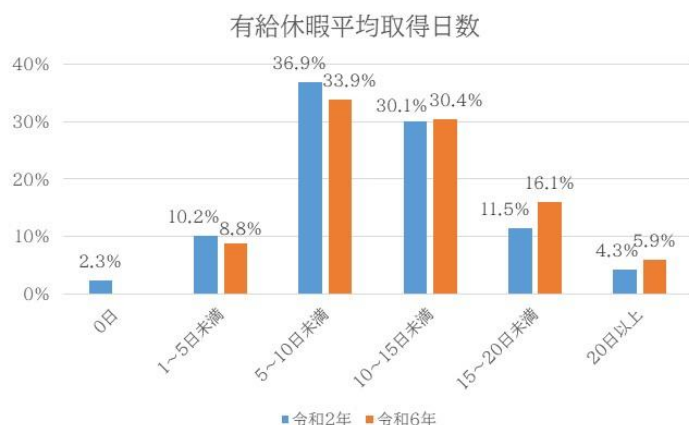
項目	回答数	割合 (n=923)
認定看護師手当	188	20.4%
専門看護師手当	127	13.8%
特定行為に係る手当	155	16.8%
診療看護師手当	69	7.5%
分娩手当（助産師）	23	2.5%
その他	543	58.8%
計	1,105	

資格・能力手当の有無

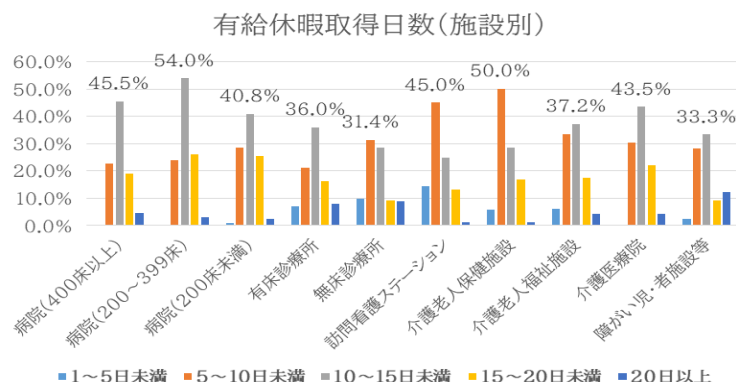
施設区分	回答数	ある	ない
病院(400床以上)	22	45.5%	50.0%
病院(200～399床)	63	39.7%	60.3%
病院(200床未満)	130	40.0%	60.0%
有床診療所	114	54.4%	44.7%
無床診療所	996	43.8%	55.2%
訪問看護ステーション	449	43.2%	56.6%
介護老人保健施設	84	31.0%	66.7%
介護老人福祉施設	191	36.1%	62.3%
介護医療院	23	30.4%	69.6%
障がい児・者施設等	81	37.0%	63.0%
その他	22	31.8%	63.6%
無回答	26	19.2%	19.2%
計	2,201	41.9%	56.5%

- ・ 資格取得や能力に応じた手当について、施設別では、有床診療所の割合が 50%を超えているが、他の施設は、3～4 割程度に留まる。

② 有給休暇取得状況(施設調査)

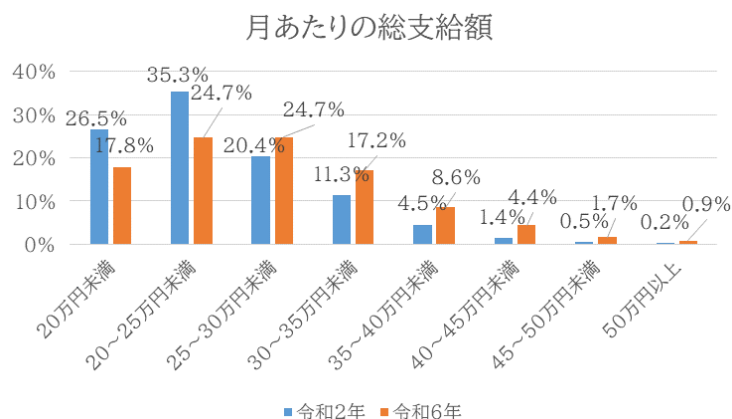


- ・ 令和5年1月～令和5年12月の看護職員の年次有給休暇平均取得日数は、「5～10日未満(33.9%)」、「10～15日未満(30.4%)」の順となった。令和2年調査時点と比べて、有給休暇の平均取得日数「15日以上」の割合が高くなっていることが分かる。



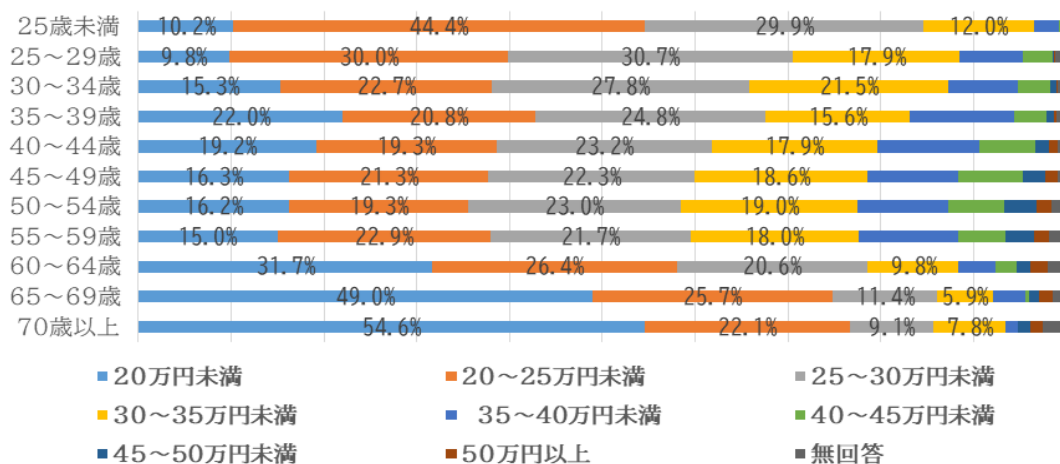
- ・ 施設別にみると、病院、有床診療所、介護老人福祉施設、介護医療院及び障がい児・者施設では、「10～15日未満」が最上位であり、2位「5～10日未満」、3位「15～20日未満」を合わせると8～9割を占めている。
- ・ 無床診療所、訪問看護ステーション及び介護老人保健施設では、「5～10日未満」が多い。

③ 各種手当を含めた前月の総支給額(看護職員調査)



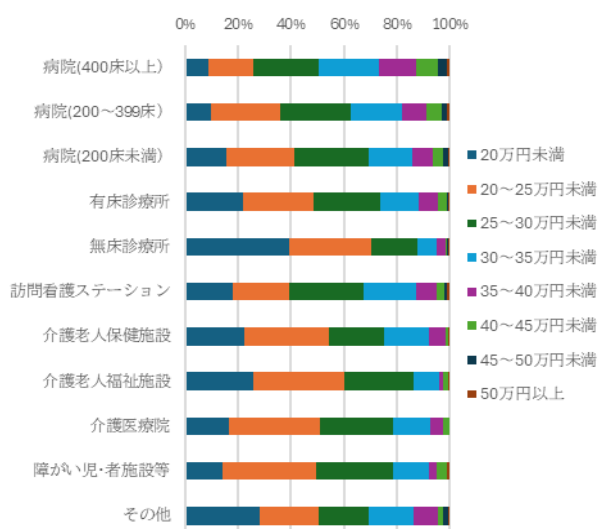
- ・ 月あたりの各種手当を含めた総支給額は、「25 万～30 万円未満(24.7%)」、「20～25 万円未満(24.7%)」、「20 万円未満(17.8%)」の順となった。
- ・ 令和 2 年調査と比較すると、月あたりの総支給額が増加していることが分かる。

月あたりの総支給額(年齢階級別)

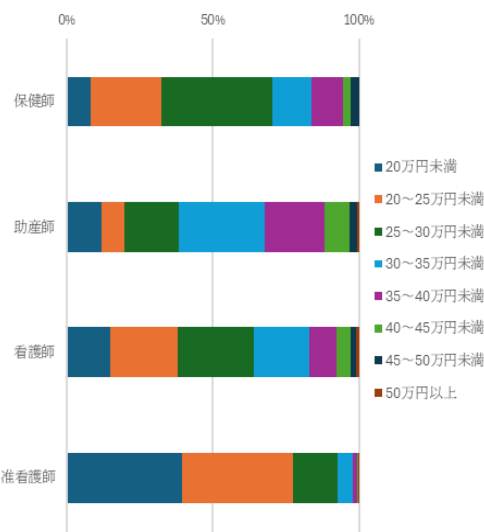


- ・ 25 歳未満の看護職員では、「25 万円未満」が半数以上を占める。25 歳以上になると、「25 万円以上」が徐々になる傾向がみられ、「30～40 万円未満」の者も一定程度いる。
- ・ 一方、35～39 歳は「25 万円未満」の割合が高まっており、「結婚・妊娠・出産」等による働き方の変化が影響しているものと考えられる。また、60 歳以降についても働き方の変化に伴う影響がみられる。

月あたりの総支給額(施設区分別)

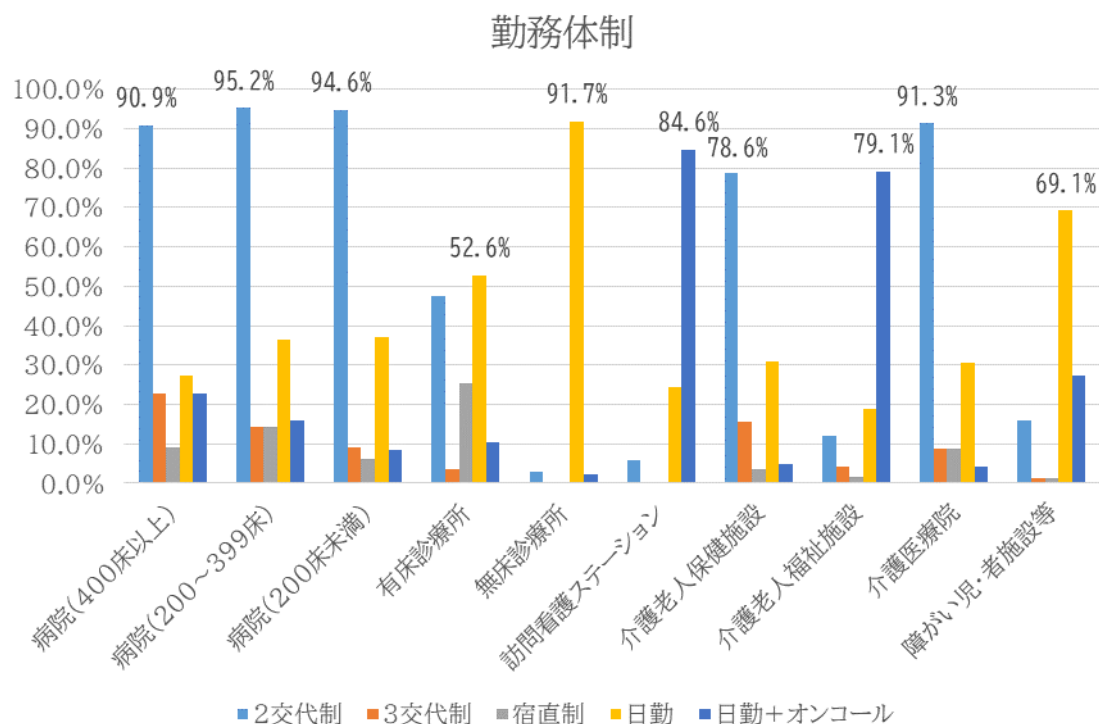


月あたりの総支給額(職種別)



- ・ 月あたりの総支給額を施設別にみると、病院では病床数が多いほど総支給額が高くなっており、無床診療所、有床診療所及び介護老人福祉施設では「20 万円未満」の割合が高い。
- ・ 職種別では、保健師及び看護師は「25～30 万円未満」、助産師は「30～35 万円未満」、准看護師は「20 万円未満」の割合が高い。

④ 勤務体制（施設別勤務形態・看護職員の年齢別勤務形態）



- ・施設別にみると、病院、介護老人保健施設及び介護医療院で、「2交代制」が多く、訪問看護ステーションと介護老人福祉施設では「日勤+オンコール体制」、無床診療所では「日勤」の割合が多い。

勤務形態（看護職員調査）

	回答数	2交代制	3交代制	宿直制	日勤のみ	日勤+オンコール	夜勤専従	その他
25歳未満	842	85.6%	8.0%	0.0%	3.0%	1.8%	0.1%	0.6%
25～29歳	1204	71.7%	4.4%	0.3%	17.5%	3.8%	0.5%	0.8%
30～34歳	960	59.0%	3.2%	0.7%	27.4%	6.4%	0.7%	1.8%
35～39歳	1005	46.4%	2.3%	0.3%	39.7%	8.3%	0.1%	2.5%
40～44歳	1382	40.2%	2.7%	0.7%	43.8%	10.0%	0.4%	1.8%
45～49歳	1518	35.2%	2.5%	1.7%	43.3%	14.1%	0.3%	2.2%
50～54歳	1349	30.5%	3.3%	1.9%	44.7%	15.1%	0.4%	3.6%
55～59歳	1016	26.7%	2.3%	1.9%	51.9%	13.7%	0.5%	2.3%
60～64歳	603	17.1%	3.0%	0.5%	60.5%	14.3%	1.0%	3.5%
65～69歳	202	12.9%	4.0%	0.0%	58.9%	16.3%	3.5%	4.5%
70歳以上	77	7.8%	0.0%	0.0%	75.3%	11.7%	1.3%	3.9%
計	10,208	44.4%	3.4%	0.9%	37.7%	10.1%	0.5%	2.2%

1位 2位

- ・看護職員の勤務形態をみると、25歳未満では、「2交代制」で働く割合が高いが、40歳代以降で、「日勤のみ」と割合が逆転する。また、60歳以降では、「日勤+オンコール」の勤務体制で勤務する割合も多くなる。

1日の平均的な勤務時間(残業を除く)(看護職員調査)

	回答数	4時間未満	4時間以上 6時間未満	6時間以上 8時間未満	8時間以上 10時間未満	10時間以上 12時間未満	12時間 以上
病院(400床以上)	2,511	4.6%	2.2%	29.8%	55.4%	6.1%	1.8%
病院(200～399床)	2,059	4.7%	2.5%	38.4%	48.2%	4.4%	1.5%
病院(200床未満)	1,601	4.3%	3.6%	44.2%	44.2%	2.2%	1.3%
有床診療所	271	4.4%	2.6%	51.7%	39.1%	1.8%	0.4%
無床診療所	1,670	7.4%	12.6%	46.4%	32.2%	0.8%	0.5%
訪問看護ステーション	1,005	6.1%	6.8%	43.6%	42.2%	1.1%	0.3%
介護老人保健施設	219	2.3%	2.3%	56.2%	35.6%	0.5%	3.2%
介護老人福祉施設	294	3.7%	5.4%	39.5%	50.0%	0.3%	0.3%
介護医療院	85	3.5%	3.5%	47.1%	44.7%	0.0%	1.2%
障がい児・者施設等	130	3.1%	2.3%	48.5%	45.4%	0.0%	0.8%
計	10,208	5.1%	4.9%	39.9%	45.3%	3.1%	1.2%

1位 2位

- ・ 看護職員の1日の平均的な勤務時間を施設別にみると、病院と介護老人福祉施設では、「8時間以上10時間未満」、それ以外の施設では、「6時間以上8時間未満」の割合が高い。

1週間に働く平均的な日数(看護職員調査)

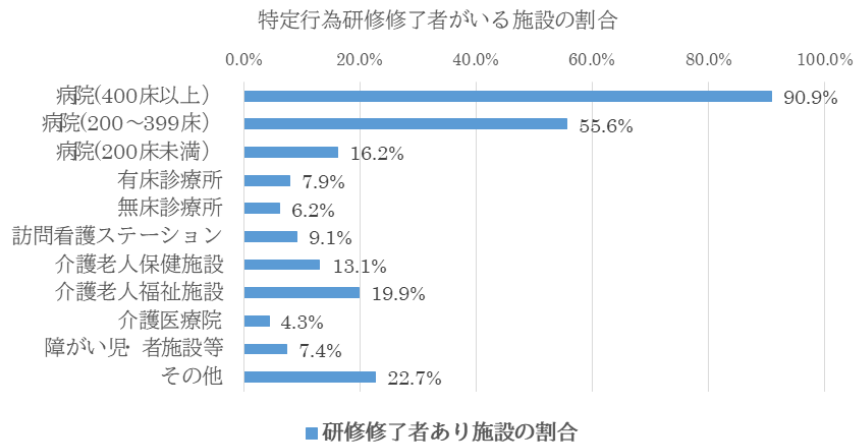
	回答数	2日以内	3～4日	5日	6日以上
病院(400床以上)	2,511	0.8%	23.8%	74.2%	1.0%
病院(200～399床)	2,059	0.9%	29.3%	66.8%	2.5%
病院(200床未満)	1,601	1.1%	20.9%	71.6%	6.1%
有床診療所	271	1.1%	16.6%	62.7%	18.8%
無床診療所	1,670	2.8%	17.4%	45.3%	34.3%
訪問看護ステーション	1,005	2.3%	15.0%	74.7%	7.8%
介護老人保健施設	219	3.2%	26.0%	69.0%	1.8%
介護老人福祉施設	294	2.0%	23.5%	73.1%	1.0%
介護医療院	85	0.0%	30.6%	69.4%	0.0%
障がい児・者施設等	130	0.0%	14.6%	81.5%	3.1%
計	10,208	1.5%	22.2%	66.8%	8.9%

1位 2位

- ・ 1週間に働く平均的な日数では、「5日」がどの施設においても割合が高いが、診療所では、「6日以上」との回答もある。無床診療所では、1日の平均的な勤務時間において、「4時間未満」、「4時間以上6時間未満」と回答した割合が他の施設よりも高いことが影響していると考えられる。

(2) 看護職員の資質向上

① 資格取得者の就業状況(施設調査)



- ・ 資格取得者の就業者数は、特定行為研修修了者 437 人、認定看護師 735 人、専門看護師 190 人、診療看護師 113 人であった。
- ・ 特定行為の資格取得者は、「病院(200 床以上)」での配置が多く、他の施設での配置は進んでいない。

特定行為研修を受講しない理由

	回答数	特定行為研修についての情報収集の段階である	医師や関係職種との理解が得られない	特定行為の活用方法がわからない	人員不足で研修受講期間中の人員補充が困難である	受講希望者がいない	施設として配置を考えていない	経費が高額である
病院(400床以上)	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	50.0%
病院(200～399床)	28	10.7%	7.1%	0.0%	28.6%	35.7%	42.9%	21.4%
病院(200床未満)	109	13.8%	5.5%	4.6%	30.3%	48.6%	45.9%	22.9%
有床診療所	105	6.7%	1.0%	7.6%	16.2%	49.5%	56.2%	7.6%
無床診療所	934	4.2%	1.3%	8.7%	18.2%	45.4%	56.4%	7.5%
訪問看護ステーション	408	14.7%	1.0%	7.6%	47.3%	46.6%	27.9%	35.3%
介護老人保健施設	73	8.2%	1.4%	8.2%	24.7%	45.2%	57.5%	13.7%
介護老人福祉施設	153	7.8%	2.0%	7.8%	17.0%	31.4%	69.9%	6.5%
介護医療院	22	22.7%	4.5%	4.5%	40.9%	40.9%	50.0%	13.6%
障害児・者施設等	75	10.7%	0.0%	4.0%	10.7%	13.3%	69.3%	4.0%
計	1,931	8.0%	1.6%	7.6%	25.3%	43.3%	50.9%	14.7%

1位 2位

- ・ 特定行為研修修了者の配置がない施設(1,931 施設)の研修未受講の理由は、「施設として配置を考えていない(50.9%)」、「受講希望者がいない(43.3%)」、「人員不足で研修受講期間中の人員補充が困難である(25.3%)」の順となっている。
- ・ 施設別の研修を受講しない理由は、病院(400 床以上)では「人員不足で研修受講期間中の人員補充が困難である」、「受講希望者がいない」、病院(200 床未満)で「受講希望者がいない」、訪問看護ステーションでは「人員不足で研修受講期間中の人員補充が困難である」、その他の施設では「施設として配置を考えていない」が理由として最も高い。
- ・ 「経費が高額である」の割合が高いのは、「病院(400 床以上)(50%)」、「訪問看護ステーション」

ン(35.3%)」である。

② 施設の教育体制と看護職員の研修受講状況

ア.施設の教育体制(施設調査)

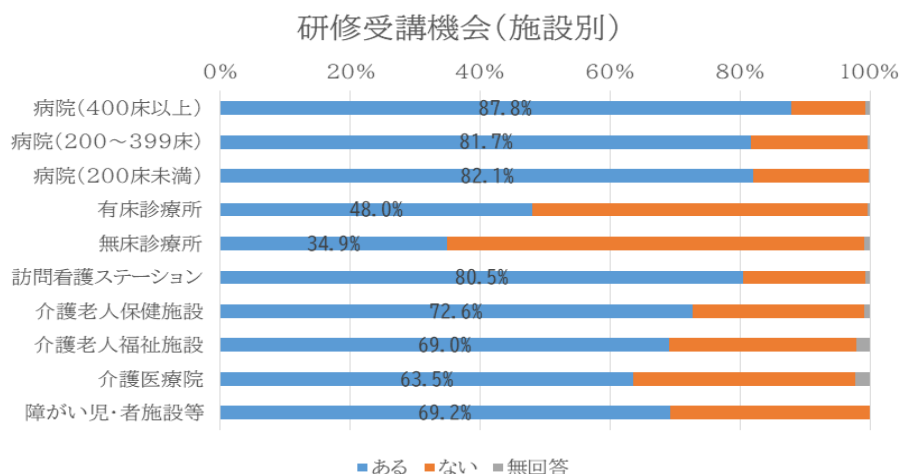
看護職員が受講できる研修

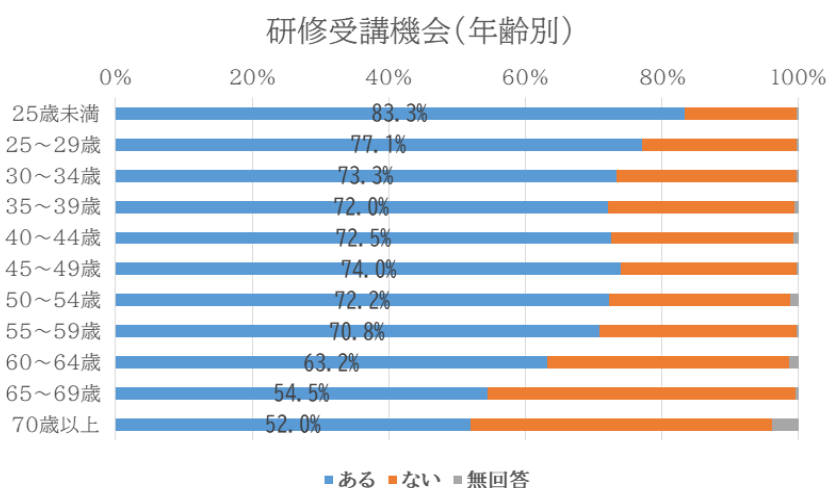
	回答数	新人看護 職員研修	新任期(2 ～3年目) 看護職員 フォロー アップ研修	新人看護 職員の 指導者 向け研修	習熟段階 に応じた 研修	専門別 研修	管理者 向け研修	特になし
病院(400床以上)	93	81.8%	63.6%	68.2%	72.7%	63.6%	72.7%	0.0%
病院(200～399床)	235	90.5%	63.5%	65.1%	49.2%	39.7%	58.7%	6.3%
病院(200床未満)	424	74.6%	53.8%	59.2%	48.5%	33.1%	46.9%	10.0%
有床診療所	162	28.1%	15.8%	11.4%	8.8%	15.8%	7.9%	54.4%
無床診療所	1,210	13.9%	8.6%	5.6%	8.4%	10.1%	4.8%	70.0%
訪問看護ステーション	1,027	51.9%	38.5%	26.7%	25.4%	29.8%	35.9%	20.5%
介護老人保健施設	206	64.3%	51.2%	32.1%	22.6%	20.2%	38.1%	16.7%
介護老人福祉施設	320	44.0%	25.1%	16.2%	14.7%	26.2%	9.4%	31.9%
介護医療院	50	56.5%	34.8%	30.4%	21.7%	17.4%	39.1%	17.4%
障がい児・者施設等	152	38.3%	24.7%	18.5%	17.3%	45.7%	11.1%	32.1%
計	2,201	34.9%	24.0%	18.4%	17.8%	20.3%	18.3%	44.8%

1位 2位 3位

- ・施設において看護職員が受講できる研修は、「新人看護職員研修(34.9%)」、「新任期(2～3年目)看護職員フォローアップ研修(24.0%)」の順に多い。「特になし」と回答した施設は44.8%であり、施設別にみると、「無床診療所」での割合が70.0%と高い。
- ・新人看護職員研修は、「病院(200～399床)(90.5%)」で最も高く、「無床診療所(13.9%)」と最も低くなっており、新人看護職員の採用にあたっては、新人看護職員研修を受講できる体制を整える必要がある。
- ・新任期看護職員フォローアップ研修は、「病院(400床以上)」の63.6%が最も高く、新人看護職員の指導者向け研修も、「病院(400床以上)」の68.2%が最も高い。
- ・専門別研修と管理者向け研修は、全体で約20%の受講機会となっているため、看護の質の向上や離職防止につながるいずれの研修も受講できる体制を整える必要がある。

イ.看護職員の研修受講状況(看護職員調査)

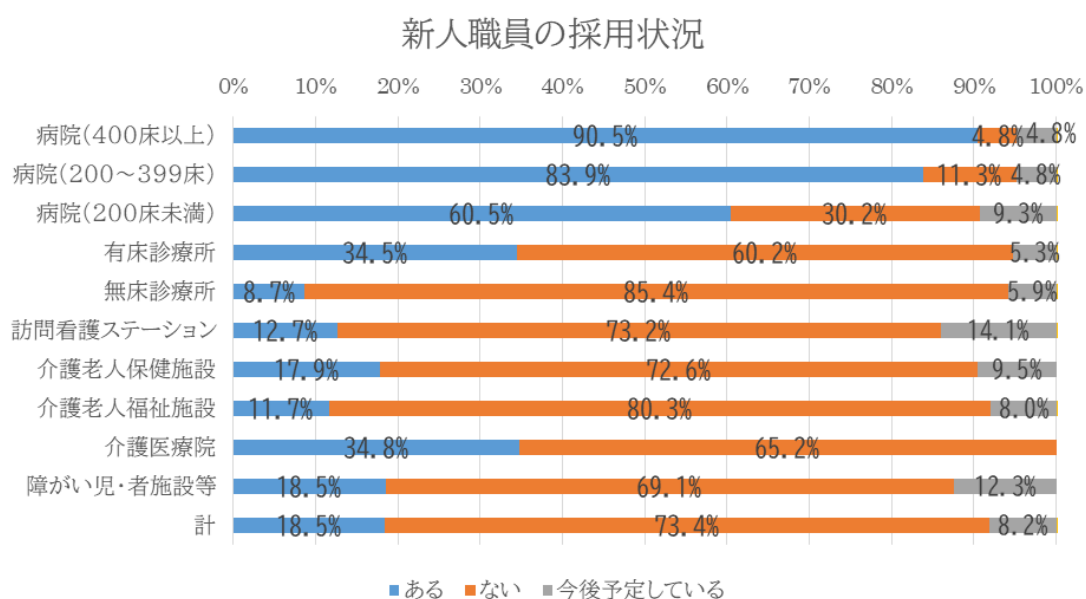




- ・ 看護職員調査において、病院と訪問看護ステーションでは、研修受講の機会が80%を超えている。一方、診療所では他の施設よりも低く、施設調査と同様の結果となった。
- ・ 研修受講機会を年齢別にみると、25歳未満の83.3%が最も高く、その後、年齢を重ねるごとに研修の受講機会の割合が減少する傾向がみられる。

ウ. 新人看護職員研修

○ 新人看護職員の採用状況(施設調査)



- ・ 新人職員の採用について、全体の73.4%の施設が「ない」と回答している。
- ・ 施設別にみると、採用が「ある」と回答した割合は、「病院」、「介護医療院」、「有床診療所」で高く、「病院」では病床の規模に応じて、新人職員を採用する割合が増加する。
- ・ 「ない」と回答した割合は、「無床診療所」、「介護老人福祉施設」、「訪問看護ステーション」の順で多い。今後、在宅医療の推進で重要な役割を担う訪問看護ステーションでは、新人看護職員の採用を「今後予定している」と回答した施設が、14.1%となっている。

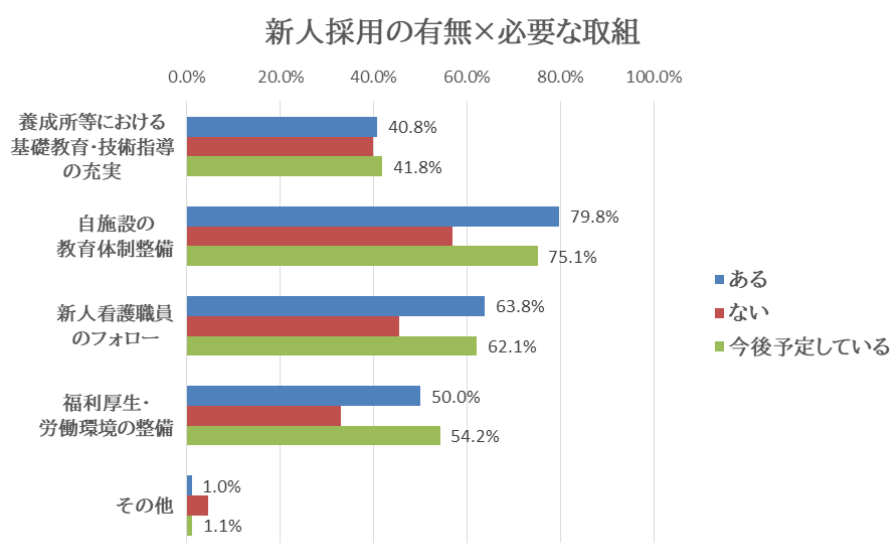
○ 新人看護職員を採用する際の必要な取組（施設調査）

新人看護職員を採用する際の必要な取組

	回答数	養成所等における 基礎教育・技術指導 の充実	自施設の 教育体制 整備	新人看護 職員の フォロー	福利厚生・労働 環境の 整備	その他
病院(400床以上)	22	54.5%	77.3%	72.7%	45.5%	0.0%
病院(200～399床)	63	47.6%	79.4%	71.4%	69.8%	4.8%
病院(200床未満)	130	34.6%	87.7%	70.8%	44.6%	0.8%
有床診療所	114	28.1%	69.3%	41.2%	34.2%	3.5%
無床診療所	996	40.5%	48.7%	37.8%	34.2%	3.9%
訪問看護ステーション	449	47.9%	74.6%	64.1%	40.3%	2.9%
介護老人保健施設	84	42.9%	75.0%	65.5%	41.7%	2.4%
介護老人福祉施設	191	30.9%	70.7%	53.4%	34.6%	4.2%
介護医療院	23	56.5%	82.6%	78.3%	39.1%	0.0%
障がい児・者施設等	81	22.2%	58.0%	46.9%	42.0%	8.6%
計	2201	39.7%	61.9%	49.7%	37.4%	3.6%

1位 2位

- ・ 新人看護職員を採用する際の必要な取組については、「自施設の教育体制整備(61.9%)」、「新人看護職員のフォロー(49.7%)」、「養成所等における基礎教育・技術指導の充実(39.7%)」の順で高い。
- ・ 施設別にみると、すべての施設で「自施設の教育体制整備」が最も高い。病院、無床診療所、訪問看護ステーション及び介護老人福祉施設では、7～8割以上で「自施設の教育体制整備」、「新人看護職員のフォロー」が必要と回答しており、人材不足に加え、教育体制が不足している状況が伺える。
- ・ 介護医療院、病院(400床以上)、訪問看護ステーション及び病院(200～399床未満)の半数近くが、「養成所等における基礎教育・技術指導の充実」が必要と回答しており、技術等の習得及び指導者の不足に課題があると考えられる。



- ・ 新人職員の採用の有無と必要な取組では、採用の有無・予定に関わらず、「自施設の教育体制整備」、「新人看護職員のフォロー」の回答割合が高く、教育体制の整備や新人職員のフォローが

必要とされている。また、採用が「ある」、「今後予定している」施設では、「福利厚生・労働環境の整備」についても必要と考えている。

エ. 看護職員の研修受講状況

○ 看護職員が受講したことのある研修

項目	回答数	割合	新人看護職員研修	50.2%
ある	7,419	72.7%	新任期(2～3年目)看護職員研修 (フォローアップ研修等)	38.0%
ない	2,698	26.4%	習熟段階に応じた研修 (キャリアラダー別研修)	47.2%
無回答	91	0.9%	管理者向け研修	21.8%
計	10,208	100.0%	専門別研修	37.5%

- ・ 現在の職場における研修の受講機会について、「ある」は72.7%、「ない」は26.4%である。
- ・ 「ある」と回答した者の研修の受講状況では、「新人看護職員研修(50.2%)」、「習熟段階に応じた研修(47.2%)」、「新任期(2～3年目)看護職員研修(38.0%)」、「専門別研修(37.5%)」の順に多い。

受講したことのある研修

	回答数	新人看護 職員研修	新任期(2 ～3年目) 看護職員 フォロー アップ研修	習熟段階 に応じた 研修	管理者 向け研修	専門別 研修
病院(400床以上)	2,205	70.6%	57.9%	61.3%	22.5%	36.8%
病院(200～399床)	1,683	58.9%	42.9%	55.1%	25.0%	28.2%
病院(200床未満)	1,314	42.7%	29.1%	50.2%	24.2%	33.0%
有床診療所	130	20.0%	10.0%	16.9%	10.0%	63.8%
無床診療所	583	18.5%	13.9%	19.0%	9.8%	54.9%
訪問看護ステーション	809	29.2%	22.9%	32.0%	22.9%	43.8%
介護老人保健施設	159	37.7%	20.1%	30.2%	24.5%	39.6%
介護老人福祉施設	203	22.7%	18.7%	16.3%	17.7%	56.2%
介護医療院	54	31.5%	24.1%	31.5%	22.2%	33.3%
障がい児・者施設等	90	28.9%	12.2%	15.6%	13.3%	61.1%
計	7,419	50.2%	38.0%	47.2%	21.8%	37.5%

1位 2位

- ・ 施設別では、「新人看護職員研修」は、「病院(400床以上)」が70.6%と最も高く、「病院(200床未満)」では42.7%と低くなる。
- ・ 「習熟段階に応じた研修」は、「病院」で50%を超えている。
- ・ 病院以外の施設では、「専門別研修」の受講の割合が高い。
- ・ 「管理者向け研修」の受講割合は、21.8%となっている。

受講したことのある研修

	回答数	新人看護職員研修	新任期(2～3年目)看護職員フォローアップ研修	習熟段階に応じた研修	管理者向け研修	専門別研修
25歳未満	701	90.6%	45.2%	18.5%	1.9%	5.8%
25～29歳	928	70.9%	62.5%	54.4%	2.9%	21.2%
30～34歳	704	62.9%	52.6%	60.8%	10.7%	36.1%
35～39歳	724	55.0%	42.3%	57.0%	15.9%	42.3%
40～44歳	1,002	47.0%	37.0%	54.2%	26.5%	42.5%
45～49歳	1,123	39.1%	30.8%	49.1%	32.4%	46.0%
50～54歳	974	34.5%	26.1%	45.2%	34.6%	45.1%
55～59歳	719	29.2%	21.8%	44.8%	36.7%	49.7%
60～64歳	381	24.9%	20.7%	35.2%	30.2%	48.6%
65～69歳	110	22.7%	24.5%	19.1%	28.2%	41.8%
70歳以上	40	35.0%	20.0%	30.0%	25.0%	40.0%
計	7,419	50.1%	38.0%	47.2%	21.8%	37.5%

1位 2位

- ・ 年齢別では、「新人看護職員研修」は「25 歳未満(90.6%)」が最も高く、「新任期看護職員フォローアップ研修」は「25～29 歳(62.5%)」が最も高い。「習熟段階に応じた研修」は「35～39 歳(57.0%)」が最も高く、40～54 歳までの受講割合が高い。「専門別研修」は、「55～59 歳(49.7%)」で最も高く、55 歳以上では、「専門別研修」の受講が多い。

○ 看護職員の資格取得の状況(看護職員調査)

資格取得の状況

(単位:人)

	取得している	取得予定	取得予定なし	無回答
特定行為研修	233	167	9,424	384
認定看護師	242	116	9,476	374
専門看護師	76	74	9,663	395
認定看護管理者	208	133	9,461	406
診療看護師	17	38	9,754	399
アドバンス助産師	56	58	9,665	429
その他	393	101	9,210	504

- ・ 看護職員の資格取得について、いずれの資格でも「取得予定なし」と回答が9割以上を占めた。看護職員が提供する看護の質向上のためには、今後、取得予定としている職員が資格を取得できるよう体制を整える必要がある。
- ・ その他の項目としては、リスクマネジメント、医療安全管理者、介護支援専門員、糖尿病療養指導士、消化器内視鏡技師、保健師、専任教員等、所属先の業務に応じた資格取得などが挙げられる。

○ 管理監督業務にあたる者の状況

年齢階級	回答数	割合
25歳未満	1	0.3%
25～29歳	1	0.3%
30～34歳	3	0.8%
35～39歳	14	3.9%
40～44歳	33	9.3%
45～49歳	68	19.2%
50～54歳	102	28.7%
55～59歳	86	24.2%
60～64歳	38	10.7%
65～69歳	7	2.0%
70歳以上	2	0.6%
計	355	100.0%

認定看護管理者	回答数	割合
取得している	57	16.1%
取得予定	42	11.8%
取得予定なし	242	68.2%
無回答	14	3.9%
計	355	100.0%

管理者向け研修	回答数	割合
受講した	287	80.8%
受講したことがない または無回答	68	19.2%
計	355	100.0%

- ・ 業務として「管理監督業務」を選択した者は 355 人おり、年齢は 25 歳未満から 70 歳以上と幅があり、現在の職場での勤務年数も 3 年未満から 30 年以上となっている。
- ・ 「管理監督業務」にあたる者のうち、「認定看護管理者」の資格を取得している者は 57 人 (16.1%)、取得予定者は 42 人 (11.8%) となっている。
- ・ 「管理者向け研修」の受講者は 287 人となっており、管理監督業務にあたる者の 80.8% が受講している。

(3) 「子育てと仕事」、「介護と仕事」の両立支援(施設調査)

施設別「子育てと仕事」「介護と仕事」の両立支援の実施状況(上位5位)

	1位	件数	2位	件数	3位	件数	4位	件数	5位	件数	回答数
病院(400床以上)	シフト調整	17	介護休業制度	15	院内保育所	14	短時間勤務制度	14	上乗せ育児休業制度	5	73
病院(200～399床)	シフト調整	52	短時間勤務制度	50	介護休業制度	50	院内保育所	29	フレックスタイム・時差出勤導入	15	239
病院(200床未満)	シフト調整	120	短時間勤務制度	104	介護休業制度	101	院内保育所	34	法定5日以上介護休業制度	25	445
有床診療所	シフト調整	92	短時間勤務制度	57	介護休業制度	46	フレックスタイム・時差出勤導入	19	上乗せ育児休業制度	13	256
無床診療所	シフト調整	627	短時間勤務制度	279	いずれの制度もない	202	介護休業制度	163	フレックスタイム・時差出勤導入	106	1,578
訪問看護ステーション	シフト調整	418	短時間勤務制度	221	介護休業制度	196	フレックスタイム・時差出勤導入	123	法定5日以上介護休業制度	60	1,166
介護老人保健施設	シフト調整	80	介護休業制度	63	短時間勤務制度	60	院内保育所	26	上乗せ育児休業制度	22	291
介護老人福祉施設	シフト調整	167	介護休業制度	151	短時間勤務制度	115	法定5日以上介護休業制度	40	上乗せ育児休業制度	36	565
介護医療院	シフト調整	22	短時間勤務制度	16	介護休業制度	14	院内保育所	9	上乗せ育児休業制度	5	75
障がい児・者施設	介護休業制度	71	シフト調整	62	短時間勤務制度	60	法定5日以上介護休業制度	15	上乗せ育児休業制度	9	237

■ 子育て支援 ■ 介護支援 ■ 全体への支援 ■ 勤務体制への支援

- ・ いずれの施設においても「シフト調整」、「短時間勤務」、「介護休業制度」等に取り組んでいるが、無床診療所の 9.2% が、「いずれの制度もない」と回答した。また、「フレックスタイム・時差出勤」、「上乗せ育児休業制度」、「法定 5 日以上介護休業制度」に取り組む施設は少ない。

(4) ハラスメント対策(看護職員調査)

患者やその家族から受けたハラスメント

	R2		R6	
	回答数	割合	回答数	割合
ある	3,797	36.5%	4,990	48.9%
セクシャルハラスメント	914	24.1%	1,502	30.1%
身体的な暴力	985	25.9%	1,397	28.0%
言葉の暴力	2,542	66.9%	3,712	74.4%
カスタマーハラスメント	1,267	33.4%	2,147	43.0%
ない	6,288	60.5%	5,048	49.5%
無回答	309	3.0%	170	1.7%
回答者数	10,394	-	10,208	-

上司や同僚等から受けたハラスメント

	R2		R6	
	回答数	割合	回答数	割合
ある	2,452	23.6%	3,154	30.9%
セクシャルハラスメント	113	4.6%	219	6.9%
パワーハラスメント	1,704	69.5%	2,419	76.7%
マタニティハラスメント パタニティハラスメント	68	2.8%	158	5.0%
モラルハラスメント	845	34.5%	1,335	42.3%
ない	7,578	72.9%	6,682	65.5%
無回答	364	3.5%	372	3.6%
回答者数	10,394	-	10,208	-

- ・ 看護職員が、過去1年間に「患者やその家族から受けたハラスメント」が、「ある」と回答した者は、48.9%となり、令和2年の36.5%から悪化している。ハラスメントの種類としては、「言葉の暴力」が最も多く、次に「カスタマーハラスメント」が続いている。
- ・ 「職場の上司や同僚等から受けたハラスメント」が、「ある」と回答した者は、30.9%となり、令和2年の23.6%から悪化している。ハラスメントの内容としては、「パワーハラスメント」、「モラルハラスメント」の順となっている。
- ・ ハラスメントを受けた後の相談先について、「先輩や同僚」、「上司」、「家族や友達」との回答がある一方で、17.8%が「誰にも相談していない」と回答した。
- ・ 職場のハラスメントの取組について、看護職員は、「知らない(44.4%)」、「相談窓口又は相談窓口担当者が周知されている(39.6%)」の順で回答している。
- ・ 患者やその家族からのハラスメント、職場の上司や同僚等からのハラスメントは、ともに増加している。また、令和2年調査結果から、相談体制の整備が離職防止につながる事が示唆されていたが、職場における取組について約44%の職員が知らないと回答している。

(5) 生涯働き続けられるための環境

① 看護職員の現在の職場と10年後の勤務先【セカンドキャリア】(看護職員調査)

年齢階級	病院(400床以上)	病院(200~399床)	病院(200床未満)	有床診療所	無床診療所	訪問看護ステーション	介護老人保健施設	介護老人福祉施設	介護医療院	障がい児者施設等	看護業務以外の職場	働いていない	その他
25歳未満	-22.4%	-10.9%	-0.7%	0.8%	4.4%	4.5%	0.5%	0.6%	0.0%	0.1%	5.3%	5.5%	12.8%
25~29歳	-20.5%	-10.9%	-1.3%	0.4%	3.2%	4.1%	1.0%	0.6%	-0.3%	0.4%	7.1%	5.4%	11.4%
30~34歳	-16.2%	-8.3%	-5.0%	-0.4%	3.3%	3.0%	0.9%	1.3%	-0.3%	0.6%	5.1%	3.9%	12.6%
35~39歳	-11.7%	-6.4%	-5.5%	-0.4%	0.5%	1.8%	0.2%	0.8%	-0.2%	0.1%	5.7%	3.7%	11.1%
40~44歳	-8.8%	-7.1%	-4.6%	-1.2%	-0.1%	-0.3%	0.1%	0.4%	-0.2%	0.2%	5.1%	4.1%	12.0%
45~49歳	-8.0%	-7.9%	-4.2%	-1.0%	-0.9%	0.2%	0.0%	-0.3%	-0.1%	-0.1%	5.6%	5.1%	11.5%
50~54歳	-11.3%	-10.8%	-7.9%	-2.0%	-5.0%	-2.7%	0.1%	-0.1%	-0.3%	-0.1%	6.8%	20.2%	13.9%
55~59歳	-11.8%	-10.1%	-12.6%	-2.1%	-14.3%	-5.5%	-0.8%	-1.4%	-2.0%	-0.8%	8.7%	43.2%	9.8%
60~64歳	-6.6%	-11.9%	-10.1%	-4.5%	-17.7%	-8.1%	-4.5%	-3.8%	-1.2%	-2.2%	4.6%	61.0%	5.0%
65歳以上	-2.9%	-7.5%	-12.2%	-2.5%	-21.1%	-10.8%	-5.4%	-14.0%	-1.4%	-3.9%	0.7%	73.1%	8.6%

1位 2位 3位

- ・ 看護職員の 10 年後の勤務希望について、すべての年代において「働いていない」又は「看護業務以外の職場」の選択者が多い。
- ・ 39 歳以下では、「病院(400 床以上)」及び「病院(200～399 床)」から「訪問看護ステーション」や「無床診療所」、又は「介護老人保健・福祉施設」へ転職を考えている。
- ・ 50 歳以降では、「働いていない」の割合が高くなる。
- ・ 10 年後も看護職員として、ライフステージに応じた柔軟な働き方の選択ができるよう、施設における多様な勤務形態の導入をすすめるとともに、ナースセンターにおける訪問看護師養成講習会の受講など、看護職員としてのキャリア形成を促す必要がある。

② 看護職員が生涯働き続けるために必要なこと【プラチナナース】(看護職員調査)

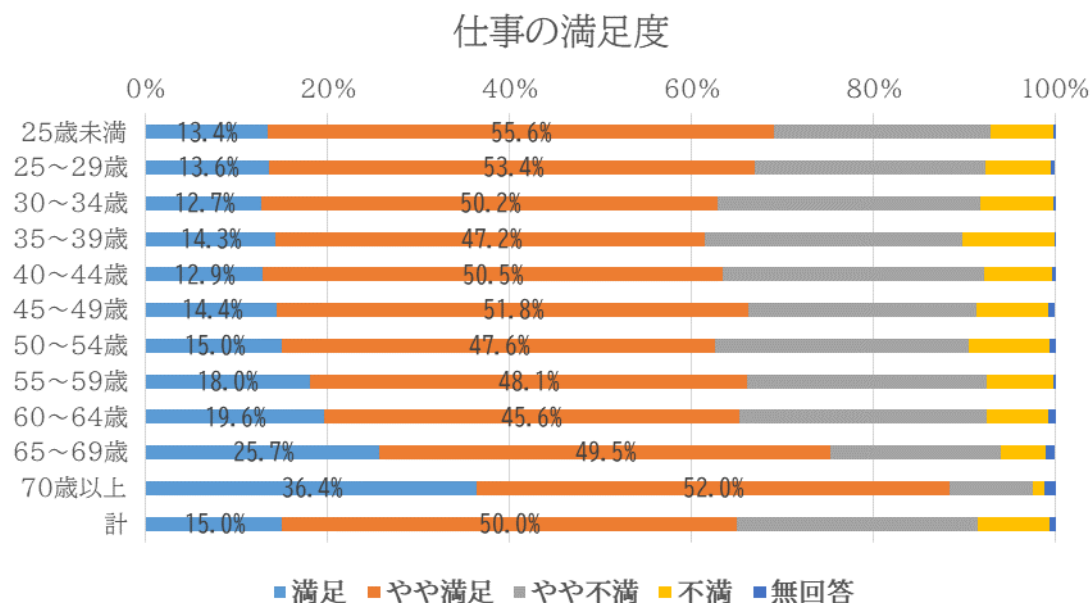
生涯働き続けるための要件

	対象数	仕事とプライベートの両立ができる	処遇に見合った賃金	自分のスキルに合った仕事内容	キャリアに応じた教育体制	自身の健康	多様な勤務形態の導入 (日勤のみ・夜勤専従・短時間勤務等)	定年延長・再任用の導入	子育て支援の充実	介護支援の充実	その他
25歳未満	842	82.2%	69.2%	22.7%	18.9%	50.6%	23.3%	4.6%	31.7%	10.3%	1.5%
25～29歳	1,204	87.7%	78.1%	26.4%	20.6%	56.8%	34.9%	7.4%	52.1%	19.2%	2.2%
30～34歳	960	91.3%	82.0%	27.4%	23.8%	64.0%	44.2%	13.6%	66.6%	26.6%	2.9%
35～39歳	1,005	89.2%	81.4%	30.5%	26.4%	63.0%	51.2%	15.8%	66.2%	33.6%	2.9%
40～44歳	1,382	88.6%	82.6%	34.3%	27.9%	69.4%	49.1%	23.9%	58.0%	38.4%	4.1%
45～49歳	1,518	83.6%	78.1%	34.3%	24.8%	69.7%	42.1%	28.7%	44.7%	38.6%	3.5%
50～54歳	1,349	81.5%	76.7%	35.4%	25.1%	75.5%	40.2%	35.4%	34.3%	41.7%	4.5%
55～59歳	1,016	79.8%	73.4%	38.1%	24.6%	77.7%	39.5%	45.0%	34.9%	46.0%	4.0%
60～64歳	603	70.1%	69.2%	40.0%	24.2%	79.8%	37.0%	49.4%	32.5%	38.6%	3.2%
65～69歳	202	61.4%	59.4%	35.1%	19.8%	75.2%	25.2%	39.1%	28.7%	21.3%	1.5%
70歳以上	77	57.1%	49.4%	36.4%	20.8%	76.6%	24.7%	42.9%	29.9%	24.7%	5.2%
計	10,208	83.6%	76.6%	32.2%	24.0%	67.4%	40.3%	24.8%	46.8%	32.9%	3.3%

1位 2位 3位

- ・ 生涯、働き続けるために必要なこととして、「仕事とプライベートの両立ができる(83.6%)」、「処遇に見合った賃金(76.6%)」、「自身の健康(67.4%)」が重視される。
- ・ 年齢別にみると、ほぼすべての世代が「仕事とプライベートの両立」を重視し、50 歳以上では、「自身の健康」の割合も高い。
- ・ 30 歳代では、「処遇に見合った賃金」、「子育て支援の充実」、「多様な勤務形態の導入」の割合も高い。

③ 現在の仕事の満足度(看護職員調査)



- ・ 現在の仕事の満足度について、「満足」、「やや満足」とした者は、65%となっている。年齢別にみると、「満足」と回答した者の割合は、年齢とともに増加している。

④ 定年制の導入、延長、再年以降の活用について(施設調査)

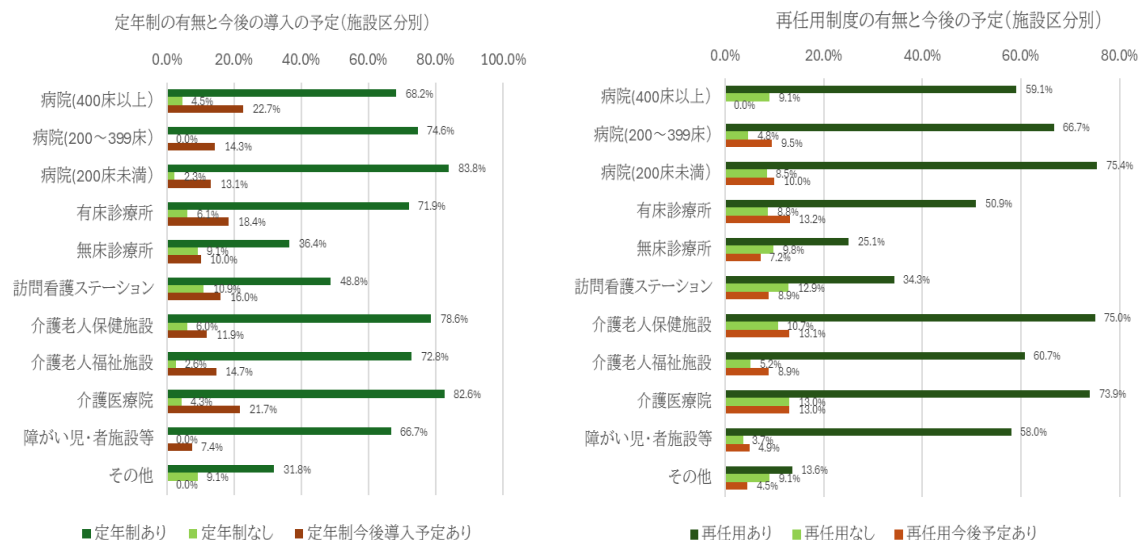
定年制の導入・延長や再任用制度について

		定年制	再任用
現状	あり (施設数)	1,195	884
	上限年齢 (平均)	61.7	66.8
	なし (施設数)	211	221
今後の予定	延長・導入あり (施設数)	281	194
	ある場合の 上限年齢 (平均)	66.4	70.1

定年以降の職員の活用

	回答数	積極的に活用したい	活用したい	考えていない
病院(400床以上)	22	27.3%	31.8%	22.7%
病院(200～399床)	63	19.0%	50.8%	28.6%
病院(200床未満)	130	26.9%	59.2%	13.8%
有床診療所	114	24.6%	42.1%	31.6%
無床診療所	996	16.8%	41.4%	39.7%
訪問看護ステーション	449	21.2%	48.3%	29.8%
介護老人保健施設	84	42.9%	41.7%	15.5%
介護老人福祉施設	191	35.6%	37.7%	22.5%
介護医療院	23	30.4%	52.2%	13.0%
障がい児・者施設等	81	30.9%	42.0%	23.5%
計	2,201	22.1%	43.3%	31.8%

- ・ 施設において、現状定年制があるとした施設は、1,195 施設であり、定年年齢は平均で 61.7 歳であった。今後、定年年齢の引き上げで平均 66.4 歳まで引きあがる。
- ・ 884施設にて再任用制度があり、再任用の上限年齢も、平均 66.8 歳から 70.1 歳まで引きあがる。
- ・ 定年以降の看護職員について、「積極的に活用したい(22.1%)」、「活用したい(43.3%)」と 65.4%(1,440 施設)が活用に前向きであった。



- ・ 定年制は、無床診療所と訪問看護ステーションであまり導入されておらず、その他の施設では7割近くで導入されている。
- ・ また、再任用制度についても、無床診療所と訪問看護ステーションであまり導入されていないが、その他の施設では5割を上回る施設で導入されるようになっている。

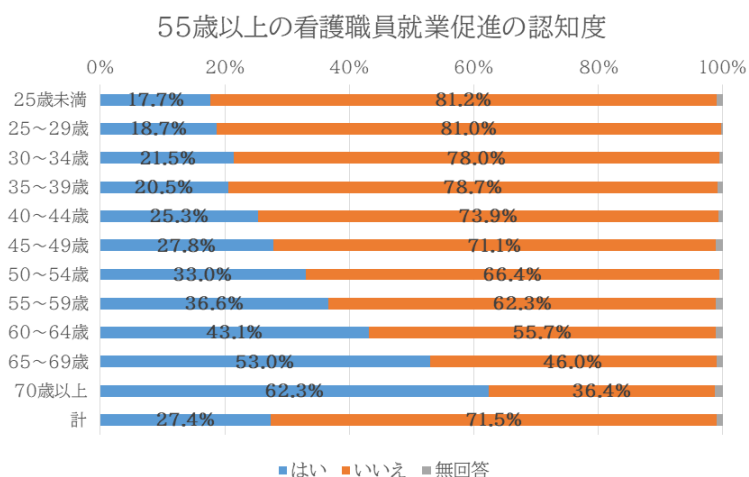
定年以降の看護職員に求める業務・役割

施設区分	回答数	院内の案内	患者相談・サポート、患者家族の相談・対応	入退院支援、地域連携の調整	新人の教育支援や中途採用者の相談支援	新任看護管理者の相談支援	地域住民向けの健康相談や健康教室の講師	職員が手薄となる時間帯(夕方等)のカバー、急な欠勤のバックアップ	産休・育休中の職員のバックアップ	介護老人保健施設等における感染管理	要介護認定に係る業務	その他
病院(400床以上)	13	53.8%	76.9%	84.6%	38.5%	23.1%	15.4%	23.1%	30.8%	0.0%	0.0%	15.4%
病院(200～399床)	44	15.9%	56.8%	36.4%	27.3%	15.9%	2.3%	52.3%	45.5%	0.0%	0.0%	18.2%
病院(200床未満)	112	17.9%	41.1%	35.7%	29.5%	17.0%	8.9%	55.4%	39.3%	1.8%	0.9%	32.1%
有床診療所	76	9.2%	36.8%	13.2%	30.3%	18.4%	1.3%	57.9%	36.8%	1.3%	1.3%	26.3%
無床診療所	579	14.0%	35.2%	4.5%	19.5%	8.8%	2.8%	56.1%	26.1%	1.2%	2.1%	21.8%
訪問看護ステーション	312	2.9%	35.3%	7.4%	31.7%	22.1%	12.2%	64.1%	28.8%	2.6%	3.2%	18.3%
介護老人保健施設	71	0.0%	29.6%	19.7%	31.0%	15.5%	7.0%	52.1%	29.6%	35.2%	8.5%	25.4%
介護老人福祉施設	140	5.7%	30.7%	17.9%	27.9%	7.9%	3.6%	50.7%	18.6%	18.6%	5.7%	31.4%
介護医療院	19	5.3%	42.1%	10.5%	21.1%	5.3%	0.0%	42.1%	21.1%	0.0%	0.0%	36.8%
障がい児・者施設等	59	0.0%	45.8%	20.3%	27.1%	15.3%	0.0%	45.8%	25.4%	13.6%	1.7%	23.7%
計	1,440	9.9%	36.5%	12.5%	25.5%	13.7%	5.5%	56.0%	28.2%	5.5%	2.8%	23.3%

1位 2位 3位

- ・ 定年以降の看護職員に求める業務・役割については、「職員が手薄となる時間帯(夕方等)のカバー、急な欠勤のバックアップ(56.0%)」、「患者相談・サポート、患者家族の相談・対応(36.5%)」、「産休・育休中の職員のバックアップ(28.2%)」、「新人の教育支援や中途採用者の相談支援(25.5%)」の順に回答割合が高かった。また、その他の意見として、定年退職前と同一業務との意見が多くみられた。
- ・ 施設別では、病院(400床以上)で「入退院支援、地域連携の調整(84.6%)」、「患者相談・サポート、患者家族の相談・対応(76.9%)」、「院内の案内(53.8%)」を求める業務・役割として挙げている。
- ・ その他の施設では、「職員が手薄となる時間帯のカバー」や「患者相談・サポート、患者家族の相談・対応」の割合が高くなっている。

⑤ 55歳以上の看護職員の就業の推進について(看護職員調査)



- ・ 令和5年に改正された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針(厚生労働省医政局長通知)」において、「生涯にわたる看護師等の就業推進」として55歳以上の看護師等の就業の必要性が示された。
- ・ しかし、「55歳以上の看護職員の就業推進」の認知度は27.4%と低く、ほとんど知られていない状況にある。

55歳以降も働く場合、何歳まで働くか

	回答数	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	わからない	働きたくない
25歳未満	842	19.1%	17.9%	5.0%	0.8%	28.5%	28.6%
25～29歳	1,204	19.7%	20.1%	5.3%	1.4%	27.9%	25.4%
30～34歳	960	16.4%	26.9%	8.5%	2.7%	24.5%	20.9%
35～39歳	1,005	12.7%	29.7%	14.5%	6.1%	24.3%	12.7%
40～44歳	1,382	11.1%	32.3%	16.9%	6.3%	24.2%	9.0%
45～49歳	1,518	11.9%	32.1%	21.1%	8.5%	20.9%	5.3%
50～54歳	1,349	13.8%	37.1%	19.9%	8.0%	16.5%	4.6%
55～59歳	1,016	9.6%	43.0%	24.0%	6.4%	14.3%	2.6%
60～64歳	603	0.2%	37.3%	37.5%	11.3%	12.9%	0.8%
65～69歳	202	0.0%	2.5%	50.0%	29.7%	15.8%	2.0%
70歳以上	77	0.0%	0.0%	7.8%	68.8%	23.4%	0.0%
計	10,208	12.8%	29.9%	17.0%	6.7%	21.7%	11.6%

1位 2位 3位

- ・ 55歳以降何歳まで働くかについて、「60～64歳」が29.9%と最も高い。
- ・ 年齢別では、25歳未満は、「働きたくない(28.6%)」、25～29歳は、「わからない(27.9%)」が最上位である。
- ・ 30～59歳では、「60～64歳」、60～69歳では、「65～69歳」、70歳以上では、「70歳以上」が最上位で定年以降を選択する割合が増える。
- ・ 今後、「生涯にわたる看護師等の就業推進」のため、看護職員の意識変容とともに、働きやすい環境を整える必要がある。

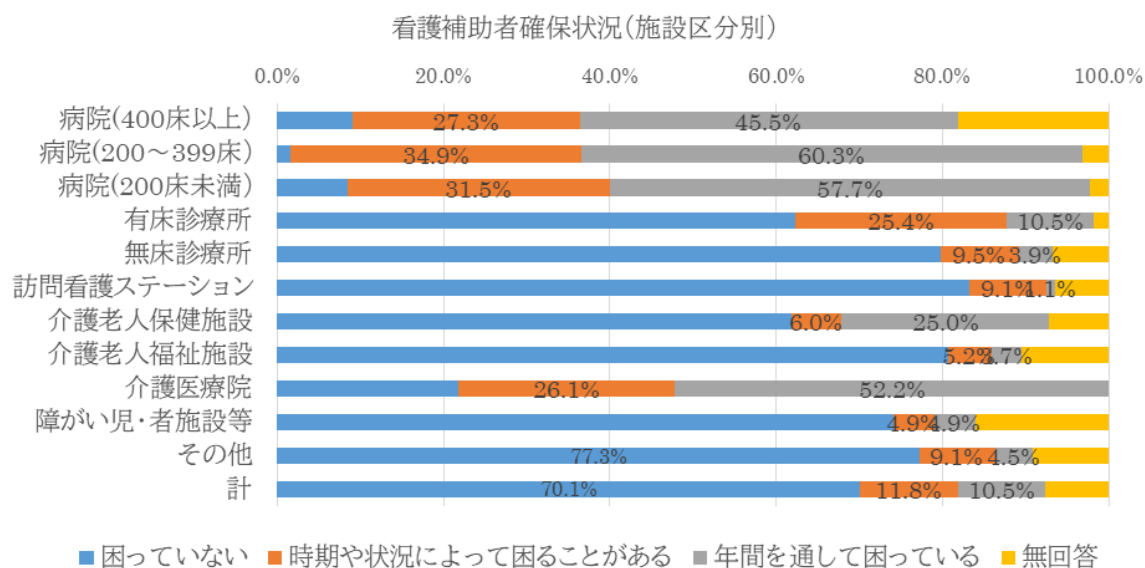
4 看護補助者の確保

看護補助者の雇用状況(施設調査)

	自施設雇用職員数						自施設以外雇用職員(委託・派遣数)						合計職員数					
	常勤数		非常勤数		小計		常勤数		非常勤数		小計		常勤数		非常勤数		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	
1 令和5年4月1日時点の在籍看護補助者数	4,255	65.6%	1,393	21.5%	5,648	87.0%	311	4.8%	532	8.2%	843	13.0%	4,566	70.3%	1,925	29.7%	6,491	
2 1のうち外国籍の在籍看護補助者数(在留外国人、EPA含む)	115	78.2%	27	18.4%	142	96.6%	4	2.7%	1	0.7%	5	3.4%	119	81.0%	28	19.0%	147	
3 令和5年4月1日～令和6年3月31日の新規採用者数	627	40.2%	425	27.3%	1,052	67.5%	138	8.9%	368	23.6%	506	32.5%	765	49.1%	793	50.9%	1,558	
4 3のうち、年度末までに退職した新規採用者	181	34.9%	134	25.8%	315	60.7%	58	11.2%	146	28.1%	204	39.3%	239	46.1%	280	53.9%	519	
5 令和5年4月1日から令和6年3月31日の看護補助者総退職者数	651	47.9%	317	23.3%	968	71.3%	121	8.9%	269	19.8%	390	28.7%	772	56.8%	586	43.2%	1,358	
6 令和6年4月1日の採用必要数	713	59.8%	186	15.6%	899	75.4%	120	10.1%	173	14.5%	293	24.6%	833	69.9%	359	30.1%	1,192	
7 5に対する令和6年4月1日付の実際の採用者総数	299	42.8%	141	20.2%	440	62.9%	87	12.4%	172	24.6%	259	37.1%	386	55.2%	313	44.8%	699	
離職率(=5÷1×100)		15.3%		22.8%		17.1%		38.9%		50.6%		46.3%		16.9%		30.4%		20.9%

- ・ 看護補助者を雇用していると回答した施設は、484 施設(21.3%)であった。
- ・ 令和5年4月1日の雇用形態別では、「自施設雇用(87.0%)」、「委託・派遣の雇用(13.0%)」である。また、常勤・非常勤別割合では、「常勤(70.3%)」、「非常勤(29.7%)」である。
- ・ 離職率は、全体で20.9%である。「自施設雇用」、「委託・派遣」で比較すると、「自施設(17.1%)」、「委託・派遣(46.3%)」と「委託・派遣」は2.7倍高い。「常勤・非常勤」で比較すると「常勤(16.9%)」、「非常勤(30.4%)」と非常勤が1.8倍高い。
- ・ 4月1日時点の採用必要数1,192人に占める採用者数は699人(58.6%)の採用となっている。また、新規採用者の離職率は33.3%である。

① 看護補助者の確保状況



- ・ 回答のあった 2,201 施設のうち、看護補助者の確保状況は、「困っていない(70.1%)」、「時期や状況によって困る(11.8%)」、「年間を通して困っている(10.5%)」である。
- ・ 施設別にみると、病院及び介護医療院では「困っている」(「時期や状況によって困る」、「年間を通して困っている」)が 7 割を超えている。
- ・ その他施設では、看護補助者をあまり雇用していないと考えられる。
- ・ 看護職員の確保や定着の課題で「看護補助者の確保困難」を上げていた医療圏は、「直方・鞍手(16.4%)」、「有明(16.1%)」、「久留米(15.5%)」である。

② 看護補助者の確保に向けた取組の状況(施設調査)

補助者の確保について

検討していない理由(複数)

項目	割合 (n=2,201)	項目	回答数	割合 (n=1,249)
1 既に取り組んでいる	12.8%	1 取り組む時間がない	45	3.6%
2 検討中	5.9%	2 取り組む人がいない	48	3.8%
3 検討していない	56.7%	3 取り組む費用がない	67	5.4%
4 わからない	16.6%	4 取組を必要としていない	1115	89.3%
無回答	8.0%	5 その他	41	3.3%
合計	100.0%	合計	1316	

- ・ 施設における看護補助者の確保に向けた取組は、「検討していない(56.7%)」が最も多く、「既に取り組んでいる(12.8%)」、「検討中(5.9%)」の順となっている。
- ・ 看護補助者の確保について「既に取り組んでいる」、「検討中」とした 410 施設では、「看護補助者の求人活動強化(55.6%)」が最も多く、「看護補助者を正規職員として雇用」、「看護補助者の人事評価(評価に応じた昇給・手当支給)」、「看護補助者対象の研修の実施」の順に取り組まれている。

③ 看護補助者が行っている業務及び指導が難しいと感じる業務(施設調査)

業務内容	実施している業務	指導が難しいと感じる業務
病床及び病床周辺の清掃・整頓	58.9%	3.1%
室環境(温度・湿度・遮光・換気など)の調整	54.5%	3.9%
シーツ交換・ベッドメイキング	59.3%	2.1%
リネン類の管理	57.2%	2.7%
診療・検査等の書類(伝票等)の準備、補充	28.5%	22.3%
診療に必要な機器・器具等の準備、片付け	39.7%	18.6%
診療材料の補充・整理	37.8%	16.9%
診療材料の運搬	33.3%	9.9%
入退院・転出入に関する業務	27.9%	16.1%
食事に関する業務	52.1%	9.3%
身体 of 清潔に関する業務	51.9%	12.2%
排泄に関する業務	49.2%	12.6%
安全安楽に関する業務	41.9%	17.1%
移動・移送に関する業務	55.8%	10.1%
夜勤業務	34.5%	15.5%
その他	4.1%	4.5%

実施している業務上位3位

指導が難しいと感じる業務上位3位

- ・ 看護補助者が行っている業務としては、「シーツ交換・ベッドメイキング」、「病床及び病床周辺の清掃・整頓」、「リネン類の管理」の順に多い。
- ・ 一方、指導が難しい業務としては、「診療・検査等の書類(伝票等)の準備、補充」、「診療に必要な機器・器具等の準備、片付け」、「安全安楽に関する業務」の順となっており、専門的な知識が必要な項目について難しいと考えている。

看護補助者が行っている業務

	回答数	病床及び 病床周辺 の清掃・ 整頓	病室環境 (温度・湿 度・遮光・ 換気など) の調整	シーツ交 換・ベッ ドメイキ ング	リネン類 の管理	診療・検 査等の書 類(伝票 等)の準 備、補充	診療に必 要な機器 器具等の 準備、片 付け	診療材料 の補充・ 整理	診療材料 の運搬	入退院・ 転出入に 関する業 務	食事に関 する業務	排泄に関 する業務	安全安楽 に関する 業務	移動・移 送に関する 業務	夜勤業務	その他
病院(400床以上)	15	100.0%	100.0%	93.3%	93.3%	80.0%	86.7%	86.7%	80.0%	80.0%	93.3%	80.0%	73.3%	66.7%	93.3%	60.0%
病院(200~399床)	50	96.0%	88.0%	98.0%	98.0%	38.0%	40.0%	56.0%	46.0%	58.0%	96.0%	92.0%	96.0%	72.0%	94.0%	70.0%
病院(200床未満)	110	93.6%	92.7%	98.2%	96.4%	37.3%	48.2%	50.0%	50.9%	53.6%	95.5%	97.3%	90.9%	78.2%	92.7%	72.7%
有床診療所	65	81.5%	70.8%	78.5%	67.7%	26.2%	44.6%	41.5%	38.5%	27.7%	55.4%	50.8%	41.5%	32.3%	50.8%	16.9%
無床診療所	120	25.8%	16.7%	20.8%	24.2%	33.3%	50.8%	40.8%	27.5%	1.7%	7.5%	2.5%	5.8%	6.7%	21.7%	2.5%
訪問看護ステーション	54	5.6%	1.9%	3.7%	1.9%	5.6%	9.3%	7.4%	3.7%	0.0%	11.1%	31.5%	22.2%	20.4%	25.9%	1.9%
介護老人保健施設	18	66.7%	83.3%	83.3%	77.8%	16.7%	22.2%	16.7%	22.2%	38.9%	66.7%	61.1%	61.1%	55.6%	66.7%	55.6%
介護老人福祉施設	19	15.8%	15.8%	15.8%	10.5%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%	15.8%	15.8%	15.8%	15.8%	21.1%	15.8%
介護医療院	18	77.8%	88.9%	94.4%	88.9%	5.6%	22.2%	11.1%	16.7%	33.3%	88.9%	88.9%	88.9%	83.3%	83.3%	77.8%
障がい児・者施設等	12	25.0%	16.7%	25.0%	16.7%	8.3%	16.7%	8.3%	16.7%	8.3%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	8.3%
計	484	58.9%	54.5%	59.3%	57.2%	28.5%	39.7%	37.8%	33.3%	27.9%	52.1%	51.9%	49.2%	41.9%	55.8%	34.5%

看護補助者への指導が難しい業務

	回答数	病床及び 病床周辺の 清掃・ 整頓	病室環境 (温度・湿 度・遮光・ 換気など) の調整	シーツ交 換・ベッド メーカー の管理	リネン類 の管理	診療・検 査等の書 類(伝票 等)の準 備、補充	診療に必 要な機器・ 器具等の 準備、片 付け	診療材料 の補充・ 整理	診療材料 の運搬	入院・ 転出入に 関する 業務	食事に関 する業務	排泄に関 する業務	安全安楽 に関する 業務	移動・移 送に関す る業務	夜勤業務	その他
病院(400床以上)	15	6.7%	13.3%	6.7%	6.7%	13.3%	13.3%	13.3%	0.0%	20.0%	40.0%	53.3%	53.3%	60.0%	20.0%	20.0%
病院(200～399床)	50	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	32.0%	34.0%	28.0%	14.0%	20.0%	14.0%	14.0%	12.0%	30.0%	14.0%	20.0%
病院(200床未満)	110	5.5%	7.3%	2.7%	5.5%	29.1%	23.6%	20.9%	10.9%	25.5%	18.2%	17.3%	19.1%	30.0%	15.5%	16.4%
有床診療所	65	0.0%	1.5%	1.5%	3.1%	35.4%	23.1%	27.7%	16.9%	26.2%	3.1%	9.2%	13.8%	13.8%	10.8%	36.9%
無床診療所	120	3.3%	2.5%	1.7%	1.7%	13.3%	10.8%	7.5%	4.2%	7.5%	3.3%	5.0%	5.0%	5.8%	5.0%	5.8%
訪問看護ステーション	54	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	3.7%	1.9%	0.0%	3.7%	0.0%	7.4%	3.7%	1.9%	3.7%	3.7%
介護老人保健施設	18	11.1%	11.1%	11.1%	5.6%	38.9%	38.9%	38.9%	22.2%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	27.8%	11.1%	27.8%
介護老人福祉施設	19	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%
介護医療院	18	11.1%	16.7%	5.6%	5.6%	38.9%	38.9%	38.9%	44.4%	27.8%	16.7%	22.2%	27.8%	22.2%	22.2%	22.2%
障がい児・者施設等	12	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
計	484	3.1%	3.9%	2.1%	2.7%	22.3%	18.6%	16.9%	9.9%	16.1%	9.3%	12.2%	12.6%	17.1%	10.1%	15.5%
1位 2位 3位																

- ・ 看護補助者が行っている業務と指導が難しいと考える業務を施設別にみると、「診療・検査等の書類の準備、補充」、「診療に必要な機器・器具等の準備、片付け」については、どの施設においても指導が難しいと感じている。
- ・ 病院では、「移動・移送に関する業務」を約 7 割の施設で実施させているが、指導が難しいと感じていることが分かる。
- ・ 病院(200床未満)及び有床診療所では、「入院・転出入に関する業務」の指導が難しいとしている。
- ・ 看護業務のタスク・シフト/シェアは、施設の規模や対応する患者の状態によっても難しさは異なることが考えられ、看護業務のタスク・シフト/シェアについて、それぞれの施設において検討を重ねる必要がある。看護補助者の業務について、『身体的な介助を含む業務』と『書類や手続き等の事務的業務』を分けて担当させたり、他のコメディカルスタッフと業務分担したりするなど、看護職員が看護業務に専念できる環境を整える必要がある。

④ 看護補助者の処遇改善事業補助金の活用状況について

- ・ 看護補助者の処遇改善事業補助金は、令和 6 年 2 月から 5 月に看護補助者の賃上げ引き上げを行った病院及び有床診療所を対象に、経費の補助を行ったものである。
- ・ 今回の調査において、210 施設がこの補助金を活用したと回答し、そのうちの191施設が、賃上げを継続していると回答している。

IV まとめ及び考察

まとめ及び考察

学齢期・養成期

- ・ 本県の就業看護職員数は、83,040 人(令和 4 年衛生行政報告例)となっている。今後、高齢化の進行に伴う看護需要の増大が見込まれる。一方、本県においても、少子高齢化の進行、生産年齢人口が減少し、看護職員の確保が難しくなることが予想される。
- ・ 少子化・高学歴化の影響から、看護師学校養成所において、閉課、閉校となる学校も出てきているなか、将来看護職員を志望する学生を確保する必要がある。
- ・ 看護職員を目指す学生を増やすため、実際看護に触れる機会を小学生などの早い段階からアプローチする取組などが考えられる。また、県内養成学校卒業生の県内就業率を向上させる取組が必要である。

新人・新任期

- ・ 新人看護職員は、職場選択にあたり「教育体制の充実」をより重視しており、「自身の知識・技術の不足」の不安を抱えている。
- ・ 新人看護職員研修受講者は、90%を超えるが、新任期(2～3 年目)看護研修受講者は45%と半減しており、施設側からは、「自施設での教育体制整備」が困難との意見もあり、指導者の人的余裕が少ない中小規模施設に対する、人材育成支援(実習指導者研修会や新人・新任期向け研修の受講体制の確保等)が必要である。
- ・ また、新任期職員の離職の減少や、定着を図るため、施設自らのフォローアップ体制を整えとともに、施設内外を問わず、同じ悩みや不安を抱える職員が集い語れる場等を整える必要がある。

中堅期

- ・ 令和 4 年の年齢別就業看護職員数(衛生行政報告例)では、30～34 歳の年代の職員が「結婚・妊娠・出産」を機に離職する、いわゆる M 字カーブを描き、就業継続が難しい労働環境にあることがわかる。
- ・ この年代の転職理由として、「結婚・妊娠・出産」が他の年代よりも高く、転職経験も、「25～29 歳」が35.3%に留まるのに対して、「45～49 歳」では74%まで上昇する。
- ・ 生涯働き続けるために必要な要件として、「子育て支援の充実」や「多様な勤務形態の導入」との回答が多く、一方で施設側においても、職員の離職防止や定着を図るため、「勤務希望のシフト調整」や「短時間勤務制度」など柔軟な働き方の導入や保育に関する支援等を実施する施設がみられる。
- ・ 今後、子育て世代の早期の復職支援のため、子育て期における勤務希望を把握し、求人施設が実施する子育て支援の情報提供を行うとともに、求人施設に対しても、子育て期におけるより柔軟な勤務形態を求めている必要がある。
- ・ また、夜勤等を担う職員の負担軽減のため、看護補助者へのタスク・シフト/シェアや他職種との協働のための業務整理を実施し、業務の効率化を図るなど、他の世代への配慮や働き方改革を進める必要がある。

- ・ 経験年数も豊富になる看護職員のキャリアアップを図り、今後、在宅医療の推進に必要となる「特定行為研修修了者」を増やすため、施設における受講機会や研修修了生への手当の確保、在宅の場における特定行為研修修了生の活用の推進、地域における手順書の標準化等行う必要がある。

ベテラン・管理期

- ・ 令和 4 年の年齢別就業看護職員数(衛生行政報告例)では、50 歳代以降の看護職員が大きく減少しており、生涯働き続けられる働き方や労働条件・社会保障等の研修を行い、プラチナナースの確保が必要である。
- ・ この年代の生涯働くための要件は、「自身の健康」や「仕事とプライベートの両立」が上位となっており、求人施設に対し、フルタイム勤務のみでなく、短日・短時間勤務など多様な勤務形態の情報提供や雇用条件の提案をナースセンター等が行い、求人施設と求職者のマッチングを円滑にする働きかけが必要である。
- ・ また、看護職としてのキャリアを考えるため、医療機関以外での看護職員の働き方や魅力の発信、医療機関等における定年以降の看護職員の活用について検討を行い、看護職員を潜在化させない取組が必要である。
- ・ 看護マネジメントとは、「看護の対象者のニーズと看護職の知識・技術が合致するよう計画し、財政的・物質的・人的資源を組織化し、目標に向けて看護職を導き、目標の達成度を評価すること」とされ、患者に対して必要とされるケアを円滑に提供する上で欠かせないとされている。

管理監督業務にあたる者は、職員個人への関りだけでなく、組織体制の視点からも考え対応する能力が求められる。組織としての看護職員定着を図るためには、世代の異なる管理職同士での意見交換等管理職間の情報共有や連携体制について、今後検討する必要があるのではないかと。

- ・ 他の世代に比較すると、50 歳以降では、「医療の IT 化への対応」への不安が高く、今後、勤務環境改善を進めるにあたり必要な要素と考えられる。

ナースセンターの活用促進について

- ・ 求人・求職時のナースセンターの利用割合は、施設及び看護職員ともに低い状況である。また、施設別にみても、「病院(400床以上)」、「病院(200 床未満)」、「介護医療院」で高いものの、その他の施設ではあまり活用されていない状況にある。
- ・ 看護職員は、職場選択の際に 29 歳未満では、「大学・養成所等での進路指導」、40 歳以上では、「友人・知人からの紹介」の割合が高く、大学や養成所へのアプローチや施設からの情報を有効に活用し、ナースセンター利用者を増やす必要がある。
- ・ 看護職員のライフステージに応じた復職支援を行うためには、求人施設と求職者をマッチングしやすくするため、求人施設、求職者へのアプローチが必要である。
- ・ 退職をする看護師は、ナースセンターへの届出が努力義務とされており、看護職員を雇用する施設及び看護職員への周知を行い、復職にあたりナースセンターを活用に繋げる必要がある。そのため、制度の周知及びナースセンターの役割について、福岡県看護職員確保対策協議会を構成する各所属団体の協力も必要である。

- ・ 看護職員の業務のタスク・シフト/シェアのためには、看護補助者の活用が必要であると考えますが、看護補助者の確保も難しい現状となっている。ナースセンターにおいて、看護補助者確保に係る支援を行うにあたり、研修会の開催や医療機関等での体験実習等、看護補助者の周知や雇用につなげるための支援を行う必要がある。

福岡県看護職員確保対策協議会

- ・ 福岡県では、県内の看護職員の現状を踏まえ、看護職員の確保及び質の向上等を図るための具体的施策を協議するため、学識経験者、看護教育機関、関係団体等で構成される「福岡県看護職員確保対策協議会(以下、「協議会」という)」を設置している。
- ・ 今回の実態調査の実施に当たっては、協議会において調査対象、調査期間、調査方法、さらに調査内容について協議いただき、調査実施について、広く周知していただくとともに、調査への協力についても勧奨していただいた。
- ・ 協議会において、調査結果で、総退職者に占める1年以内の離職者(新卒、既卒を含む)の割合が高い点に注目し、

「新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な看護実習を受けることができなかった職員が離職してしまっているのではないか」

「准看護師の離職者が多いが、看護師免許取得のための離職が含まれるのではないか」

「転職する際、本人のイメージする仕事と実際の質と量にギャップがあり、離職につながっているのではないか」

「新人職員に寄り添い、施設として育てる姿勢を示すことで離職率が減少している」

「ナースセンターでの無料職業紹介事業の活用を促進する必要がある」

等の意見がなされた。

- ・ また、今後、人口減少と高齢化が同時に進行する中で、看護需要は高まるものの、看護職員を確保することがより困難になる事態が想定される。
- ・ このような中で、看護職員はライフステージごとで、様々な不安や悩み等を抱え、離職し潜在化してしまうケースが見受けられ、看護職員の確保対策を進める上では、それぞれのライフステージに応じた対応が求められるとの意見がなされた。

V データ集

1 施設調査(単純集計)

回収数:2,201件

調査対象数:6,451施設

回収施設数:2,201施設

回収率:34.1%

施設回答状況	対象施設数	回答数	回収率
病院	451	215	47.7%
診療所	4,205	1,110	26.4%
訪問看護ステーション	984	449	45.6%
介護老人保健施設	173	84	48.6%
介護老人福祉施設	439	191	43.5%
介護医療院	55	23	41.8%
障がい児・者施設等	144	81	56.3%
その他	0	22	
無回答	0	26	
計	6,451	2,201	34.1%

I 施設の基本情報について

問1 貴施設の状況についてお伺いします。

(1) 貴施設の法人名及び名称をご記入ください。

(2) 施設区分

(3) 施設所在地(医療圏)

施設区分	施設数	割合	施設数小計	割合
病院				
病院(400床以上)	22	1.0%		
病院(200～399床)	63	2.8%		
病院(200床未満)	130	5.9%	215	9.8%
診療所				
有床診療所	114	5.5%		
無床診療所	996	45.3%	1,110	50.4%
訪問看護ステーション	449	20.3%	449	20.4%
介護老人施設等				
介護老人保健施設	84	3.8%		
介護老人福祉施設	191	8.6%		
介護医療院	23	1.0%	298	13.5%
障がい児・者施設等	81	3.7%	81	3.7%
その他	22	1.0%	22	1.0%
無回答	26	1.2%	26	1.2%
計	2,201	100.0%	2,201	100.0%

医療圏	回答数	割合
福岡・糸島	695	31.4%
粕屋	107	4.8%
宗像	64	2.9%
筑紫	117	5.6%
朝倉	50	2.3%
久留米	193	8.7%
八女・筑後	135	6.1%
有明	56	2.5%
飯塚	88	4.0%
直方・鞍手	67	3.0%
田川	76	3.4%
北九州	453	20.8%
京築	77	3.5%
無回答	23	1.0%
計	2,201	100.0%

II 看護職員の状況について

問2 看護職員の状況

(1) 看護職員数(実人員)【※委託・派遣を除く】について各職種ごとの人数を入力してください。

該当がない場合は、「0(ゼロ)」と入力してください。

回答施設数：1,352

	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
1 令和5年4月1日時点の在籍看護職員数 (令和5年5月1日の免許取得予定者を含む)	182	853	30,874	4,097	36,006
2 令和5年10月1日時点の在籍看護職員数	186	850	30,730	4,048	35,814
3 令和6年3月31日時点の在籍看護職員数 (3月31日付の退職者数を含む)	190	838	30,131	3,949	35,108
4 3.のうち、外国籍の看護職員数 (在留外国人・EPA含む)	1	0	117	44	162
5 令和5年度新卒採用者数 (「新卒」とは免許取得後初めて就労した職員とする)	2	58	1,508	68	1,636
6 5.のうち令和5年度中の新卒退職者数	0	0	127	22	149
7 令和5年度の既卒採用者数 (「新卒」以外の看護職)	31	59	2,127	356	2,573
8 7.のうち令和5年度中の既卒退職者数	4	17	567	147	735
9 令和5年度の総退職者数 (新卒・既卒・定年退職者全てを含む)	29	113	3,943	557	4,642
10 令和5年度の定年退職者数	2	3	252	91	348
11 10.のうち定年後の再雇用者数	2	1	182	68	253
総離職率 $(=9 \div (1+3) \div 2 \times 100)$	15.6%	13.4%	12.9%	13.8%	13.1%
新卒離職率 $(=6 \div 5 \times 100)$	0.0%	0.0%	8.4%	32.4%	9.1%
既卒離職率 $(=8 \div 7 \times 100)$	12.9%	28.8%	26.7%	41.3%	28.6%
総退職者のうち、令和5年度採用者の占める割合 ($(6+8) \div 9 \times 100$)	13.8%	15.0%	17.6%	30.3%	19.0%

(2) 令和6年度の看護職員充足状況

① 令和6年4月1日時点の採用必要数 (回答施設数:1,377)

※定期の採用の他、退職・休職等による人員補充や増床等拡大を含む、採用を必要とした看護職員の人数

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
人数	13	97	3,112	314	3,536

② 令和6年4月1日付採用者総数(委託・派遣除く) (回答施設数:1,377)

※新卒・既卒にかかわらず、系列病院からの異動を含む、実際に令和6年4月1日付で採用した看護職員の人数

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
人数	10	77	2,261	133	2,481

③ 令和6年4月1日付採用者総数(委託・派遣のみ、実人数) (回答施設数:1,378)

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師	計
人数	5	20	522	147	694

職種		保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
(A) ①令和6年4月1日時点の採用必要数		13	97	3,112	314	3,536
(B) ②+③ 採用数		15	97	2,783	280	3,175
内訳	委託・派遣除く採用者数	10	77	2,261	133	2,481
	委託・派遣採用数	5	20	522	147	694
(B) - (A) 不足人数		2	0	-329	-34	-361
充足率		115.4%	100.0%	89.4%	89.2%	89.8%
充足率（委託派遣を除く）		76.9%	79.4%	72.6%	42.4%	70.2%

(3) 過去1年間の貴施設における
看護職員の確保状況について、
当てはまるものを選択してください。

(4) (3)で「時期や状況によって困ることがある」
と回答した施設にお伺いします。
困る時期について、下記のうち
当てはまるものを選択してください。

項目	回答数	割合
困っていない	906	41.2%
時期や状況によって困ることがある	826	37.6%
年間を通して困っている	434	19.6%
無回答	35	1.6%
計	2,201	100.0%

項目	回答数	割合(n=820)
4～5月(年度初め)	44	5.4%
10月頃(半年経過)	83	10.1%
2～3月(年度終わり)	97	11.8%
その他	596	72.7%
計	820	100.0%

(5) (3)で「時期や状況によって困ることがある」、「年間を通して困っている」と回答した施設にお伺いします。困る理由について、下記のうち当てはまるものを選択してください。

項目	回答数	割合
募集しても集まらない	835	69.8%
新人看護職員が多く、業務負担が増加	24	2.0%
産前産後休暇・育児休業等の職員が多い	72	6.0%
退職予定職員の休暇取得が多い	50	4.2%
その他	216	18.0%
計	1,197	100.0%

(6) (3)で「時期や状況によって困ることがある」、「年間を通して困っている」と回答した施設にお伺いします。困った時にどのような工夫をして対応しましたか。(当てはまるもの全てを選択)

項目	回答数	割合
業務・サービス内容を見直した	491	39.0%
他職員が不足する病棟を応援する等、 病院(系列の施設)全体で取組んだ	256	20.3%
ITやDXの活用により、業務の効率化を図った	121	9.6%
派遣職員を雇用した	179	14.2%
臨時・パート職員を雇用した	313	24.8%
病床又は病棟を減らした(休床)	19	1.5%
その他	330	26.2%

問3 貴施設における看護職員の勤務形態についてお伺いします。(当てはまるもの全てを選択)

(回答施設数:2,168)

項目	回答数	割合
2交代制	441	20.3%
3交代制	56	2.6%
宿直制	61	2.8%
日勤	1,302	60.1%
日勤+オンコール	625	28.8%
その他	87	4.0%

問4 昇給制度について

- (1) 貴施設に昇給制度はあるかについて、 (2) 資格取得や能力に応じた手当を、
お伺いします。 採用しているかお伺いします。

項目	回答数	割合
ある	1,959	89.1%
ない	202	9.1%
無回答	40	1.8%
計	2,201	100.0%

項目	回答数	割合
ある	923	42.3%
ない	1,243	56.1%
無回答	35	1.6%
計	2,201	100.0%

- (3) (2)で「ある」と回答した施設にお伺いします。どのような手当を採用していますか。
(当てはまるもの全てを選択)

項目	回答数	割合
認定看護師手当	188	20.4%
専門看護師手当	127	13.8%
特定行為に係る手当	155	16.8%
診療看護師手当	69	7.5%
分娩手当(助産師)	23	2.5%
その他	543	58.8%

問5 令和5年1月～令和5年12月の看護職員の年次有給休暇平均取得日数について、
お伺いします。

項目	回答数	割合
1～5日未満	193	8.8%
5～10日未満	747	33.9%
10～15日未満	669	30.4%
15～20日未満	354	16.1%
20日以上	130	5.9%
無回答	108	4.9%
計	2,201	100.0%

問6 貴施設の教育研修体制についてお伺いします。

(1) 貴施設では、新人看護職員の採用はありますか。

(※新人看護職員は、卒後初めて就職する看護職員をいう)

項目	回答数	割合
ある	400	18.5%
ない	1,591	73.4%
今後予定している	177	8.1%
計	2,168	100.0%

(2) 貴施設で新人看護職員を採用する場合、必要な取組は何と考えますか。

(当てはまるもの全てを選択)

項目	回答数	割合
養成所等における基礎教育・技術指導の充実	874	39.7%
自施設の教育体制整備 (指導者の確保・育成、教育プログラム・マニュアル整備、メンタル支援等)	1,362	61.9%
新人看護職員のフォロー(相談や技術指導等)のための養成所等との連携体制	1,094	49.7%
福利厚生・労働環境の整備	824	37.4%
その他	79	3.6%

(3) 貴施設において、看護職員が受講できる研修で当てはまるもの全てを選択してください。

項目	回答数	割合
新人看護職員研修(自施設・他施設が行う集合研修)	768	34.9%
新任期(2～3年目)看護職員フォローアップ研修 (自施設・他施設が行う集合研修)	528	24.0%
新人看護職員の指導者向け研修 (看護協会が実施する研修責任者・教育担当者・実地指導者研修)	406	18.4%
習熟段階に応じた研修(キャリアラダー別研修)	391	17.8%
専門別研修	447	20.3%
管理者向け研修	403	18.3%
特になし	987	44.8%

問7 看護職員が保有する資格等について、お伺いします。

(1) 貴施設における次の資格保有者数を入力してください。

該当者がいない場合は、「0(ゼロ)」と入力してください。

※ 特定行為研修は、厚労省が認定する施設での研修修了者

認定看護師、専門看護師は日本看護協会の認定資格

診療看護師は、日本診療看護師教育大学院協議会の認定資格

人数	配属施設数			
	特定行為 研修	認定 看護師	専門 看護師	診療 看護師
0	1,931	1,894	1,993	2,026
1	58	78	34	14
2	38	25	15	5
3	10	19	7	3
4	7	10	5	8
5	5	7	4	0
6	6	9	0	1
7	2	2	0	2
8	0	3	2	0
9	1	2	2	2
10	3	1	0	1
11	2	0	0	0
12	2	3	0	0
13	1	2	1	0
14	2	0	0	0
15	0	1	0	0

人数	配属施設数			
	特定行為 研修	認定 看護師	専門 看護師	診療 看護師
16	0	0	0	0
17	0	1	0	0
18	0	1	1	0
19	1	1	0	0
20	0	2	0	0
21	0	0	0	0
22	0	1	0	0
23	0	0	0	0
24	0	1	0	0
25	1	1	0	0
26	0	1	0	0
27	0	1	0	0
28	0	0	0	0
29	0	0	0	0
30	0	2	0	0
資格 保有人数	437	735	190	113

(2) (1)で「特定行為研修修了者」が0(ゼロ)人と回答した施設にお伺いします。

受講しない理由を教えてください。(当てはまるもの全てを選択)

対象数:1,931 件 回答率:97.9%(1,890/1,931)

項目	回答数	割合
特定行為研修についての情報収集の段階である	155	8.2%
医師や関係職種の理解が得られない	30	1.6%
特定行為の活用方法がわからない	147	7.8%
人員不足で研修受講期間中の人員補充が困難である	488	25.8%
受講希望者がいない	837	44.3%
施設として配置を考えていない	983	52.0%
経費が高額である	283	15.0%
その他	136	7.2%

Ⅲ 勤務環境について

問8 貴施設における「子育てと仕事の両立支援」、「介護と仕事の両立支援」の実施状況についてお伺いします。(当てはまるもの全てを選択)

項目	回答数	割合
勤務希望のシフト調整を行っている	1,682	76.4%
法定に上乗せした育児休業制度がある	245	11.1%
院内保育所がある	195	8.9%
保育所に支払う保育費の補助を行っている	75	3.4%
学童保育がある	12	0.5%
短時間勤務制度がある	986	44.8%
介護休業制度がある	881	40.0%
法定5日を超える介護休暇制度がある	231	10.5%
フレックスタイム制または時差出勤を導入している	329	14.9%
介護に関する費用の助成を行っている	21	1.0%
その他	103	4.7%
上記に示すいずれの制度もない	231	10.5%

Ⅳ 看護職員の確保について

問9 貴施設における看護職員の求人方法について、当てはまるもの全てを選択ください。

項目	回答数	割合
ハローワークへの求人	1,919	87.2%
ナースセンターへの求人(e-ナースセンター)	507	23.0%
民間の有料職業紹介会社への求人	928	42.2%
法人、施設等のホームページへの掲載	853	38.8%
就職懇談会・説明会への参加	195	8.9%
広報(チラシ、新聞・雑誌・市町村広報誌への掲載等)	314	14.3%
大学、養成所等への募集案内、巡回	175	8.0%
その他	247	11.2%

問10 看護職員の確保や定着について課題と感ずることについて、当てはまるもの全てを選択してください。

項目	回答数	割合
夜勤ができる人材の確保に苦慮している	354	16.1%
人材確保のため民間の有料職業紹介会社を利用しているが、経済的負担が大きい	774	35.2%
離職が多い(新卒者・中途採用者も長期雇用にならない人が増加)	437	19.9%
経営面の問題で、労働条件や労働環境改善することが難しい	468	21.3%
管理者の指導・管理能力等が不足している	293	13.3%
施設の教育体制が脆弱である(指導する職員の知識・技術不足、教育・研修時間の確保が難しい等)	353	16.0%
看護職員の意欲・姿勢、コミュニケーション能力等が十分でない	354	16.1%
健康問題(精神的不調・身体的不調)を抱える職員の増加	379	17.2%
看護技術(キャリアに応じた知識・技術)が十分でない	252	11.4%
看護補助者の確保が難しい	257	11.7%
現在の診療報酬では賃金が上げられない	786	35.7%
その他	97	4.4%
課題はない	327	14.9%

問 11 看護職員の離職理由として貴施設が考える多いものを3つまで選択してください。

項目	回答数	割合
職員間の人間関係	946	43.0%
結婚	246	11.2%
妊娠・出産・子育て	433	19.7%
転居	464	21.1%
自分の適性・能力への不安	421	19.1%
自分の健康(身体的・精神的理由)	579	26.3%
スキルアップの機会が少ない	118	5.4%
勤務時間が長い・超過勤務が多い・多忙	186	8.5%
夜勤の負担・不安が大きい	93	4.2%
リフレッシュのため	35	1.6%
他職場への関心、再就職	675	30.7%
親族の健康問題・介護	385	17.5%
その他	164	7.5%

問 12 令和 5 年に改正された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針(厚生労働省医政局長等通知)」では、55 歳以上の看護職員の就業の推進が必要とされています。そこで、貴施設における 55 歳以上の看護職員の活用状況について、お伺いします。

- (1) 令和 6 年 3 月 31 日時点の、貴施設における 55 歳以上の看護職員について、年齢及び正規・非正規職員別の看護職員数を入力してください。

回答施設数：1,366

		正規職員	非正規職員	正規＋非正規
年 齢 区 分	55～59歳	2,368	440	2,808
	60～64歳	1,026	723	1,749
	65～69歳	307	439	746
	70歳以上	129	205	334
計		3,830	1,807	5,637

- (2) 定年制の導入・延長や再任用の有無について、お伺いします。

(当てはまるものを選択及び上限年齢を入力してください)

	現状				今後の予定		
	あり	上限年齢 (平均)	上限年齢 回答 施設数	なし	延長 ・導入あり	ある場合の 上限年齢 (平均)	上限年齢 回答 施設数
定年制	1,195	61.7	1,195	211	281	66.4	254
再任用	884	66.8	771	221	194	70.1	162

- (3) 貴施設では、定年以降の看護職員の活用(拡充)を考えていますか。

項目	回答数	割合
積極的に活用したい	486	22.1%
活用したい	954	43.3%
考えていない	699	31.8%
無回答	62	2.8%
計	2,201	100.0%

(4) (3)で「積極的に活用したい」「活用したい」と回答した施設にお伺いします。

定年以降の看護職員に求める業務・役割について、当てはまるものを全てを選択してください。

(n=1,440)

項目	回答数	割合
院内の案内	142	9.9%
患者相談・サポート、患者家族の相談・対応	519	36.0%
入退院支援、地域連携の調整	178	12.4%
新人の教育支援や中途採用者の相談支援	363	25.2%
新任看護管理者の相談支援	196	13.6%
地域住民向けの健康相談や健康教室の講師	78	5.4%
職員が手薄となる時間帯(夕方等)のカバー、急な欠勤のバックアップ	798	55.4%
産休・育休中の職員のバックアップ	403	28.0%
介護老人保健施設等における感染管理	76	5.3%
要介護認定に係る業務	40	2.8%
その他	332	23.1%

V 看護補助者の確保について

問13 貴施設における看護補助者の勤務状況についてお伺いします。

(1) 貴施設における看護補助者(正規雇用・非正規雇用)の採用・退職の状況について、
入力してください。

※退職者には、非常勤の補助者の雇用契約終了又は派遣職員の補助者の派遣終了に伴う退職者を含む。

※該当がない場合(新規採用者がいなかった場合等)は、「0(ゼロ)」と入力してください。

調査回答施設数:1,352 ※

採用者・退職者の状況	自施設雇用職員数		自施設以外雇用職員 (委託・派遣)数		合計職員数		
	常勤数	非常勤数	常勤数	非常勤数	常勤数	非常勤数	計
① 令和5年4月1日時点の在籍看護補助者数	4,255	1,393	311	532	4,566	1,925	6,491
② 1のうち、外国籍の看護補助者数 (在留外国人、EPA含む)	115	27	4	1	119	28	147
③ 令和5年4月1日～令和6年3月31日の新規採用者数	627	425	138	368	765	793	1,558
④ 3のうち、年度末までに退職した新規採用者数	181	134	58	146	239	280	519
⑤ 令和5年4月1日～令和6年3月31日の 看護補助者総退職者数 ※定年退職者、新規採用者の退職者を含む全退職者数	651	317	121	269	772	586	1,358
⑥ 令和6年4月1日時点の採用必要数	713	186	120	173	833	359	1,192
⑦ 5に対する令和6年4月1日付の実際の採用者総数	299	141	87	172	386	313	699
離職率(=⑤÷①×100)	15.3%	22.8%	38.9%	50.6%	16.9%	30.4%	20.9%

⑧ 年代別人数 (令和5年4月1日 時点)	29歳以下	557	146	16	39	573	185	758
	30～39歳以下	706	147	39	40	745	187	932
	40～49歳以下	1,076	253	71	94	1,147	347	1,494
	50～59歳以下	1,136	322	98	168	1,234	490	1,724
	60～69歳以下	573	376	54	166	627	542	1,169
	70歳以上	74	122	5	29	79	151	230

※問13(1)1で看護補助者数を回答した施設の数

(2) 過去1年間の貴施設における看護補助者の確保状況について、当てはまるものを選択してください。

項目	回答数	割合
困っていない	1,546	70.1%
時期や状況によって困ることがある	261	11.8%
年間を通して困っている	226	10.5%
無回答	168	7.6%
計	2,201	100.0%

(3) 貴施設における看護補助者の確保に向けた取組状況について、お伺いします。

① 現在の取組状況について、下記のうち当てはまるものを選択してください。

項目	回答数	割合
既に取り組んでいる	281	12.8%
検討中	129	5.9%
検討していない	1,249	56.7%
わからない	365	16.6%
無回答	177	8.0%
計	2,201	100.0%

② ①で「既に取り組んでいる」、「検討中」と回答した施設にお伺いします。

どのような取組(検討)をしていますか。(当てはまるもの全てを選択)

項目	回答数	割合 (n=410)
看護補助者対象の研修の実施(外部研修活用含む)	131	32.0%
看護補助者を正規職員として雇用	218	53.2%
看護補助者の人事評価(評価に応じた昇給・手当支給)	154	37.6%
看護補助者の求人活動強化	228	55.6%
その他	26	6.3%

③ ①で「検討していない」と回答した施設の方にお伺いします。

取組を検討していない理由をお答えください。(当てはまるもの全てを選択)

項目	回答数	割合 (n=1,249)
取り組む時間がない	45	3.6%
取り組む人がいない	48	3.8%
取り組む費用がない	67	5.4%
取組を必要としていない	1,115	89.3%
その他	41	3.3%

(4) 看護補助者を雇用している施設の方にお伺いします。

看護補助者が行っている業務及び指導が難しいと感じる業務について、当てはまるもの全てを選択してください。

業務内容	行っているもの		指導が難しいと感じるもの	
	回答数	割合 (n=484)	回答数	割合 (n=484)
病床及び病床周辺の清掃・整頓	285	58.9%	15	3.1%
室環境（温度・湿度・遮光・換気など）の調整	264	54.5%	19	3.9%
シーツ交換・ベッドメイキング	287	59.3%	10	2.1%
リネン類の管理	277	57.2%	13	2.7%
診療・検査等の書類（伝票等）の準備、補充	138	28.5%	108	22.3%
診療に必要な機器・器具等の準備、片付け	192	39.7%	90	18.6%
診療材料の補充・整理	183	37.8%	82	16.9%
診療材料の運搬	161	33.3%	48	9.9%
入退院・転出入に関する業務	135	27.9%	78	16.1%
食事に関する業務	252	52.1%	45	9.3%
身体の清潔に関する業務	251	51.9%	59	12.2%
排泄に関する業務	238	49.2%	61	12.6%
安全安楽に関する業務	203	41.9%	83	17.1%
移動・移送に関する業務	270	55.8%	49	10.1%
夜勤業務	167	34.5%	75	15.5%
その他	20	4.1%	22	4.5%
計	3,323		857	

(5) 看護補助者の雇用に係る看護補助者処遇改善補助金※の活用状況についてお伺いします。

① 貴施設では、看護補助者処遇改善補助金を活用しましたか。

項目	回答数	割合
はい	210	9.5%
いいえ	1,488	67.6%
無回答	503	22.9%
計	2,201	100.0%

② ①で「はい」と回答した施設方にお伺いします。

補助金活用後、継続的な賃金改善を実施していますか。

項目	回答数	割合
継続している	191	91.4%
一部縮小して継続している	7	3.3%
継続していない	11	5.3%
計	209	100.0%

※看護補助者処遇改善補助金：医療分野では他の産業に賃上げが追い付いていないため、病院及び有床診療所に勤務する看護補助者を対象に、賃上げ効果が継続される取組を前提として、収入を引き上げるために必要な経費を補助するもの（国→県補助→施設）

補助金額：対象施設の看護補助者

常勤換算 1 人当たり月額平均 6,000 円の賃上げに相当する額

対象期間：令和6年2月～令和6年5月分の賃金引上げ分

（以降も、別途賃上げ効果が継続される取組みを行う）

2 看護職員調査(単純集計)

I 職場選択の考え方について

問1 あなたが現在の職場を選ぶ際に、最も活用した情報はどれですか。(1つ選択)

項目	回答数	割合
ハローワーク	2,192	21.5%
ナースセンター(eナースセンター含む)	618	6.1%
民間の職業紹介会社	1,035	10.1%
大学・養成所等での進路指導	1,513	14.8%
法人、施設等のホームページ	539	5.3%
就職懇談会(セミナー)・説明会	224	2.2%
友人・知人からの紹介	2,290	22.4%
臨地実習施設の情報	567	5.6%
法人、施設からの就職の働きかけ	262	2.6%
広告(チラシ、新聞・雑誌・市町村広報への掲載等)	344	3.4%
その他	552	5.4%
無回答	72	0.7%
計	10,208	100.0%

問2 あなたが現在の職場を選んだ理由は何ですか。(当てはまるもの全てを選択)

項目	回答数	割合
仕事の内容が魅力的	2,729	26.7%
設置者の理念・方針に共感したから	631	6.2%
資格・技能が活かせるから	2,343	23.0%
教育体制が充実しているから	1,207	11.8%
通勤が便利だから	4,230	41.4%
給与が高いから	1,646	16.1%
福利厚生・労働環境が充実しているから	1,569	15.4%
経営が健全で将来的に安定した職場であるから	759	7.4%
勤務時間に柔軟性があるから	1,462	14.3%
人に勧められたから(家族・学校・先輩など)	2,074	20.3%
その他	1,231	12.1%

問3 現在の仕事の満足度についてお伺いします。当てはまるものを選択してください。

項目	回答数	割合
満足	1,531	15.0%
やや満足	5,106	50.0%
やや不満	2,704	26.5%
不満	796	7.8%
無回答	71	0.7%
計	10,208	100.0%

問4 これまでのお仕事の経験について、お伺いします。

(1) 看護職員として転職したことがありますか。

項目	回答数	回答率
ある	6,253	61.3%
ない	3,913	38.3%
無回答	42	0.4%
計	10,208	100.0%

(2) (1)で「ある」と回答した方にお伺いします。

以前、勤務していた職場を辞めた理由は、何ですか。(当てはまるもの全てを選択)

※離職されたことが複数回ある方は、今までの理由を全て選んでください。

項目	回答数	割合 (n=6,253)
職場の人間関係	1,784	28.5%
賃金が安い	1,490	23.8%
能力が適正に評価されない	530	8.5%
教育体制・スキルアップの機会がない	603	9.6%
有給休暇がとりにくい	1,142	18.3%
時間外勤務が多い	1,507	24.1%
職場の相談体制の不足(フォロー体制)	752	12.0%
患者・家族、上司等からの暴言・暴力	622	9.9%
業務の負担感(看護部内の役割が多い等)	1,479	23.7%
自身の身体的な健康問題	465	7.4%
自身の精神的な健康問題	499	8.0%
夜勤ができない	548	8.8%
通勤が不便	580	9.3%
結婚・妊娠・出産	1,472	23.5%
子供の教育・進学	459	7.3%
家族の介護	262	4.2%
転居	1,136	18.2%
定年、雇用期間終了	141	2.3%
他にしたいことがある	569	9.1%
その他	682	10.9%

Ⅱ 看護職員として生涯働くことのできる要件や働きやすい職場環境について

問5 看護職員として働き続けるために、必要だと思う条件や仕事の負担について、
お伺いします。

- (1) 現在の職場であなたが感じる、労働条件・仕事の負担等での悩み、不安、不満等は
何ですか。（当てはまるもの全てを選択）

項目	回答数	割合
仕事の内容・やりがいが少ない	1,531	15.0%
教育体制・キャリアアップの機会 (研修の機会・能力開発等)が少ない	916	9.0%
雇用形態に不満がある(非正規・パート等)	698	6.8%
人手が足りない	5,645	55.3%
仕事内容のわりに賃金が低い	4,995	48.9%
福利厚生に不満がある	2,006	19.7%
時間外勤務が多い・勤務時間が長い	2,487	24.4%
夜勤の負担が大きい	1,900	18.6%
有給休暇がとりにくい	2,611	25.6%
医療のIT化に適應できない	587	5.8%
身体的・精神的負担が大きい	3,300	32.3%
職場の人間関係	2,033	19.9%
事故や感染の危険がある	1,053	10.3%
自身の知識・技術の不足がある	1,708	16.7%
その他	684	6.7%
なし	678	6.6%

- (2) 看護職員が生涯働き続けられるには、何が必要と考えますか。
(当てはまるもの全てを選択)

項目	回答数	割合
仕事とプライベートの両立ができる	8,531	83.6%
処遇に見合った賃金	7,823	76.6%
自分のスキルに合った仕事内容	3,283	32.2%
キャリアに応じた教育体制	2,452	24.0%
自身の健康	6,885	67.4%
多様な勤務形態の導入 (日勤のみ・夜勤専従・短時間勤務等)	4,114	40.3%
定年延長・再任用の導入	2,533	24.8%
子育て支援の充実	4,778	46.8%
介護支援の充実	3,357	32.9%
その他	337	3.3%
無回答	47	0.5%

- (3) 令和5年に改正された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針(厚生労働省医政局長等通知)」では、55歳以上の看護職員の就業の推進が必要とされていますが、ご存じですか。

項目	回答数	割合
はい	2,798	27.4%
いいえ	7,302	71.5%
無回答	108	1.1%
計	10,208	100.0%

- (4) あなたが55歳以降も働く場合、何歳まで継続して働きたいと思いますか。

項目	回答数	割合
55～59歳	1,304	12.8%
60～64歳	3,057	29.9%
65～69歳	1,735	17.0%
70歳以上	683	6.7%
わからない	2,216	21.7%
働きたくない	1,181	11.6%
無回答	32	0.3%
計	10,208	100.0%

問6 働く現場でのハラスメントの状況等について、お伺いします。

※ 勤務経験が1年未満の方は、入職して今までの期間の経験でお答えください。

- (1) あなたは、過去1年間に仕事に
「患者やその家族から」以下のようなことを
受けたことがありますか。
(当てはまるもの全てを選択)

項目	回答数	割合
セクシャルハラスメント	1,502	14.7%
身体的な暴力	1,397	13.7%
言葉の暴力	3,712	36.4%
カスタマーハラスメント	2,147	21.0%
その他	102	1.0%
ない	5,084	49.8%
無回答	170	1.7%

- (2) あなたは、過去1年間に
「職場の上司や同僚等から」以下のような
ことを受けたことがありますか。
(当てはまるもの全てを選択)

項目	回答数	割合
セクシャルハラスメント	219	2.1%
パワーハラスメント	2,419	23.7%
マタニティハラスメント・パタニティハラスメント	158	1.5%
モラルハラスメント	1,335	13.1%
その他	182	1.8%
ない	6,682	65.5%
無回答	372	3.6%

※セクシャルハラスメントとは、「意に添わない性的誘い掛けや好意的態度の要求等、性的な嫌がらせ行為等」

パワーハラスメントとは、「職務上の地位や職場での人間関係等の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える行為」

マタニティハラスメント・パタニティハラスメントとは、「妊娠・出産、男性の父性に対し、上司や同僚の言動により、対象職員の就業環境が害されること」

(3) (1)で1～5、(2)で1～5のいずれかを選択した方にお伺いします。

ハラスメントを受けた後の対応について、誰かに相談しましたか。

(当てはまるもの全てを選択)

項目	回答数	割合 (n=5,837)
上司に相談した	2,143	36.7%
先輩や同僚に相談した	2,671	45.8%
家族や友達に相談した	1,704	29.2%
施設内の相談窓口相談した	120	2.1%
組織外の相談窓口相談した	66	1.1%
誰にも相談していない	1,037	17.8%
その他	95	1.6%

(4) ハラスメントに係るあなたの職場での取組みについて、お伺いします。

職場の取組みで知っているもの全てを選択してください。

項目	回答数	割合
相談窓口又は相談窓口担当者が周知されている	4,045	39.6%
被害を受けた場合の配慮がある (メンタルサポート対応や行為者への対応の体制等)	2,054	20.1%
被害防止のための取組み (マニュアルや研修への参加)	2,086	20.4%
その他	157	1.5%
知らない	4,529	44.4%
無回答	211	2.1%

Ⅲ 労働日・労働時間について

問7 現在の職場でのあなたの勤務時間数・日数について、お伺いします。

(シフト勤務等で変動がある場合は、平均的な時間数・日数をご回答ください)

(1) 1日の平均的な勤務時間(残業を除く)について、お伺いします。(1つ選択)

項目	回答数	割合
4時間未満	522	5.1%
4時間以上 6時間未満	502	4.9%
6時間以上 8時間未満	4,077	39.9%
8時間以上 10時間未満	4,621	45.3%
10時間以上 12時間未満	315	3.1%
12時間以上	124	1.2%
無回答	47	0.5%
計	10,208	100.0%

(2) 1週間に働く平均的な日数について、お伺いします。(1つ選択)

項目	回答数	割合
2日以内	154	1.5%
3～4日	2,263	22.2%
5日	6,824	66.8%
6日以上	911	8.9%
無回答	56	0.5%
計	10,208	100.0%

IV 資質向上について

問8 あなたの職場における看護職員の資質向上のための取組状況について、お伺いします。

(1) 研修を受講する機会がありますか。(外部研修を含む)

項目	回答数	割合
ある	7,419	72.7%
ない	2,698	26.4%
無回答	91	0.9%
計	10,208	100.0%

(2) (1)で「ある」と回答した方にお伺いします。

下記研修の中で、これまで受講したものは何がありますか。

(自施設・外部研修含む)(当てはまるもの全てを選択)

項目	回答数	割合
新人看護職員研修	3,728	50.2%
新任期(2～3年目)看護職員研修 (フォローアップ研修等)	2,817	38.0%
習熟段階に応じた研修 (キャリアラダー別研修)	3,505	47.2%
管理者向け研修	1,618	21.8%
専門別研修	2,785	37.5%

(3) 県では新人看護職員の指導者となる看護職員の資質向上のため、「新人看護職員研修責任者研修」「新人看護職員教育担当者研修」「新人看護職員実地指導者研修」を開催(県看護協会が委託を受け実施)していますが、受講したことがありますか。

項目	回答数	割合
ある	2,196	21.5%
ない	7,895	77.3%
無回答	117	1.1%
計	10,208	100.0%

(4) (3)で「2 ない」と回答した方にお伺いします。

受講していない理由で当てはまるもの全てを選択してください。

項目	回答数	割合
新人の入職がない	1,534	19.4%
研修を受講できる教育体制がない	1,222	15.5%
人手不足で外部研修を受けられない	899	11.4%
その他	4,826	61.1%

(5) あなたの資格取得状況についてお伺いします。

下記の資格取得の状況と今後の予定について、当てはまるものを選択してください。

※特定行為研修修了は、厚生労働省が認定する施設での研修修了者

認定看護師、専門看護師、認定看護管理者は、日本看護協会の認定資格

診療看護師は、日本診療看護師教育大学院協議会の認定資格

アドバンス助産師は、日本助産師評価機構の認定資格

	特定行為研修修了者		認定看護師		専門看護師		認定看護管理者	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
取得している	233	2.3%	242	2.4%	76	0.7%	208	2.0%
取得予定	167	1.6%	116	1.1%	74	0.7%	133	1.3%
取得予定なし	9,424	92.3%	9,476	92.8%	9,663	94.7%	9,461	92.7%
無回答	384	3.8%	374	3.7%	395	3.9%	406	4.0%
計	10,208	100.0%	10,208	100.0%	10,208	100.0%	10,208	100.0%

	診療看護師		アドバンス助産師		その他	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
取得している	17	0.2%	56	0.5%	393	3.8%
取得予定	38	0.4%	58	0.6%	101	1.0%
取得予定なし	9,754	95.6%	9,665	94.7%	9,210	90.2%
無回答	399	3.9%	429	4.2%	504	4.9%
計	10,208	100.0%	10,208	100.0%	10,208	100.0%

V あなた自身について

問9 あなたの年齢(記入日時点の年齢)

についてお伺いします。(1つ選択)

年齢	回答数	割合
25歳未満	842	8.2%
25～29歳	1,204	11.8%
30～34歳	960	9.4%
35～39歳	1,005	9.8%
40～44歳	1,382	13.5%
45～49歳	1,518	14.9%
50～54歳	1,349	13.2%
55～59歳	1,016	10.0%
60～64歳	603	5.9%
65～69歳	202	2.0%
70歳以上	77	0.8%
無回答	50	0.5%
計	10,208	100.0%

問10 あなたの性別についてお伺いします。

項目	回答数	割合
男性	724	7.1%
女性	9,154	89.7%
回答しない	265	2.6%
無回答	65	0.6%
計	10,208	100.0%

問 11 あなたの出身都道府県及び卒業した看護学校の所在都道府県についてお伺いします。

(1) あなたの出身都道府県を教えてください。

(2) あなたが卒業した看護学校(養成所含む)の所在都道府県を教えてください。

	出身地		看護学校所在地			出身地		看護学校所在地	
	回答数	割合	回答数	割合		回答数	割合	回答数	割合
福岡県	7,280	71.3%	6,822	66.8%	三重県	1	0.0%	1	0.0%
北海道	19	0.2%	8	0.1%	滋賀県	1	0.0%	4	0.0%
青森県	9	0.1%	3	0.0%	京都府	8	0.1%	31	0.3%
岩手県	2	0.0%	0	0.0%	大阪府	31	0.3%	103	1.0%
宮城県	4	0.0%	3	0.0%	兵庫県	13	0.1%	38	0.4%
秋田県	3	0.0%	2	0.0%	奈良県	2	0.0%	22	0.2%
山形県	3	0.0%	1	0.0%	和歌山県	5	0.0%	6	0.1%
福島県	2	0.0%	3	0.0%	鳥取県	4	0.0%	12	0.1%
茨城県	1	0.0%	5	0.0%	島根県	12	0.1%	18	0.2%
栃木県	2	0.0%	3	0.0%	岡山県	9	0.1%	106	1.0%
群馬県	6	0.1%	3	0.0%	広島県	33	0.3%	68	0.7%
埼玉県	5	0.0%	33	0.3%	山口県	181	1.8%	277	2.7%
千葉県	9	0.1%	16	0.2%	徳島県	3	0.0%	7	0.1%
東京都	22	0.2%	118	1.2%	香川県	5	0.0%	12	0.1%
神奈川県	12	0.1%	43	0.4%	愛媛県	23	0.2%	18	0.2%
新潟県	3	0.0%	1	0.0%	高知県	7	0.1%	5	0.0%
富山県	2	0.0%	2	0.0%	佐賀県	373	3.7%	456	4.5%
石川県	0	0.0%	0	0.0%	長崎県	524	5.1%	209	2.0%
福井県	5	0.0%	5	0.0%	熊本県	355	3.5%	367	3.6%
山梨県	1	0.0%	5	0.0%	大分県	327	3.2%	339	3.3%
長野県	4	0.0%	1	0.0%	宮崎県	151	1.5%	113	1.1%
岐阜県	0	0.0%	3	0.0%	鹿児島県	185	1.8%	193	1.9%
静岡県	8	0.1%	12	0.1%	沖縄県	15	0.1%	13	0.1%
愛知県	21	0.2%	72	0.7%	無回答	517	5.1%	626	6.1%
					合計	10,208		10,208	

問 12 あなたの職場と仕事の状況について、お伺いします。

あなたが働く施設の状況についてお伺いします。

(1)施設の法人名及び名称をご入力ください。

(2)施設区分

施設区分		回答数	割合	小計	割合
病院	病院(400床以上)	2,511	24.6%	6,171	60.5%
	病院(200～399床)	2,059	20.2%		
	病院(200床未満)	1,601	15.7%		
診療所	有床診療所	271	2.7%	1,941	19.0%
	無床診療所	1,670	16.4%		
訪問看護ステーション		1,005	9.8%	1,005	9.8%
介護老人施設等	介護老人保健施設	219	2.1%	598	5.9%
	介護老人福祉施設	294	2.9%		
	介護医療院	85	0.8%		
障がい児・者施設等		130	1.3%	130	1.3%
その他		222	2.2%	222	2.2%
無回答		141	1.4%	141	1.4%
計		10,208	100.0%	10,208	

(3)施設所在地(医療圏)

(4)あなたは、現在どの資格で働いていますか、
当てはまるものを選択してください。

医療圏	回答数	割合
福岡・糸島	3,476	34.1%
粕屋	456	4.5%
宗像	160	1.6%
筑紫	429	4.2%
朝倉	185	1.8%
久留米	885	8.7%
八女・筑後	183	1.8%
有明	440	4.3%
飯塚	500	4.9%
直方・鞍手	175	1.7%
田川	297	2.9%
北九州	2,701	26.5%
京築	196	1.9%
無回答	125	1.2%
計	10,208	100.0%

資格	回答数	割合
保健師	38	0.4%
助産師	163	1.6%
看護師	8,630	84.5%
准看護師	1,234	12.1%
無回答	143	1.4%
計	10,208	100.0%

(5) あなたの主な仕事は何ですか。

項目	回答数	割合
病棟での看護業務	4,591	45.0%
病棟以外での看護業務 (手術室・材料室、外来業務(病院・診療所))	3,004	29.4%
地域医療連携室・相談室での相談調整業務	131	1.3%
認定看護師、専門看護師等専門に特化した業務	75	0.7%
訪問看護	1,035	10.1%
助産業務	65	0.6%
施設利用者の健康管理・相談業務	440	4.3%
管理監督業務	355	3.5%
その他	381	3.7%
無回答	131	1.3%
計	10,208	100.0%

問 13 あなたの就業形態について、
お伺いします。(1つ選択)

項目	回答数	割合
正規職員	8,600	84.2%
非常勤職員 (契約職員、嘱託職員、パートなど)	1,492	14.6%
無回答	116	1.1%
計	10,208	100.0%

問 14 あなたの勤務形態について、
お伺いします。(1つ選択)

項目	回答数	割合
2交代制	4,530	44.4%
3交代制	344	3.4%
宿直制	96	0.9%
日勤のみ	3,846	37.7%
日勤＋オンコール	1,028	10.1%
夜勤専従	49	0.5%
その他	221	2.2%
無回答	94	0.9%
計	10,208	100.0%

問 15 あなたが現在働いている施設での
経験年数についてお伺いします。

経験年数	回答数	割合
3年未満	2,933	28.7%
3～10年未満	3,181	31.2%
10～20年未満	2,393	23.4%
20～30年未満	1,123	11.0%
30年以上	479	4.7%
無回答	99	1.0%
計	10,208	100.0%

問16 あなたの各種手当(夜勤手当、時間外
手当、通勤手当、住居手当等)を含めた
前月の総支給額はいくらですか。

前月総支給額	回答数	割合
20万円未満	1,793	17.6%
20～25万円未満	2,482	24.3%
25～30万円未満	2,486	24.4%
30～35万円未満	1,727	16.9%
35～40万円未満	863	8.5%
40～45万円未満	444	4.3%
45～50万円未満	167	1.6%
50万円以上	88	0.9%
無回答	158	1.5%
計	10,208	100.0%

問17 あなたの今後の勤務希望についてお伺いします。

あなたのキャリアを考えたときに、10年後、どのような職場で働いていると考えますか。

項目	回答数	割合
病院(400床以上)	1,235	12.1%
病院(200～399床)	1,131	11.1%
病院(200床未満)	1,022	10.0%
有床診療所	162	1.6%
無床診療所	1,385	13.6%
訪問看護ステーション	965	9.5%
介護老人保健施設	200	2.0%
介護老人福祉施設	248	2.4%
介護医療院	36	0.4%
障がい児・者施設等	110	1.1%
看護業務以外の職場	604	5.9%
働いていない	1,608	15.8%
その他	1,385	13.6%
無回答	117	1.1%
計	10,208	100.0%

3 施設調査(クロス集計)

Ⅱ 看護職員の状況について

問2 看護職員の状況

(1) 看護職員実員数【※委託・派遣を除く】について各職種ごとの人数

① 看護職員数 × 施設区分

施設区分	①令和5年4月1日時点の在籍看護職員数					②令和5年10月1日時点の在籍看護職員数					③令和6年3月31日時点の在籍看護職員数				
	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計
病院(400床以上)	13	414	9,970	81	10,478	14	405	9,812	82	10,313	13	398	9,689	82	10,181
病院(200～399床)	13	72	8,175	1,016	9,276	12	73	8,107	990	9,182	13	70	7,662	957	8,702
病院(200床未満)	67	110	7,547	949	8,673	69	106	7,479	931	8,585	70	101	7,375	881	8,427
有床診療所	3	199	479	370	1,051	3	199	485	375	1,062	5	202	488	350	1,045
無床診療所	62	38	1,644	693	2,437	62	41	1,689	679	2,470	62	41	1,722	669	2,493
訪問看護ステーション	16	7	1,670	171	1,864	17	9	1,742	174	1,942	17	9	1,797	189	2,012
介護老人保健施設	1	13	427	303	744	1	17	432	291	741	1	17	413	282	713
介護老人福祉施設	6	0	398	309	713	6	0	399	314	719	7	0	389	314	710
介護医療院	0	0	166	73	239	0	0	177	81	258	0	0	190	91	281
障がい児・者施設等	0	0	265	83	348	0	0	268	81	349	0	0	265	84	349
その他	0	0	58	5	63	1	0	68	5	74	1	0	69	5	75
無回答	1	0	75	45	121	1	0	73	46	120	1	1	72	46	120
計	182	853	30,874	4,097	36,007	186	850	30,730	4,048	35,814	190	839	30,131	3,949	35,108

施設区分	⑩令和5年度の定年退職者数					⑪ ⑩のうち定年後の再雇用者数					令和5年4月と令和6年3月の差 (③-①)				
	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計
病院(400床以上)	0	2	39	0	41	0	1	16	0	17	0	-16	-281	1	-297
病院(200～399床)	0	0	88	42	130	0	0	69	36	105	0	-2	-513	-59	-574
病院(200床未満)	0	1	69	10	80	0	0	63	8	71	3	-9	-172	-68	-246
有床診療所	0	0	7	12	19	0	0	4	8	12	2	3	9	-20	-6
無床診療所	1	0	17	11	29	1	0	10	5	16	0	3	78	-24	56
訪問看護ステーション	1	0	14	0	15	1	0	8	0	9	1	2	127	18	148
介護老人保健施設	0	0	3	5	8	0	0	2	3	5	0	4	-14	-21	-31
介護老人福祉施設	0	0	4	6	10	0	0	3	6	9	1	0	-9	5	-3
介護医療院	0	0	2	1	3	0	0	2	0	2	0	0	24	18	42
障がい児・者施設等	0	0	6	2	8	0	0	3	2	5	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	11	0	12
無回答	0	0	3	2	5	0	0	4	3	7	0	1	-3	1	-1
計	2	3	252	91	348	2	1	184	71	258	8	-14	-743	-148	-899

② 看護職員数 × 医療圏

医療圏	①令和5年4月1日時点の在籍看護職員数					②令和5年10月1日時点の在籍看護職員数					③令和6年3月31日時点の在籍看護職員数				
	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計
福岡・糸島	82	409	10,825	750	12,065	87	412	10,777	740	12,016	87	407	10,691	725	11,910
粕屋	8	22	1,479	175	1,684	7	18	1,456	177	1,658	7	16	1,447	178	1,648
宗像	4	17	457	128	606	4	16	457	127	604	4	15	449	134	602
筑紫	7	1	1,194	211	1,413	6	1	1,203	210	1,420	6	1	1,208	208	1,423
朝倉	3	7	259	100	369	3	7	263	97	370	2	7	270	94	373
久留米	17	71	2,928	390	3,406	18	67	2,901	380	3,366	20	66	2,886	375	3,347
八女・筑後	4	5	1,108	398	1,515	3	5	1,107	382	1,497	3	5	1,114	357	1,479
有明	5	16	916	179	1,116	5	16	916	170	1,107	5	17	911	165	1,098
飯塚	4	37	1,548	203	1,792	4	35	1,524	202	1,765	4	35	1,489	197	1,725
直方・鞍手	7	3	743	177	930	7	3	731	167	908	7	3	715	163	888
田川	2	10	554	313	879	2	10	612	312	936	3	10	600	298	911
北九州	35	250	8,222	903	9,410	36	255	8,149	905	9,345	36	251	7,728	878	8,892
京築	3	5	560	128	696	3	5	554	135	697	5	5	546	132	688
無回答	1	0	83	43	127	1	0	81	45	127	1	1	78	46	126
計	182	853	30,874	4,097	36,007	186	850	30,730	4,048	35,814	190	839	30,131	3,949	35,108

医療圏	⑩令和5年度の定年退職者数					⑪ ⑩のうち定年後の再雇用者数					令和5年4月と令和6年3月の差 (③-①)				
	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計
福岡・糸島	0	2	59	11	72	0	1	38	10	49	5	-2	-133	-25	-155
粕屋	0	0	4	0	4	0	0	3	0	3	-1	-6	-32	3	-36
宗像	0	0	11	2	13	0	0	9	0	9	0	-2	-8	6	-4
筑紫	0	0	27	19	46	0	0	23	16	39	-1	0	14	-3	10
朝倉	0	0	0	4	4	0	0	0	3	3	-1	0	11	-6	4
久留米	1	0	19	5	25	1	0	12	3	16	3	-5	-42	-15	-59
八女・筑後	0	0	15	11	26	0	0	13	9	22	-1	0	6	-41	-36
有明	0	0	7	2	9	0	0	4	0	4	0	1	-5	-14	-18
飯塚	0	0	2	3	5	0	0	1	2	3	0	-2	-59	-6	-67
直方・鞍手	0	0	4	1	5	0	0	8	0	8	0	0	-28	-14	-42
田川	0	0	14	14	28	0	0	8	12	20	1	0	46	-15	32
北九州	1	1	85	13	100	1	0	58	8	67	1	1	-494	-25	-518
京築	0	0	2	4	6	0	0	3	5	8	2	0	-14	4	-8
無回答	0	0	3	2	5	0	0	2	0	2	0	1	-5	3	-1
計	2	3	252	91	348	2	1	182	68	253	8	-14	-743	-148	-899

③ 新卒離職率 × 施設区分

施設区分	⑤令和5年度新卒採用者数					⑥ ⑤のうち令和5年度中の新卒退職者数					新卒離職率(=⑥÷⑤×100)				
	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	全職種
病院(400床以上)	0	38	792	2	832	0	0	50	1	51	0.0%	0.0%	6.3%	50.0%	6.1%
病院(200～399床)	0	11	507	21	539	0	0	48	5	53	0.0%	0.0%	9.5%	23.8%	9.8%
病院(200床未満)	1	7	205	25	238	0	0	26	6	32	0.0%	0.0%	12.7%	24.0%	13.4%
有床診療所	0	2	1	7	10	0	0	1	1	2	0.0%	0.0%	100.0%	14.3%	20.0%
無床診療所	1	0	1	11	13	0	0	1	9	10	0.0%	0.0%	100.0%	81.8%	76.9%
訪問看護ステーション	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
介護老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
介護医療院	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
障がい児・者施設等	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	2	58	1,508	68	1,636	0	0	127	22	149					9.1%

④ 新卒離職率 × 医療圏

医療圏	⑤令和5年度新卒採用者数					⑥ ⑤のうち令和5年度中の新卒退職者数					新卒離職率(=⑥÷⑤×100)				
	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	全職種
福岡・糸島	1	33	579	4	617	0	0	50	2	52	0.0%	0.0%	8.6%	50.0%	8.4%
粕屋	0	0	79	2	81	0	0	10	0	10	0.0%	0.0%	12.7%	0.0%	12.3%
宗像	0	0	5	2	7	0	0	1	0	1	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	14.3%
筑紫	0	0	77	4	81	0	0	6	3	9	0.0%	0.0%	7.8%	75.0%	11.1%
朝倉	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
久留米	0	1	137	12	150	0	0	12	3	15	0.0%	0.0%	8.8%	25.0%	10.0%
八女・筑後	0	8	13	1	22	0	0	2	1	3	0.0%	0.0%	15.4%	100.0%	13.6%
有明	0	1	32	1	34	0	0	2	0	2	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	5.9%
飯塚	0	1	72	7	80	0	0	1	3	4	0.0%	0.0%	1.4%	42.9%	5.0%
直方・鞍手	0	0	26	5	31	0	0	4	1	5	0.0%	0.0%	15.4%	20.0%	16.1%
田川	0	1	15	5	21	0	0	3	2	5	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	23.8%
北九州	1	13	447	23	484	0	0	34	7	41	0.0%	0.0%	7.6%	30.4%	8.5%
京築	0	0	25	1	26	0	0	2	0	2	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%	7.7%
無回答	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
計	2	58	1,508	68	1,636	0	0	127	22	149					9.1%

⑤ 既卒離職率 × 施設区分

施設区分	⑦令和5年度の既卒採用者数					⑧ ⑦のうち、令和5年度中の既卒退職者数					既卒離職率(=⑧÷⑦×100)				
	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計
病院(400床以上)	0	6	179	3	188	0	1	21	1	23	0.0%	16.7%	11.7%	33.3%	12.2%
病院(200～399床)	0	11	377	52	440	0	2	76	22	100	0.0%	18.2%	20.2%	42.3%	22.7%
病院(200床未満)	8	12	726	97	843	0	4	177	31	212	0.0%	33.3%	24.4%	32.0%	25.1%
有床診療所	0	19	58	17	94	0	10	14	2	26	0.0%	52.6%	24.1%	11.8%	27.7%
無床診療所	12	6	246	65	329	1	0	78	27	106	8.3%	0.0%	31.7%	41.5%	32.2%
訪問看護ステーション	7	1	340	37	385	2	0	121	19	142	28.6%	0.0%	35.6%	51.4%	36.9%
介護老人保健施設	3	4	58	44	109	0	0	22	26	48	0.0%	0.0%	37.9%	59.1%	44.0%
介護老人福祉施設	0	0	65	28	93	0	0	31	13	44	0.0%	0.0%	48.2%	46.4%	47.7%
介護医療院	0	0	9	2	11	0	0	4	1	5	0.0%	0.0%	44.4%	50.0%	45.5%
障がい児・者施設等	0	0	23	6	29	0	0	6	4	10	0.0%	0.0%	26.1%	66.7%	34.5%
その他	1	0	39	0	40	1	0	16	1	18	100.0%	0.0%	41.0%	0.0%	45.0%
無回答	0	0	7	5	12	0	0	1	0	1	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	8.3%
計	31	59	2,127	356	2,573	4	17	567	147	735					28.6%

⑥ 既卒離職率 × 医療圏

医療圏	⑦令和5年度の既卒採用者数					⑧ ⑦のうち、令和5年度中の既卒退職者数					既卒離職率(=⑧÷⑦×100)				
	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	全職種
福岡・糸島	19	33	907	73	1,032	2	8	240	28	278	10.5%	24.2%	26.5%	38.4%	26.9%
粕屋	0	0	61	11	72	0	0	8	4	12	0.0%	0.0%	13.1%	36.4%	16.7%
宗像	1	0	42	10	53	0	0	6	3	9	0.0%	0.0%	14.3%	30.0%	17.0%
筑紫	0	0	121	22	143	0	0	51	13	64	0.0%	0.0%	42.1%	59.1%	44.8%
朝倉	1	0	34	11	46	1	0	10	4	15	100.0%	0.0%	29.4%	36.4%	32.6%
久留米	5	2	194	43	244	0	1	54	25	80	0.0%	50.0%	27.8%	58.1%	32.8%
八女・筑後	1	7	82	28	118	1	0	29	9	39	100.0%	0.0%	35.4%	32.1%	33.1%
有明	0	0	42	10	52	0	0	14	4	18	0.0%	0.0%	33.3%	40.0%	34.6%
飯塚	0	1	24	9	34	0	0	6	2	8	0.0%	0.0%	25.0%	22.2%	23.5%
直方・鞍手	0	0	46	18	64	0	0	8	7	15	0.0%	0.0%	17.4%	38.9%	23.4%
田川	0	0	37	19	56	0	0	6	8	14	0.0%	0.0%	16.2%	42.1%	25.0%
北九州	2	16	484	80	582	0	8	119	35	162	0.0%	50.0%	24.6%	43.8%	27.9%
京築	2	0	47	18	67	0	0	14	5	19	0.0%	0.0%	29.8%	27.8%	28.4%
無回答	0	0	6	4	10	0	0	2	0	2	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	20.0%
計	31	59	2,127	356	2,573	4	17	567	147	735					28.6%

(2) 令和6年度の看護職員充足状況

① 令和6年度の看護職員充足状況 × 施設区分

施設区分	①令和6年4月1日時点の採用必要数					②令和6年4月1日付採用者総数 (委託・派遣除く)					③令和6年4月1日付採用者総数 (委託・派遣のみ、実人数)					施設別 委託・派遣 採用者割合	委託・派遣 を除く充足率
	全職種合計：3,536人					全職種合計：2,481人					全職種合計：694人						
	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計		
病院(400床以上)	0	35	844	3	882	0	51	912	2	965	0	11	96	1	108	10.1%	109.4%
病院(200～399床)	0	9	1,090	52	1,151	0	4	740	31	775	0	0	171	69	240	23.6%	67.3%
病院(200床未満)	6	6	470	45	527	4	6	333	36	379	0	0	32	6	38	9.1%	71.9%
有床診療所	2	42	73	26	143	0	11	15	4	30	0	7	11	15	33	52.4%	21.0%
無床診療所	1	3	221	83	308	2	4	84	29	119	1	1	77	29	108	47.6%	38.6%
訪問看護ステーション	3	0	268	21	292	1	0	109	11	121	3	1	80	4	88	42.1%	41.4%
介護老人保健施設	0	2	40	24	66	2	1	36	7	46	0	0	26	16	42	47.7%	69.7%
介護老人福祉施設	0	0	60	33	93	0	0	11	7	18	0	0	20	4	24	57.1%	19.4%
介護医療院	0	0	13	20	33	0	0	4	3	7	0	0	1	2	3	30.0%	21.2%
障がい児・者施設等	0	0	11	3	14	0	0	8	3	11	0	0	6	1	7	38.9%	78.6%
その他	1	0	14	1	16	1	0	6	0	7	1	0	0	0	1	12.5%	43.8%
無回答	0	0	8	3	11	0	0	3	0	3	0	0	2	0	2	40.0%	27.3%
合計	13	97	3,112	314	3,536	10	77	2,261	133	2,481	5	20	522	147	694	21.9%	70.2%

※採用必要数と採用数の差

施設区分	(A)①令和6年4月1日時点の採用必要数					(B)②+③採用数					(B)－(A) 不足数					施設別充足率 (B)/(A)
	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	
病院(400床以上)	0	35	844	3	882	0	62	1,008	3	1,073	0	27	164	0	191	121.7%
病院(200～399床)	0	9	1,090	52	1,151	0	4	911	100	1,015	0	-5	-179	48	-136	88.2%
病院(200床未満)	6	6	470	45	527	4	6	365	42	417	-2	0	-105	-3	-110	79.1%
有床診療所	2	42	73	26	143	0	18	26	19	63	-2	-24	-47	-7	-80	44.1%
無床診療所	1	3	221	83	308	3	5	161	58	227	2	2	-60	-25	-81	73.7%
訪問看護ステーション	3	0	268	21	292	4	1	189	15	209	1	1	-80	-6	-84	71.6%
介護老人保健施設	0	2	40	24	66	2	1	62	23	88	2	-1	22	-1	22	133.3%
介護老人福祉施設	0	0	60	33	93	0	0	31	11	42	0	0	-29	-22	-51	45.2%
介護医療院	0	0	13	20	33	0	0	5	5	10	0	0	-8	-15	-23	30.3%
障がい児・者施設等	0	0	11	3	14	0	0	14	4	18	0	0	3	1	4	128.6%
その他	1	0	14	1	16	2	0	6	0	8	1	0	-8	-1	-8	50.0%
無回答	0	0	8	3	11	0	0	5	0	5	0	0	-3	-3	-6	45.5%
合計	13	97	3,112	314	3,536	15	97	2,783	280	3,175	2	0	-329	-34	-361	89.8%

② 令和6年度の看護職員充足状況 × 医療圏

医療圏	①令和6年4月1日時点の採用必要数					②令和6年4月1日付採用者総数(委託・派遣除く)					③令和6年4月1日付採用者総数(委託・派遣のみ、実人数)					医療圏別委託・派遣採用者割合 ③/(B)
	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	
福岡・糸島	8	47	1,011	59	1,125	7	47	900	23	977	1	14	185	12	212	17.8%
粕屋	0	2	166	10	178	0	2	146	4	152	0	0	3	1	4	2.6%
宗像	0	2	47	5	54	0	0	17	2	19	0	0	7	0	7	26.9%
筑紫	0	0	72	15	87	0	0	89	9	98	3	0	62	10	75	43.4%
朝倉	0	0	26	6	32	0	0	5	4	9	0	1	13	3	17	65.4%
久留米	0	3	331	32	366	1	9	308	15	333	1	5	23	12	41	11.0%
八女・筑後	1	0	114	39	154	1	0	40	10	51	0	0	18	10	28	35.4%
有明	1	3	44	17	65	0	1	34	7	42	0	0	5	2	7	14.3%
飯塚	0	3	114	13	130	0	1	90	6	97	0	0	3	6	9	8.5%
直方・鞍手	0	0	46	10	56	0	0	34	14	48	0	0	9	6	15	23.8%
田川	0	2	58	20	80	0	2	36	9	47	0	0	100	66	166	77.9%
北九州	3	35	1,046	66	1,150	1	15	537	24	577	0	0	89	18	107	15.6%
京築	0	0	30	18	48	0	0	22	6	28	0	0	3	1	4	12.5%
無回答	0	0	7	4	11	0	0	3	0	3	0	0	2	0	2	40.0%
計	13	97	3,112	314	3,536	10	77	2,261	133	2,481	5	20	522	147	694	21.9%

医療圏	(A)①令和6年4月1日時点の採用必要数					(B)②+③採用数					(B)－(A) 不足数					医療圏別充足率 (B)/(A)
	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	保健師	助産師	看護師	准看護師	小計	
福岡・糸島	8	47	1,011	59	1,125	8	61	1,085	35	1,189	0	14	75	-24	65	105.7%
粕屋	0	2	166	10	178	0	2	149	5	156	0	0	-17	-5	-22	87.6%
宗像	0	2	47	5	54	0	0	24	2	26	0	-2	-23	-3	-28	48.1%
筑紫	0	0	72	15	87	3	0	151	19	173	3	0	79	4	86	198.9%
朝倉	0	0	26	6	32	0	1	18	7	26	0	1	-8	1	-6	81.3%
久留米	0	3	331	32	366	2	14	331	27	374	2	11	0	-5	8	102.2%
八女・筑後	1	0	114	39	154	1	0	58	20	79	0	0	-56	-19	-75	51.3%
有明	1	3	44	17	65	0	1	39	9	49	-1	-2	-5	-8	-16	75.4%
飯塚	0	3	114	13	130	0	1	93	12	106	0	-2	-21	-1	-24	81.5%
直方・鞍手	0	0	46	10	56	0	0	43	20	63	0	0	-3	10	7	112.5%
田川	0	2	58	20	80	0	2	136	75	213	0	0	78	55	133	266.3%
北九州	3	35	1,046	66	1,150	1	15	626	42	684	-2	-20	-421	-24	-467	59.5%
京築	0	0	30	18	48	0	0	25	7	32	0	0	-5	-11	-16	66.7%
無回答	0	0	7	4	11	0	0	5	0	5	0	0	-2	-4	-6	45.5%
計	13	97	3,112	314	3,536	15	97	2,783	280	3,175	2	0	-329	-34	-361	89.8%

(3) 過去一年間の貴施設における看護職員の確保状況

① 過去一年間の看護職員の充足状況 × 施設区分

施設区分	項目									
	困っていない		時期や状況によって困ることがある		年間を通して困っている		無回答		計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
病院(400床以上)	3	13.6%	11	50.0%	6	27.3%	2	9.1%	22	1.0%
病院(200～399床)	15	23.8%	29	46.0%	19	30.2%	0	0.0%	63	2.9%
病院(200床未満)	13	10.0%	59	45.4%	57	43.8%	1	0.8%	130	5.9%
有床診療所	37	32.5%	46	40.4%	30	26.3%	1	0.9%	114	5.2%
無床診療所	540	54.2%	325	32.6%	120	12.0%	11	1.1%	996	45.3%
訪問看護ステーション	142	31.6%	215	47.9%	91	20.3%	1	0.2%	449	20.4%
介護老人保健施設	22	26.2%	30	35.7%	32	38.1%	0	0.0%	84	3.8%
介護老人福祉施設	72	37.7%	70	36.6%	49	25.7%	0	0.0%	191	8.7%
介護医療院	6	26.1%	7	30.4%	10	43.5%	0	0.0%	23	1.0%
障がい児・者施設等	39	48.1%	28	34.6%	13	16.0%	1	1.2%	81	3.7%
その他	11	50.0%	5	22.7%	5	22.7%	1	4.5%	22	1.0%
無回答	6	23.1%	1	3.8%	2	7.7%	17	65.4%	26	1.2%
計	906	41.2%	826	37.5%	434	19.7%	35	1.6%	2,201	100.0%

問3 貴施設における看護職員の勤務形態(当てはまるもの全てを選択)

① 看護職員の勤務形態 × 施設区分

施設区分	項目													
	回答施設数	2交代制		3交代制		宿直制		日勤		日勤＋オンコール		その他		合計
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数
病院(400床以上)	22	20	90.9%	5	22.7%	2	9.1%	6	27.3%	5	22.7%	1	4.5%	39
病院(200～399床)	63	60	95.2%	9	14.3%	9	14.3%	23	36.5%	10	15.9%	1	1.6%	112
病院(200床未満)	130	123	94.6%	12	9.2%	8	6.2%	48	36.9%	11	8.5%	7	5.4%	209
有床診療所	114	54	47.4%	4	3.5%	29	25.4%	60	52.6%	12	10.5%	10	8.8%	169
無床診療所	996	28	2.8%	1	0.1%	2	0.2%	913	91.7%	23	2.3%	43	4.3%	1,010
訪問看護ステーション	449	26	5.8%	1	0.2%	1	0.2%	110	24.5%	380	84.6%	6	1.3%	524
介護老人保健施設	84	66	78.6%	13	15.5%	3	3.6%	26	31.0%	4	4.8%	3	3.6%	115
介護老人福祉施設	191	23	12.0%	8	4.2%	3	1.6%	36	18.8%	151	79.1%	10	5.2%	231
介護医療院	23	21	91.3%	2	8.7%	2	8.7%	7	30.4%	1	4.3%	1	4.3%	34
障がい児・者施設等	81	13	16.0%	1	1.2%	1	1.2%	56	69.1%	22	27.2%	4	4.9%	97
その他	22	3	13.6%	0	0.0%	0	0.0%	13	59.1%	4	18.2%	1	4.5%	21
無回答	26	4	15.4%	0	0.0%	1	3.8%	4	15.4%	2	7.7%	0	0.0%	11
計	2,201	441	20.0%	56	2.5%	61	2.8%	1,302	59.2%	625	28.4%	87	4.0%	2,572

問4 昇給制度について

(2) 資格取得や能力に応じた手当

① 資格取得や能力に応じた手当 × 施設区分

施設区分	項目						
	ある		ない		無回答		計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数
病院(400床以上)	10	45.5%	11	50.0%	1	4.5%	22
病院(200～399床)	25	39.7%	38	60.3%	0	0.0%	63
病院(200床未満)	52	40.0%	78	60.0%	0	0.0%	130
有床診療所	62	54.4%	51	44.7%	1	0.9%	114
無床診療所	436	43.8%	550	55.2%	10	1.0%	996
訪問看護ステーション	194	43.2%	254	56.6%	1	0.2%	449
介護老人保健施設	26	31.0%	56	66.7%	2	2.4%	84
介護老人福祉施設	69	36.1%	119	62.3%	3	1.6%	191
介護医療院	7	30.4%	16	69.6%	0	0.0%	23
障がい児・者施設等	30	37.0%	51	63.0%	0	0.0%	81
その他	7	31.8%	14	63.6%	1	4.5%	22
無回答	5	19.2%	5	19.2%	16	61.5%	26
計	923	41.9%	1,243	56.5%	35	1.6%	2,201

問5 令和5年1月～令和5年12月の看護職員の年次有給休暇平均取得日数平均取得日数

① 年次有給休暇平均取得日数 × 施設区分

施設区分	1～5日未満		5～10日未満		10～15日未満		15～20日未満		20日以上		無回答		計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
病院(400床以上)	0	0.0%	5	22.7%	10	45.5%	4	18.2%	1	4.5%	2	9.1%	22	1.0%
病院(200～399床)	0	0.0%	15	23.8%	34	54.0%	12	19.0%	2	3.2%	0	0.0%	63	2.9%
病院(200床未満)	1	0.8%	37	28.5%	53	40.8%	34	26.2%	3	2.3%	2	1.5%	130	5.9%
有床診療所	8	7.0%	24	21.1%	41	36.0%	29	25.4%	9	7.9%	3	2.6%	114	5.2%
無床診療所	98	9.8%	313	31.4%	283	28.4%	162	16.3%	89	8.9%	51	5.1%	996	45.3%
訪問看護ステーション	65	14.5%	202	45.0%	111	24.7%	42	9.4%	5	1.1%	24	5.3%	449	20.4%
介護老人保健施設	5	6.0%	42	50.0%	24	28.6%	11	13.1%	1	1.2%	1	1.2%	84	3.8%
介護老人福祉施設	12	6.3%	64	33.5%	71	37.2%	32	16.8%	8	4.2%	4	2.1%	191	8.7%
介護医療院	0	0.0%	7	30.4%	10	43.5%	4	17.4%	1	4.3%	1	4.3%	23	1.0%
障がい児・者施設等	2	2.5%	23	28.4%	27	33.3%	18	22.2%	10	12.3%	1	1.2%	81	3.7%
その他	2	9.1%	11	50.0%	4	18.2%	2	9.1%	1	4.5%	2	9.1%	22	1.0%
無回答	0	0.0%	4	15.4%	1	3.8%	4	15.4%	0	0.0%	17	65.4%	26	1.2%
計	193	8.8%	747	33.9%	669	30.4%	354	16.1%	130	5.9%	108	4.9%	2,201	100.0%

問6 貴施設の教育研修体制についてお伺いします。

(1) 貴施設では、新人看護職員の採用

(※新人看護職員は、卒後初めて就職する看護職員をいう)

① 新人看護職員の採用の有無 × 施設区分

施設区分	新人職員採用の有無							
	ある		ない		今後予定している		計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
病院(400床以上)	19	90.5%	1	4.8%	1	4.8%	21	1.0%
病院(200～399床)	52	83.9%	7	11.3%	3	4.8%	62	2.9%
病院(200床未満)	78	60.5%	39	30.2%	12	9.3%	129	6.0%
有床診療所	39	34.5%	68	60.2%	6	5.3%	113	5.2%
無床診療所	86	8.7%	844	85.4%	58	5.9%	988	45.6%
訪問看護ステーション	57	12.7%	328	73.2%	63	14.1%	448	20.7%
介護老人保健施設	15	17.9%	61	72.6%	8	9.5%	84	3.9%
介護老人福祉施設	22	11.7%	151	80.3%	15	8.0%	188	8.7%
介護医療院	8	34.8%	15	65.2%	0	0.0%	23	1.1%
障がい児・者施設等	15	18.5%	56	69.1%	10	12.3%	81	3.7%
その他	5	23.8%	15	71.4%	1	4.8%	21	1.0%
無回答	4	40.0%	6	60.0%	0	0.0%	10	0.5%
計	400	18.5%	1,591	73.4%	177	8.2%	2,168	100.0%

(2) 貴施設では、新人看護職員を採用する場合、必要な取り組み。(複数回答)

② 新人看護職員採用の有無 × 新人看護職員を採用する場合に必要な取り組み

新人採用の有無	対象施設数	養成所等における基礎教育・技術指導の充実		自施設の教育体制整備		新人看護職員のフォロー		福利厚生・労働環境の整備		その他		無回答		計
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
ある	400	163	40.8%	319	79.8%	255	63.8%	200	50.0%	4	1.0%	3	0.8%	944
ない	1,591	634	39.8%	905	56.9%	724	45.5%	523	32.9%	72	4.5%	147	9.2%	3,005
今後予定している	177	74	41.8%	133	75.1%	110	62.1%	96	54.2%	2	1.1%	3	1.7%	418
計	2,168	871	40.2%	1,357	62.6%	1,089	50.2%	819	37.8%	78	3.6%	153	7.1%	4,367

問7 看護職員が保有する資格等についてお伺いします。

(1) 貴施設における次の資格の保有者数。該当者なし場合は、「0(ゼロ)」と記入。

① 特定行為研修修了者が「0」と回答した施設 × 施設区分

施設区分	調査回答 施設数	「0」と回 答した施設	割合
病院(400床以上)	22	2	9.1%
病院(200～399床)	63	28	44.4%
病院(200床未満)	130	109	83.8%
有床診療所	114	105	92.1%
無床診療所	996	934	93.8%
訪問看護ステーション	449	408	90.9%
介護老人保健施設	84	73	86.9%
介護老人福祉施設	191	153	80.1%
介護医療院	23	22	95.7%
障がい児・者施設等	81	75	92.6%
その他	22	17	77.3%
無回答	26	5	19.2%
計	2,201	1,931	87.7%

(2) (1)で特定行為研修修了者が「0」と回答した施設にお伺いします。

① 特定行為研修受講しない理由(複数選択) × 施設区分 対象施設数:1,931

施設区分	対象施設数	特定行為研修 についての 情報収集の 段階である		医師や関係職 種の理解が 得られない		特定行為の 活用方法が わからない		人員不足で研 修受講期間中 の人員補充が 困難である		受講希望者が いない		施設として 配置を考えて いない		経費が 高額である		その他		計
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
病院(400床以上)	2	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	2	100.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	5
病院(200～399床)	28	3	10.7%	2	7.1%	0	0.0%	8	28.6%	10	35.7%	12	42.9%	6	21.4%	4	14.3%	45
病院(200床未満)	109	15	13.8%	6	5.5%	5	4.6%	33	30.3%	53	48.6%	50	45.9%	25	22.9%	9	8.3%	196
有床診療所	105	7	6.7%	1	1.0%	8	7.6%	17	16.2%	52	49.5%	59	56.2%	8	7.6%	8	7.6%	160
無床診療所	934	39	4.2%	12	1.3%	81	8.7%	170	18.2%	424	45.4%	527	56.4%	70	7.5%	59	6.3%	1,382
訪問看護ステーション	408	60	14.7%	4	1.0%	31	7.6%	193	47.3%	190	46.6%	114	27.9%	144	35.3%	30	7.4%	766
介護老人保健施設	73	6	8.2%	1	1.4%	6	8.2%	18	24.7%	33	45.2%	42	57.5%	10	13.7%	3	4.1%	119
介護老人福祉施設	153	12	7.8%	3	2.0%	12	7.8%	26	17.0%	48	31.4%	107	69.9%	10	6.5%	10	6.5%	228
介護医療院	22	5	22.7%	1	4.5%	1	4.5%	9	40.9%	9	40.9%	11	50.0%	3	13.6%	1	4.5%	40
障がい児・者施設等	75	8	10.7%	0	0.0%	3	4.0%	8	10.7%	10	13.3%	52	69.3%	3	4.0%	6	8.0%	90
その他	17	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	17.6%	3	17.6%	6	35.3%	2	11.8%	6	35.3%	20
無回答	5	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	3	60.0%	3	60.0%	1	20.0%	0	0.0%	8
計	1,931	155	8.0%	30	1.6%	147	7.6%	488	25.3%	837	43.3%	983	50.9%	283	14.7%	136	7.0%	3,059

Ⅲ 勤務環境について

問8 「子育てと仕事の両立支援」「介護と仕事の両立支援」の実施状況(複数回答)

① 「子育てと仕事の両立支援」「介護と仕事の両立支援」の実施状況 × 施設区分

施設区分	調査参加施設数	勤務希望のシフト調整を行っている		法定に上乗せした育児休業制度がある		院内保育所がある		保育所に支払う保育費の補助を行っている		学童保育がある		短時間勤務制度がある	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
病院(400床以上)	22	17	77.3%	5	22.7%	14	63.6%	1	4.5%	0	0.0%	14	63.6%
病院(200～399床)	63	52	82.5%	16	25.4%	29	46.0%	7	11.1%	0	0.0%	50	79.4%
病院(200床未満)	130	120	92.3%	16	12.3%	34	26.2%	21	16.2%	2	1.5%	104	80.0%
有床診療所	114	92	80.7%	13	11.4%	3	2.6%	1	0.9%	0	0.0%	57	50.0%
無床診療所	996	627	63.0%	61	6.1%	8	0.8%	20	2.0%	6	0.6%	279	28.0%
訪問看護ステーション	449	418	93.1%	57	12.7%	42	9.4%	9	2.0%	2	0.4%	221	49.2%
介護老人保健施設	84	80	95.2%	22	26.2%	26	31.0%	5	6.0%	0	0.0%	60	71.4%
介護老人福祉施設	191	167	87.4%	36	18.8%	21	11.0%	10	5.2%	0	0.0%	115	60.2%
介護医療院	23	22	95.7%	5	21.7%	9	39.1%	1	4.3%	0	0.0%	16	69.6%
障がい児・者施設等	81	62	76.5%	9	11.1%	7	8.6%	0	0.0%	2	2.5%	60	74.1%
その他	22	17	77.3%	5	22.7%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	7	31.8%
無回答	26	8	30.8%	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	11.5%
計	2,201	1,682	76.4%	245	11.1%	195	8.9%	75	3.4%	12	0.5%	986	44.8%

施設区分	調査参加施設数	介護休業制度がある		法定5日を超える介護休暇制度がある		フレックスタイム制または時差出勤を導入している		介護に関する費用の助成を行っている		その他		上記に示すいずれの制度もない		計
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数
病院(400床以上)	22	15	68.2%	4	18.2%	3	13.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	73
病院(200～399床)	63	50	79.4%	14	22.2%	15	23.8%	1	1.6%	5	7.9%	0	0.0%	239
病院(200床未満)	130	101	77.7%	25	19.2%	19	14.6%	1	0.8%	2	1.5%	0	0.0%	445
有床診療所	114	46	40.4%	6	5.3%	19	16.7%	0	0.0%	7	6.1%	12	10.5%	256
無床診療所	996	163	16.4%	44	4.4%	106	10.6%	3	0.3%	59	5.9%	202	20.3%	1,578
訪問看護ステーション	449	196	43.7%	60	13.4%	123	27.4%	7	1.6%	20	4.5%	11	2.4%	1,166
介護老人保健施設	84	63	75.0%	17	20.2%	14	16.7%	4	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	291
介護老人福祉施設	191	151	79.1%	40	20.9%	15	7.9%	3	1.6%	3	1.6%	4	2.1%	565
介護医療院	23	14	60.9%	2	8.7%	4	17.4%	0	0.0%	1	4.3%	1	4.3%	75
障がい児・者施設等	81	71	87.7%	15	18.5%	8	9.9%	0	0.0%	3	3.7%	0	0.0%	237
その他	22	9	40.9%	3	13.6%	2	9.1%	2	9.1%	2	9.1%	1	4.5%	49
無回答	26	2	7.7%	1	3.8%	1	3.8%	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	17
計	2,201	881	40.0%	231	10.5%	329	14.9%	21	1.0%	103	4.7%	231	10.5%	4,991

IV 看護職員の確保について

問9 貴施設における看護職員の求人方法(複数回答)

① 施設における看護職員の求人方法 × 施設区分

施設区分	調査参加施設数	ハローワークへの求人		ナースセンターへの求人 (e-ナースセンター)		民間の有料職業紹介会社への求人		法人、施設等のホームページへの掲載		就職懇談会・説明会への参加		広報 (チラシ、新聞・雑誌・市町村広報誌への掲載等)		大学、養成所等への募集案内、巡回		その他		合計
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
病院(400床以上)	22	13	59.1%	11	50.0%	8	36.4%	13	59.1%	13	59.1%	5	22.7%	11	50.0%	1	4.5%	75
病院(200～399床)	63	47	74.6%	18	28.6%	33	52.4%	54	85.7%	34	54.0%	11	17.5%	30	47.6%	5	7.9%	232
病院(200床未満)	130	124	95.4%	70	53.8%	97	74.6%	107	82.3%	44	33.8%	29	22.3%	45	34.6%	10	7.7%	526
有床診療所	114	104	91.2%	22	19.3%	41	36.0%	34	29.8%	2	1.8%	22	19.3%	9	7.9%	8	7.0%	242
無床診療所	996	866	86.9%	202	20.3%	355	35.6%	196	19.7%	13	1.3%	117	11.7%	33	3.3%	107	10.7%	1,889
訪問看護ステーション	449	382	85.1%	98	21.8%	201	44.8%	214	47.7%	25	5.6%	52	11.6%	14	3.1%	82	18.3%	1,068
介護老人保健施設	84	80	95.2%	22	26.2%	53	63.1%	51	60.7%	13	15.5%	13	15.5%	9	10.7%	5	6.0%	246
介護老人福祉施設	191	185	96.9%	37	19.4%	79	41.4%	108	56.5%	24	12.6%	46	24.1%	8	4.2%	16	8.4%	503
介護医療院	23	23	100.0%	10	43.5%	17	73.9%	19	82.6%	7	30.4%	3	13.0%	5	21.7%	2	8.7%	86
障がい児・者施設等	81	72	88.9%	11	13.6%	30	37.0%	43	53.1%	17	21.0%	13	16.0%	10	12.3%	6	7.4%	202
その他	22	15	68.2%	1	4.5%	9	40.9%	8	36.4%	1	4.5%	1	4.5%	0	0.0%	4	18.2%	39
無回答	26	8	30.8%	5	19.2%	5	19.2%	6	23.1%	2	7.7%	2	7.7%	1	3.8%	1	3.8%	30
計	2,201	1,919	87.2%	507	23.0%	928	42.2%	853	38.8%	195	8.9%	314	14.3%	175	8.0%	247	11.2%	5,138

問11 施設が考える看護職員の離職理由(3つまで選択)

① 看護職員の離職理由 × 施設区分

施設区分	調査参加施設数	職員間の人間関係		結婚		妊娠・出産・子育て		転居		自分の適性・能力への不安		自分の健康 (身体的・精神的理由)		スキルアップの機会が少ない	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
病院(400床以上)	22	3	13.6%	10	45.5%	7	31.8%	4	18.2%	1	4.5%	9	40.9%	0	0.0%
病院(200～399床)	63	27	42.9%	12	19.0%	11	17.5%	8	12.7%	11	17.5%	24	38.1%	7	11.1%
病院(200床未満)	130	60	46.2%	18	13.8%	23	17.7%	38	29.2%	27	20.8%	37	28.5%	15	11.5%
有床診療所	114	49	43.0%	14	12.3%	27	23.7%	26	22.8%	23	20.2%	33	28.9%	8	7.0%
無床診療所	996	417	41.9%	145	14.6%	261	26.2%	291	29.2%	150	15.1%	195	19.6%	31	3.1%
訪問看護ステーション	449	151	33.6%	24	5.3%	66	14.7%	58	12.9%	135	30.1%	132	29.4%	30	6.7%
介護老人保健施設	84	48	57.1%	5	6.0%	8	9.5%	9	10.7%	10	11.9%	37	44.0%	6	7.1%
介護老人福祉施設	191	131	68.6%	6	3.1%	11	5.8%	17	8.9%	37	19.4%	69	36.1%	13	6.8%
介護医療院	23	12	52.2%	1	4.3%	1	4.3%	3	13.0%	3	13.0%	17	73.9%	0	0.0%
障がい児・者施設等	81	38	46.9%	7	8.6%	11	13.6%	5	6.2%	20	24.7%	22	27.2%	4	4.9%
その他	22	6	27.3%	4	18.2%	4	18.2%	4	18.2%	3	13.6%	3	13.6%	4	18.2%
無回答	26	4	15.4%	0	0.0%	3	11.5%	1	3.8%	1	3.8%	1	3.8%	0	0.0%
計	2,201	946	43.0%	246	11.2%	433	19.7%	464	21.1%	421	19.1%	579	26.3%	118	5.4%

施設区分	調査参加施設数	勤務時間が長い・超過勤務が多い・多忙		夜勤の負担・不安が大きい		リフレッシュのため		他職場への関心、再就職		親族の健康問題・介護		その他		計
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
病院(400床以上)	22	3	13.6%	3	13.6%	1	4.5%	9	40.9%	0	0.0%	1	4.5%	51
病院(200～399床)	63	9	14.3%	5	7.9%	1	1.6%	35	55.6%	4	6.3%	8	12.7%	162
病院(200床未満)	130	20	15.4%	9	6.9%	1	0.8%	74	56.9%	14	10.8%	8	6.2%	344
有床診療所	114	4	3.5%	4	3.5%	1	0.9%	37	32.5%	24	21.1%	6	5.3%	256
無床診療所	996	65	6.5%	6	0.6%	17	1.7%	222	22.3%	199	20.0%	68	6.8%	2,067
訪問看護ステーション	449	54	12.0%	37	8.2%	8	1.8%	157	35.0%	89	19.8%	41	9.1%	982
介護老人保健施設	84	9	10.7%	18	21.4%	0	0.0%	33	39.3%	12	14.3%	5	6.0%	200
介護老人福祉施設	191	11	5.8%	7	3.7%	1	0.5%	54	28.3%	29	15.2%	16	8.4%	402
介護医療院	23	5	21.7%	0	0.0%	1	4.3%	13	56.5%	1	4.3%	2	8.7%	59
障がい児・者施設等	81	4	4.9%	2	2.5%	3	3.7%	28	34.6%	13	16.0%	6	7.4%	163
その他	22	0	0.0%	0	0.0%	1	4.5%	9	40.9%	0	0.0%	3	13.6%	41
無回答	26	2	7.7%	2	7.7%	0	0.0%	4	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	18
計	2,201	186	8.5%	93	4.2%	35	1.6%	675	30.7%	385	17.5%	164	7.5%	4,745

問12 55歳以上の看護職員の活用状況について

(2) 定年制の導入・延長や再任用の有無。

① 定年制の導入・延長 × 施設区分

施設区分	調査参加施設数	定年制								再任用							
		定年制あり		定年上限年齢	定年制なし		定年制今後導入予定あり		今後導入した場合の上限年齢	再任用あり		再任用上限年齢	再任用なし		再任用今後導入予定あり		再任用今後導入した場合の上限年齢
		回答数	割合		回答数	割合	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	回答数	割合	
病院(400床以上)	22	15	68.2%	60.6	1	4.5%	5	22.7%	64.0	13	59.1%	65.2	2	9.1%	0	0.0%	0.0
病院(200～399床)	63	49	77.8%	60.8	0	0.0%	9	14.3%	65.0	42	66.7%	67.0	3	4.8%	6	9.5%	69.4
病院(200床未満)	130	112	86.2%	61.0	3	2.3%	17	13.1%	65.0	98	75.4%	65.8	11	8.5%	13	10.0%	69.5
有床診療所	114	85	74.6%	61.4	7	6.1%	21	18.4%	67.9	58	50.9%	66.3	10	8.8%	15	13.2%	70.8
無床診療所	996	409	41.1%	61.4	91	9.1%	100	10.0%	66.1	250	25.1%	66.2	98	9.8%	72	7.2%	69.2
訪問看護ステーション	449	231	51.4%	62.8	49	10.9%	72	16.0%	67.5	154	34.3%	67.5	58	12.9%	40	8.9%	71.0
介護老人保健施設	84	63	75.0%	61.8	5	6.0%	10	11.9%	66.7	63	75.0%	67.5	9	10.7%	11	13.1%	70.5
介護老人福祉施設	191	147	77.0%	62.2	5	2.6%	28	14.7%	66.2	116	60.7%	67.9	10	5.2%	17	8.9%	71.4
介護医療院	23	19	82.6%	60.8	1	4.3%	5	21.7%	65.0	17	73.9%	67.8	3	13.0%	3	13.0%	70.0
障がい児・者施設等	81	56	69.1%	61.5	0	0.0%	6	7.4%	66.2	47	58.0%	67.1	3	3.7%	4	4.9%	73.8
その他	22	7	31.8%	64.3	2	9.1%	0	0.0%	0.0	3	13.6%	65.0	2	9.1%	1	4.5%	0.0
無回答	26	2	7.7%	60.0	1	3.8%	0	0.0%	0.0	7	26.9%	66.7	1	3.8%	2	7.7%	0.0
計	2,201	1,195	54.3%	61.4	165	7.5%	273	12.4%	66.2	868	39.4%	67.0	210	9.5%	184	8.4%	70.5

V 看護補助者の確保について

問13 貴施設における看護補助者の勤務状況についてお伺いします。

(1) 貴施設における看護補助者(正規雇用・非正規雇用)の採用・退職の状況

※退職者には、非常勤の補助者の雇用契約終了又は派遣職員の補助者の派遣終了に伴う退職者を含む。

① 看護職員を雇用していると回答した施設の数

施設区分	調査参施設数	看護補助者を雇用していると回答した施設	割合
病院(400床以上)	22	15	68.2%
病院(200～399床)	63	50	79.4%
病院(200床未満)	130	110	84.6%
有床診療所	114	65	57.0%
無床診療所	996	120	12.0%
訪問看護ステーション	449	54	12.0%
介護老人保健施設	84	18	21.4%
介護老人福祉施設	191	19	9.9%
介護医療院	23	18	78.3%
障がい児・者施設等	81	12	14.8%
その他	22	1	4.5%
無回答	26	2	7.7%
計	2201	484	22.0%

(2) 過去一年間の貴施設における看護補助者の確保状況

① 看護補助者の確保状況 × 施設区分

施設区分	項目								計
	困っていない		時期や状況によって困ることがある		年間を通して困っている		無回答		
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
病院(400床以上)	3	13.6%	11	50.0%	6	27.3%	2	9.1%	22
病院(200～399床)	15	23.8%	29	46.0%	19	30.2%	0	0.0%	63
病院(200床未満)	13	10.0%	59	45.4%	57	43.8%	1	0.8%	130
有床診療所	37	32.5%	46	40.4%	30	26.3%	1	0.9%	114
無床診療所	540	54.2%	325	32.6%	120	12.0%	11	1.1%	996
訪問看護ステーション	142	31.6%	215	47.9%	91	20.3%	1	0.2%	449
介護老人保健施設	22	26.2%	30	35.7%	32	38.1%	0	0.0%	84
介護老人福祉施設	72	37.7%	70	36.6%	49	25.7%	0	0.0%	191
介護医療院	6	26.1%	7	30.4%	10	43.5%	0	0.0%	23
障がい児・者施設等	39	48.1%	28	34.6%	13	16.0%	1	1.2%	81
その他	11	50.0%	5	22.7%	5	22.7%	1	4.5%	22
無回答	6	23.1%	1	3.8%	2	7.7%	17	65.4%	26
計	906	41.2%	826	37.5%	434	19.7%	35	1.6%	2,201

4 看護職員調査(クロス集計)

I 職場選択の考え方について

問1 現在の仕事の満足度

① 職場の満足度 × 年齢階級

年齢階級	現在の職場の満足度										
	満足		やや満足		やや不満		不満		無回答		計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
25歳未満	113	13.4%	468	55.6%	200	23.8%	58	6.9%	3	0.4%	842
25～29歳	164	13.6%	643	53.4%	305	25.3%	87	7.2%	5	0.4%	1,204
30～34歳	122	12.7%	482	50.2%	276	28.8%	78	8.1%	2	0.2%	960
35～39歳	144	14.3%	474	47.2%	284	28.3%	102	10.1%	1	0.1%	1,005
40～44歳	178	12.9%	698	50.5%	397	28.7%	103	7.5%	6	0.4%	1,382
45～49歳	219	14.4%	787	51.8%	381	25.1%	120	7.9%	11	0.7%	1,518
50～54歳	203	15.0%	642	47.6%	376	27.9%	119	8.8%	9	0.7%	1,349
55～59歳	183	18.0%	489	48.1%	268	26.4%	74	7.3%	2	0.2%	1,016
60～64歳	118	19.6%	275	45.6%	164	27.2%	41	6.8%	5	0.8%	603
65～69歳	52	25.7%	100	49.5%	38	18.8%	10	4.9%	2	1.0%	202
70歳以上	28	36.4%	40	52.0%	7	9.1%	1	1.3%	1	1.3%	77
無回答	7	14.0%	8	16.0%	8	16.0%	3	6.0%	24	48.0%	50
計	1,531	15.0%	5,106	50.0%	2,704	26.5%	796	7.8%	71	0.7%	10,208

II 看護職員として生涯働くことのできる要件や働きやすい職場環境について

問5 看護職員として働き続けるために、必要だと思う条件や仕事の負担について、お伺いします。

(3) 令和5年に改正された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針(厚生労働省医政局長等通知)」について

① 看護師等の確保を促進するための基本的な指針の周知 × 年齢階級

年齢階級	55歳以上の看護職員就業促進を知っている							
	はい		いいえ		無回答		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
25歳未満	149	17.7%	684	81.2%	9	1.1%	842	8.2%
25～29歳	225	18.7%	975	81.0%	4	0.3%	1,204	11.8%
30～34歳	206	21.5%	749	78.0%	5	0.5%	960	9.4%
35～39歳	206	20.5%	791	78.7%	8	0.8%	1,005	9.8%
40～44歳	350	25.3%	1,022	73.9%	10	0.7%	1,382	13.5%
45～49歳	422	27.8%	1,079	71.1%	17	1.1%	1,518	14.9%
50～54歳	445	33.0%	896	66.4%	8	0.6%	1,349	13.2%
55～59歳	372	36.6%	633	62.3%	11	1.1%	1,016	10.0%
60～64歳	260	43.1%	336	55.7%	7	1.2%	603	5.9%
65～69歳	107	53.0%	93	46.0%	2	1.0%	202	2.0%
70歳以上	48	62.3%	28	36.4%	1	1.3%	77	0.8%
無回答	8	16.0%	16	32.0%	26	52.0%	50	0.5%
計	2,798	27.4%	7,302	71.5%	108	1.1%	10,208	100.0%

Ⅲ 労働日・労働時間について

問7 現在の職場でのあなたの勤務時間数・日数

(シフト勤務等で変動がある場合は、平均的な時間数・日数をご回答ください)

(1) 1日の平均的な勤務時間(残業を除く)について

① 1日の平均的な勤務時間(残業を除く)× 年齢階級

年齢階級	一日の平均的な勤務時間														
	4時間未満		4時間以上 6時間未満		6時間以上 8時間未満		8時間以上 10時間未満		10時間以上 12時間未満		12時間以上		無回答		合計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数
25歳未満	42	5.0%	13	1.5%	229	27.2%	510	60.6%	41	4.9%	6	0.7%	1	0.1%	842
25～29歳	54	4.5%	29	2.4%	372	30.9%	671	55.7%	57	4.7%	20	1.7%	1	0.1%	1,204
30～34歳	36	3.8%	41	4.3%	353	36.8%	476	49.6%	35	3.6%	19	2.0%	0	0.0%	960
35～39歳	44	4.4%	74	7.4%	404	40.2%	438	43.6%	34	3.4%	11	1.1%	0	0.0%	1,005
40～44歳	76	5.5%	97	7.0%	572	41.4%	581	42.0%	30	2.2%	23	1.7%	3	0.2%	1,382
45～49歳	83	5.5%	72	4.7%	629	41.4%	665	43.8%	55	3.6%	12	0.8%	2	0.1%	1,518
50～54歳	65	4.8%	60	4.4%	582	43.1%	589	43.7%	34	2.5%	15	1.1%	4	0.3%	1,349
55～59歳	55	5.4%	45	4.4%	464	45.7%	420	41.3%	25	2.5%	6	0.6%	1	0.1%	1,016
60～64歳	42	7.0%	36	6.0%	313	51.9%	202	33.5%	3	0.5%	5	0.8%	2	0.3%	603
65～69歳	19	9.4%	17	8.4%	109	54.0%	50	24.8%	0	0.0%	6	3.0%	1	0.5%	202
70歳以上	5	6.5%	14	18.2%	41	53.2%	14	18.2%	1	1.3%	1	1.3%	1	1.3%	77
無回答	1	2.0%	4	8.0%	9	18.0%	5	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	31	62.0%	50
計	522	5.1%	502	4.9%	4,077	39.9%	4,621	45.3%	315	3.1%	124	1.2%	47	0.5%	10,208

(2) 一週間に働く平均的な日数について

① 一週間に働く平均的な日数 × 施設区分

年齢階級	平均勤務日数/週											
	2日以内		3～4日		5日		6日以上		無回答		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
25歳未満	4	0.5%	376	44.7%	449	53.3%	11	1.3%	2	0.2%	842	8.2%
25～29歳	10	0.8%	388	32.2%	771	64.0%	33	2.7%	2	0.2%	1,204	11.8%
30～34歳	8	0.8%	237	24.7%	666	69.4%	43	4.5%	6	0.6%	960	9.4%
35～39歳	10	1.0%	231	23.0%	686	68.3%	76	7.6%	2	0.2%	1,005	9.8%
40～44歳	25	1.8%	252	18.2%	967	70.0%	135	9.8%	3	0.2%	1,382	13.5%
45～49歳	16	1.1%	227	15.0%	1,088	71.7%	182	12.0%	5	0.3%	1,518	14.9%
50～54歳	26	1.9%	172	12.8%	972	72.1%	175	13.0%	4	0.3%	1,349	13.2%
55～59歳	17	1.7%	147	14.5%	703	69.2%	149	14.7%	0	0.0%	1,016	10.0%
60～64歳	17	2.8%	118	19.6%	388	64.3%	79	13.1%	1	0.2%	603	5.9%
65～69歳	18	8.9%	68	33.7%	95	47.0%	21	10.4%	0	0.0%	202	2.0%
70歳以上	3	3.9%	40	51.9%	27	35.1%	5	6.5%	2	2.6%	77	0.8%
無回答	0	0.0%	7	14.0%	12	24.0%	2	4.0%	29	58.0%	50	0.5%
計	154	1.5%	2,263	22.2%	6,824	66.8%	911	8.9%	56	0.5%	10,208	100.0%

IV 資質向上について

問8 あなたの職場における看護職員の資質向上のための取組状況について、お伺いします。

(1) 研修を受講する機会がありますか。(外部研修を含む)

① 研修を受講する機会 × 施設区分

施設区分	研修受講機会の有無							
	ある		ない		無回答		計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
病院(400床以上)	2,205	87.8%	289	11.5%	17	0.7%	2,511	24.6%
病院(200～399床)	1,683	81.7%	367	17.8%	9	0.4%	2,059	20.2%
病院(200床未満)	1,314	82.1%	282	17.6%	5	0.3%	1,601	15.7%
有床診療所	130	48.0%	140	51.7%	1	0.4%	271	2.7%
無床診療所	583	34.9%	1,073	64.2%	14	0.8%	1,670	16.4%
訪問看護ステーション	809	80.5%	188	18.7%	8	0.8%	1,005	9.8%
介護老人保健施設	159	72.6%	58	26.5%	2	0.9%	219	2.1%
介護老人福祉施設	203	69.0%	85	28.9%	6	2.0%	294	2.9%
介護医療院	54	63.5%	29	34.1%	2	2.4%	85	0.8%
障がい児・者施設等	90	69.2%	40	30.8%	0	0.0%	130	1.3%
その他	109	49.1%	111	50.0%	2	0.9%	222	2.2%
無回答	80	56.7%	36	25.5%	25	17.7%	141	1.4%
計	7,419	72.7%	2,698	26.4%	91	0.9%	10,208	100.0%

② 研修を受講する機会 × 年齢階級

年齢階級	研修受講機会の有無							
	ある		ない		無回答		計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
25歳未満	701	83.3%	139	16.5%	2	0.2%	842	8.2%
25～29歳	928	77.1%	272	22.6%	4	0.3%	1,204	11.8%
30～34歳	704	73.3%	253	26.3%	3	0.3%	960	9.4%
35～39歳	724	72.0%	275	27.4%	6	0.6%	1,005	9.8%
40～44歳	1,002	72.5%	370	26.8%	10	0.7%	1,382	13.5%
45～49歳	1,123	74.0%	390	25.7%	5	0.3%	1,518	14.9%
50～54歳	974	72.2%	359	26.6%	16	1.2%	1,349	13.2%
55～59歳	719	70.8%	294	28.9%	3	0.3%	1,016	10.0%
60～64歳	381	63.2%	214	35.5%	8	1.3%	603	5.9%
65～69歳	110	54.5%	91	45.1%	1	0.5%	202	2.0%
70歳以上	40	52.0%	34	44.2%	3	3.9%	77	0.8%
無回答	13	26.0%	7	14.0%	30	60.0%	50	0.5%
計	7,419	72.7%	2,698	26.4%	91	0.9%	10,208	100.0%

(3) 県では新人看護職員の指導者となる看護職員の資質向上のため、「新人看護職員研修責任者研修」「新人看護職員教育担当者研修」「新人看護職員実地指導者研修」を開催(県看護協会が委託を受け実施)していますが、受講したことがありますか。

① 新人看護職員の指導者となる研修の受講はあるか × 年齢階級

年齢階級	新人指導者研修受講の有無						
	ある		ない		無回答		合計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
25歳未満	227	27.0%	614	72.9%	1	0.1%	842
25～29歳	306	25.4%	893	74.2%	5	0.4%	1,204
30～34歳	236	24.6%	717	74.7%	7	0.7%	960
35～39歳	237	23.6%	763	75.9%	5	0.5%	1,005
40～44歳	295	21.3%	1,068	77.3%	19	1.4%	1,382
45～49歳	327	21.5%	1,180	77.7%	11	0.7%	1,518
50～54歳	268	19.9%	1,067	79.1%	14	1.0%	1,349
55～59歳	174	17.1%	835	82.2%	7	0.7%	1,016
60～64歳	83	13.8%	512	84.9%	8	1.3%	603
65～69歳	32	15.8%	167	82.7%	3	1.5%	202
70歳以上	7	9.1%	65	84.4%	5	6.5%	77
無回答	4	8.0%	14	28.0%	32	64.0%	50
計	2,196	21.5%	7,895	77.3%	117	1.1%	10,208

(4) (3)で「2 ない」と回答した方にお伺いします。

受講していない理由で当てはまるもの全てを選択してください。

年齢階級	ないと回答した人数	受講していない理由								
		新人の入職がない		研修を受講できる教育体制がない		人手不足で外部研修を受けられない		その他		合計
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
25歳未満	614	17	2.8%	36	5.9%	29	4.7%	526	85.7%	608
25～29歳	893	74	8.3%	90	10.1%	71	8.0%	670	75.0%	905
30～34歳	717	105	14.6%	95	13.2%	64	8.9%	481	67.1%	745
35～39歳	763	125	16.4%	122	16.0%	103	13.5%	485	63.6%	835
40～44歳	1,068	213	19.9%	171	16.0%	119	11.1%	645	60.4%	1,148
45～49歳	1,180	264	22.4%	215	18.2%	152	12.9%	647	54.8%	1,278
50～54歳	1,067	265	24.8%	184	17.2%	150	14.1%	594	55.7%	1,193
55～59歳	835	268	32.1%	164	19.6%	113	13.5%	397	47.5%	942
60～64歳	512	138	27.0%	100	19.5%	64	12.5%	266	52.0%	568
65～69歳	167	47	28.1%	31	18.6%	21	12.6%	78	46.7%	177
70歳以上	65	15	23.1%	13	20.0%	10	15.4%	29	44.6%	67
無回答	14	3	21.4%	1	7.1%	3	21.4%	8	57.1%	15
計	7,895	1,534	19.4%	1,222	15.5%	899	11.4%	4,826	61.1%	8,481

(5) 下記の資格取得の状況と今後の予定について、当てはまるものを選択してください。

年齢階級	対象人数	特定行為研修修了								認定看護師							
		取得している		取得予定		取得予定なし		無回答		取得している		取得予定		取得予定なし		無回答	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
25歳未満	842	9	1.1%	19	2.3%	807	95.8%	7	0.8%	1	0.1%	24	2.9%	810	96.2%	7	0.8%
25～29歳	1,204	14	1.2%	23	1.9%	1,152	95.7%	15	1.2%	5	0.4%	17	1.4%	1,167	96.9%	15	1.2%
30～34歳	960	18	1.9%	21	2.2%	909	94.7%	12	1.3%	6	0.6%	18	1.9%	927	96.6%	9	0.9%
35～39歳	1,005	41	4.1%	19	1.9%	924	91.9%	21	2.1%	18	1.8%	16	1.6%	950	94.5%	21	2.1%
40～44歳	1,382	27	2.0%	25	1.8%	1,288	93.2%	42	3.0%	46	3.3%	15	1.1%	1,275	92.3%	46	3.3%
45～49歳	1,518	35	2.3%	32	2.1%	1,402	92.4%	49	3.2%	51	3.4%	14	0.9%	1,404	92.5%	49	3.2%
50～54歳	1,349	44	3.3%	14	1.0%	1,230	91.2%	61	4.5%	46	3.4%	6	0.4%	1,238	91.8%	59	4.4%
55～59歳	1,016	25	2.5%	6	0.6%	918	90.3%	67	6.6%	41	4.0%	3	0.3%	908	89.4%	64	6.3%
60～64歳	603	10	1.7%	3	0.5%	548	90.9%	42	7.0%	21	3.5%	2	0.3%	544	90.2%	36	6.0%
65～69歳	202	8	4.0%	3	1.5%	173	85.6%	18	8.9%	4	2.0%	0	0.0%	181	89.6%	17	8.4%
70歳以上	77	2	2.6%	1	1.3%	62	80.5%	12	15.6%	3	3.9%	0	0.0%	61	79.2%	13	16.9%
無回答	50	0	0.0%	1	2.0%	11	22.0%	38	76.0%	0	0.0%	1	2.0%	11	22.0%	38	76.0%
計	10,208	233	2.3%	167	1.6%	9,424	92.3%	384	3.8%	242	2.4%	116	1.1%	9,476	92.8%	374	3.7%

年齢階級	対象人数	専門看護師								認定看護管理者							
		取得している		取得予定		取得予定なし		無回答		取得している		取得予定		取得予定なし		無回答	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
25歳未満	842	3	0.4%	17	2.0%	812	96.4%	10	1.2%	0	0.0%	8	0.9%	826	98.1%	8	1.0%
25～29歳	1,204	2	0.2%	15	1.2%	1,172	97.3%	15	1.2%	3	0.2%	6	0.5%	1,176	97.7%	19	1.6%
30～34歳	960	2	0.2%	11	1.1%	938	97.7%	9	0.9%	0	0.0%	6	0.6%	945	98.4%	9	0.9%
35～39歳	1,005	6	0.6%	8	0.8%	969	96.4%	22	2.2%	7	0.7%	14	1.4%	962	95.7%	22	2.2%
40～44歳	1,382	8	0.6%	8	0.6%	1,314	95.1%	52	3.8%	35	2.5%	26	1.9%	1,271	92.0%	50	3.6%
45～49歳	1,518	17	1.1%	6	0.4%	1,444	95.1%	51	3.4%	43	2.8%	33	2.2%	1,381	91.0%	61	4.0%
50～54歳	1,349	13	1.0%	5	0.4%	1,269	94.1%	62	4.6%	52	3.9%	28	2.1%	1,205	89.3%	64	4.7%
55～59歳	1,016	14	1.4%	2	0.2%	934	91.9%	66	6.5%	44	4.3%	8	0.8%	898	88.4%	66	6.5%
60～64歳	603	7	1.2%	0	0.0%	555	92.0%	41	6.8%	18	3.0%	3	0.5%	544	90.2%	38	6.3%
65～69歳	202	1	0.5%	0	0.0%	184	91.1%	17	8.4%	4	2.0%	0	0.0%	180	89.1%	18	8.9%
70歳以上	77	2	2.6%	1	1.3%	62	80.5%	12	15.6%	1	1.3%	0	0.0%	63	81.8%	13	16.9%
無回答	50	1	2.0%	1	2.0%	10	20.0%	38	76.0%	1	2.0%	1	2.0%	10	20.0%	38	76.0%
計	10,208	76	0.7%	74	0.7%	9,663	94.7%	395	3.9%	208	2.0%	133	1.3%	9,461	92.7%	406	4.0%

年齢階級	対象人数	診療看護師								アドバンス助産師							
		取得している		取得予定		取得予定なし		無回答		取得している		取得予定		取得予定なし		無回答	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
25歳未満	842	0	0.0%	9	1.1%	829	98.5%	4	0.5%	0	0.0%	11	1.3%	825	98.0%	6	0.7%
25～29歳	1,204	3	0.2%	5	0.4%	1,182	98.2%	14	1.2%	2	0.2%	20	1.7%	1,161	96.4%	21	1.7%
30～34歳	960	0	0.0%	6	0.6%	942	98.1%	12	1.3%	6	0.6%	7	0.7%	934	97.3%	13	1.4%
35～39歳	1,005	1	0.1%	4	0.4%	976	97.1%	24	2.4%	12	1.2%	9	0.9%	958	95.3%	26	2.6%
40～44歳	1,382	4	0.3%	3	0.2%	1,324	95.8%	51	3.7%	7	0.5%	4	0.3%	1,320	95.5%	51	3.7%
45～49歳	1,518	4	0.3%	4	0.3%	1,456	95.9%	54	3.6%	10	0.7%	1	0.1%	1,452	95.6%	55	3.6%
50～54歳	1,349	0	0.0%	3	0.2%	1,287	95.4%	59	4.4%	13	1.0%	2	0.1%	1,263	93.6%	71	5.3%
55～59歳	1,016	4	0.4%	2	0.2%	940	92.5%	70	6.9%	5	0.5%	2	0.2%	936	92.1%	73	7.2%
60～64歳	603	1	0.2%	1	0.2%	559	92.7%	42	7.0%	1	0.2%	1	0.2%	555	92.0%	46	7.6%
65～69歳	202	0	0.0%	0	0.0%	184	91.1%	18	8.9%	0	0.0%	0	0.0%	185	91.6%	17	8.4%
70歳以上	77	0	0.0%	0	0.0%	65	84.4%	12	15.6%	0	0.0%	0	0.0%	65	84.4%	12	15.6%
無回答	50	0	0.0%	1	2.0%	10	20.0%	39	78.0%	0	0.0%	1	2.0%	11	22.0%	38	76.0%
計	10,208	17	0.2%	38	0.4%	9,754	95.6%	399	3.9%	56	0.5%	58	0.6%	9,665	94.7%	429	4.2%

年齢階級	その他								
	対象人数	取得している		取得予定		取得予定なし		無回答	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
25歳未満	842	7	0.8%	2	0.2%	825	98.0%	8	1.0%
25～29歳	1,204	25	2.1%	8	0.7%	1,146	95.2%	25	2.1%
30～34歳	960	34	3.5%	18	1.9%	892	92.9%	16	1.7%
35～39歳	1,005	42	4.2%	13	1.3%	919	91.4%	31	3.1%
40～44歳	1,382	67	4.8%	21	1.5%	1,230	89.0%	64	4.6%
45～49歳	1,518	77	5.1%	20	1.3%	1,349	88.9%	72	4.7%
50～54歳	1,349	72	5.3%	12	0.9%	1,181	87.5%	84	6.2%
55～59歳	1,016	45	4.4%	7	0.7%	879	86.5%	85	8.4%
60～64歳	603	16	2.7%	0	0.0%	540	89.5%	47	7.8%
65～69歳	202	7	3.5%	0	0.0%	174	86.1%	21	10.4%
70歳以上	77	1	1.3%	0	0.0%	63	81.8%	13	16.9%
無回答	50	0	0.0%	0	0.0%	12	24.0%	38	76.0%
計	10,208	393	3.8%	101	1.0%	9,210	90.2%	504	4.9%

V あなた自身について

問13 あなたの就業形態について、お伺いします。(1つ選択)

① 就業形態 × 年齢階級

年齢階級	正規職員		非常勤職員 (契約職員、嘱託職員、パートなど)		無回答		計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
25歳未満	821	97.5%	9	1.1%	12	1.4%	842
25～29歳	1,137	94.4%	50	4.2%	17	1.4%	1,204
30～34歳	865	90.1%	87	9.1%	8	0.8%	960
35～39歳	828	82.4%	171	17.0%	6	0.6%	1,005
40～44歳	1,159	83.9%	214	15.5%	9	0.7%	1,382
45～49歳	1,306	86.0%	197	13.0%	15	1.0%	1,518
50～54歳	1,168	86.6%	172	12.7%	9	0.7%	1,349
55～59歳	899	88.5%	112	11.0%	5	0.5%	1,016
60～64歳	321	53.2%	279	46.3%	3	0.5%	603
65～69歳	62	30.7%	138	68.3%	2	1.0%	202
70歳以上	19	24.7%	57	74.0%	1	1.3%	77
無回答	15	30.0%	6	12.0%	29	58.0%	50
計	8,600	84.3%	1,492	14.6%	116	1.1%	10,208

問14 あなたの勤務形態について、お伺いします。(1つ選択)

① 勤務形態 × 年齢階級

年齢階級	2交代制		3交代制		宿直制		日勤のみ		日勤+オンコール		夜勤専従		その他		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
25歳未満	721	85.6%	67	8.0%	0	0.0%	25	3.0%	15	1.8%	1	0.1%	5	0.6%	8	0.9%
25～29歳	863	71.7%	53	4.4%	4	0.3%	211	17.5%	46	3.8%	6	0.5%	10	0.8%	11	0.9%
30～34歳	566	59.0%	31	3.2%	7	0.7%	263	27.4%	61	6.4%	7	0.7%	17	1.8%	8	0.8%
35～39歳	466	46.4%	23	2.3%	3	0.3%	399	39.7%	83	8.3%	1	0.1%	25	2.5%	5	0.5%
40～44歳	555	40.2%	38	2.7%	9	0.7%	606	43.8%	138	10.0%	5	0.4%	25	1.8%	6	0.4%
45～49歳	534	35.2%	38	2.5%	26	1.7%	658	43.3%	214	14.1%	4	0.3%	34	2.2%	10	0.7%
50～54歳	411	30.5%	45	3.3%	25	1.9%	603	44.7%	204	15.1%	6	0.4%	48	3.6%	7	0.5%
55～59歳	271	26.7%	23	2.3%	19	1.9%	527	51.9%	139	13.7%	5	0.5%	23	2.3%	9	0.9%
60～64歳	103	17.1%	18	3.0%	3	0.5%	365	60.5%	86	14.3%	6	1.0%	21	3.5%	1	0.2%
65～69歳	26	12.9%	8	4.0%	0	0.0%	119	58.9%	33	16.3%	7	3.5%	9	4.5%	0	0.0%
70歳以上	6	7.8%	0	0.0%	0	0.0%	58	75.3%	9	11.7%	1	1.3%	3	3.9%	0	0.0%
無回答	8	16.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	24.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	29	58.0%
計	4,530	44.4%	344	3.4%	96	0.9%	3,846	37.7%	1,028	10.1%	49	0.5%	221	2.2%	94	0.9%

問16 あなたの各種手当(夜勤手当、時間外手当、通勤手当、住居手当等)も含めた前月の総支給額はいくらですか。(1つ選択)

① 前月の総支給額(無回答を除く) × 年齢階級

年齢階級	20万円未満		20～25万円未満		25～30万円未満		30～35万円未満		35～40万円未満		40～45万円未満		45～50万円未満		50万円以上		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
25歳未満	86	10.2%	374	44.4%	252	29.9%	101	12.0%	22	2.6%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	6	0.7%
25～29歳	118	9.8%	361	30.0%	370	30.7%	216	17.9%	83	6.9%	38	3.2%	2	0.2%	1	0.1%	15	1.2%
30～34歳	147	15.3%	218	22.7%	267	27.8%	206	21.5%	72	7.5%	33	3.4%	7	0.7%	1	0.1%	9	0.9%
35～39歳	221	22.0%	209	20.8%	249	24.8%	157	15.6%	112	11.1%	36	3.6%	8	0.8%	2	0.2%	11	1.1%
40～44歳	266	19.2%	267	19.3%	321	23.2%	247	17.9%	151	10.9%	83	6.0%	22	1.6%	12	0.9%	13	0.9%
45～49歳	247	16.3%	324	21.3%	339	22.3%	283	18.6%	149	9.8%	104	6.9%	38	2.5%	19	1.3%	15	1.0%
50～54歳	219	16.2%	260	19.3%	310	23.0%	256	19.0%	132	9.8%	81	6.0%	47	3.5%	22	1.6%	22	1.6%
55～59歳	152	15.0%	233	22.9%	220	21.7%	183	18.0%	110	10.8%	52	5.1%	31	3.1%	16	1.6%	19	1.9%
60～64歳	191	31.7%	159	26.4%	124	20.6%	59	9.8%	24	4.0%	14	2.3%	9	1.5%	11	1.8%	12	2.0%
65～69歳	99	49.0%	52	25.7%	23	11.4%	12	5.9%	7	3.5%	1	0.5%	2	1.0%	3	1.5%	3	1.5%
70歳以上	42	54.6%	17	22.1%	7	9.1%	6	7.8%	1	1.3%	0	0.0%	1	1.3%	1	1.3%	2	2.6%
無回答	5	10.0%	8	16.0%	4	8.0%	1	2.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	31	62.0%
計	1,793	17.6%	2,482	24.3%	2,486	24.4%	1,727	16.9%	863	8.5%	444	4.3%	167	1.6%	88	0.9%	158	1.5%

② 前月の総支給額(無回答を除く) × 施設区分

施設区分	20万円未満		20～25万円未満		25～30万円未満		30～35万円未満		35～40万円未満		40～45万円未満		45～50万円未満		50万円以上		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
病院(400床以上)	224	8.9%	423	16.8%	611	24.3%	574	22.9%	351	14.0%	202	8.0%	78	3.1%	29	1.2%	19	0.8%
病院(200～399床)	202	9.8%	532	25.8%	549	26.7%	397	19.3%	184	8.9%	116	5.6%	41	2.0%	22	1.1%	16	0.8%
病院(200床未満)	245	15.3%	410	25.6%	446	27.9%	269	16.8%	120	7.5%	62	3.9%	30	1.9%	9	0.6%	10	0.6%
有床診療所	59	21.8%	72	26.6%	68	25.1%	38	14.0%	20	7.4%	9	3.3%	2	0.7%	1	0.4%	2	0.7%
無床診療所	647	38.7%	510	30.5%	294	17.6%	115	6.9%	59	3.5%	10	0.6%	3	0.2%	10	0.6%	22	1.3%
訪問看護ステーション	178	17.7%	213	21.2%	280	27.9%	196	19.5%	79	7.9%	26	2.6%	8	0.8%	12	1.2%	13	1.3%
介護老人保健施設	48	21.9%	70	32.0%	45	20.5%	36	16.4%	14	6.4%	2	0.9%	0	0.0%	1	0.5%	3	1.4%
介護老人福祉施設	74	25.2%	99	33.7%	76	25.9%	28	9.5%	4	1.4%	5	1.7%	1	0.3%	1	0.3%	6	2.0%
介護医療院	14	16.5%	29	34.1%	23	27.1%	12	14.1%	4	4.7%	2	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%
障がい児・者施設等	18	13.8%	45	34.6%	37	28.5%	17	13.1%	4	3.1%	5	3.8%	0	0.0%	1	0.8%	3	2.3%
その他	63	28.4%	49	22.1%	42	18.9%	38	17.1%	20	9.0%	5	2.3%	4	1.8%	1	0.5%	0	0.0%
無回答	21	14.9%	30	21.3%	15	10.6%	7	5.0%	4	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	63	44.7%
計	1,793	17.6%	2,482	24.3%	2,486	24.4%	1,727	16.9%	863	8.5%	444	4.3%	167	1.6%	88	0.9%	158	1.5%

③ 前月の総支給額(無回答を除く) × 職種

職種	20万円未満		20～25万円未満		25～30万円未満		30～35万円未満		35～40万円未満		40～45万円未満		45～50万円未満		50万円以上		無回答		計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
保健師	3	7.9%	9	23.7%	14	36.8%	5	13.2%	4	10.5%	1	2.6%	1	2.6%	0	0.0%	1	2.6%	38	0.4%
助産師	19	11.7%	13	8.0%	30	18.4%	48	29.5%	33	20.2%	14	8.6%	4	2.5%	1	0.6%	1	0.6%	163	1.6%
看護師	1,273	14.7%	1,980	22.9%	2,233	25.9%	1,602	18.6%	798	9.2%	421	4.9%	159	1.8%	82	0.9%	82	1.0%	8,630	84.5%
准看護師	479	38.8%	462	37.4%	189	15.3%	60	4.9%	20	1.6%	4	0.3%	0	0.0%	4	0.3%	16	1.3%	1,234	12.1%
無回答	19	13.3%	18	12.6%	20	14.0%	12	8.4%	8	5.6%	4	2.8%	3	2.1%	1	0.7%	58	40.6%	143	1.4%
計	1,793	17.6%	2,482	24.3%	2,486	24.4%	1,727	16.9%	863	8.5%	444	4.3%	167	1.6%	88	0.9%	158	1.5%	10,208	100.0%

問17 あなたの今後の勤務希望についてお伺いします。

あなたのキャリアを考えたときに、10年後、どのような職場で働いていると考えますか。

① 10年後の勤務希望 × 年齢階級

年齢階級	病院 (400床以上)		病院 (200～399床)		病院 (200床未満)		有床診療所		無床診療所		訪問看護 ステーション		介護老人 保健施設		介護老人福祉施設	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
25歳未満	232	27.6%	203	24.1%	78	9.3%	11	1.3%	44	5.2%	42	5.0%	5	0.6%	6	0.7%
25～29歳	255	21.2%	189	15.7%	147	12.2%	17	1.4%	112	9.3%	99	8.2%	19	1.6%	11	0.9%
30～34歳	174	18.1%	137	14.3%	114	11.9%	16	1.7%	137	14.3%	98	10.2%	16	1.7%	19	2.0%
35～39歳	166	16.5%	126	12.5%	133	13.2%	20	2.0%	145	14.4%	131	13.0%	16	1.6%	20	2.0%
40～44歳	187	13.5%	182	13.2%	168	12.2%	27	2.0%	245	17.7%	149	10.8%	30	2.2%	29	2.1%
45～49歳	145	9.6%	165	10.9%	190	12.5%	29	1.9%	305	20.1%	200	13.2%	31	2.0%	49	3.2%
50～54歳	55	4.1%	89	6.6%	113	8.4%	18	1.3%	223	16.5%	140	10.4%	37	2.7%	53	3.9%
55～59歳	12	1.2%	29	2.9%	47	4.6%	17	1.7%	116	11.4%	68	6.7%	29	2.9%	30	3.0%
60～64歳	7	1.2%	5	0.8%	22	3.6%	5	0.8%	48	8.0%	30	5.0%	12	2.0%	24	4.0%
65～69歳	0	0.0%	4	2.0%	5	2.5%	1	0.5%	5	2.5%	7	3.5%	4	2.0%	3	1.5%
70歳以上	0	0.0%	1	1.3%	2	2.6%	0	0.0%	4	5.2%	1	1.3%	1	1.3%	2	2.6%
無回答	2	4.0%	1	2.0%	3	6.0%	1	2.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.0%
計	1,235	12.1%	1,131	11.1%	1,022	10.0%	162	1.6%	1,385	13.6%	965	9.5%	200	2.0%	248	2.4%

年齢階級	介護医療院		障がい児・者 施設等		看護業務以外の職場		働いていない		その他		無回答		計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
25歳未満	0	0.0%	3	0.4%	45	5.3%	46	5.5%	115	13.7%	12	1.4%	842
25～29歳	0	0.0%	12	1.0%	86	7.1%	65	5.4%	179	14.9%	13	1.1%	1,204
30～34歳	1	0.1%	9	0.9%	49	5.1%	37	3.9%	145	15.1%	8	0.8%	960
35～39歳	3	0.3%	5	0.5%	57	5.7%	37	3.7%	135	13.4%	11	1.1%	1,005
40～44歳	8	0.6%	24	1.7%	71	5.1%	57	4.1%	188	13.6%	17	1.2%	1,382
45～49歳	9	0.6%	23	1.5%	85	5.6%	78	5.1%	199	13.1%	10	0.7%	1,518
50～54歳	10	0.7%	22	1.6%	92	6.8%	272	20.2%	218	16.2%	7	0.5%	1,349
55～59歳	1	0.1%	10	1.0%	88	8.7%	439	43.2%	125	12.3%	5	0.5%	1,016
60～64歳	3	0.5%	0	0.0%	28	4.6%	368	61.0%	48	8.0%	3	0.5%	603
65～69歳	0	0.0%	1	0.5%	1	0.5%	148	73.3%	23	11.4%	0	0.0%	202
70歳以上	1	1.3%	0	0.0%	1	1.3%	56	72.7%	8	10.4%	0	0.0%	77
無回答	0	0.0%	1	2.0%	1	2.0%	5	10.0%	2	4.0%	31	62.0%	50
計	36	0.4%	110	1.1%	604	5.9%	1,608	15.8%	1,385	13.6%	117	1.1%	10,208

② 年齢階級 × 現在の勤務先・10年後の勤務希望

年齢階級	病院 (400床以上)		病院 (200～399床)		病院 (200床未満)		有床診療所		無床診療所		訪問看護 ステーション	
	現在	10年後	現在	10年後	現在	10年後	現在	10年後	現在	10年後	現在	10年後
25歳未満	421	232	295	203	84	78	4	11	7	44	4	42
25～29歳	502	255	320	189	163	147	12	17	74	112	50	99
30～34歳	329	174	217	137	162	114	20	16	105	137	69	98
35～39歳	284	166	190	126	188	133	24	20	140	145	113	131
40～44歳	309	187	280	182	231	168	44	27	247	245	153	149
45～49歳	267	145	285	165	254	190	44	29	319	305	197	200
50～54歳	207	55	235	89	219	113	45	18	291	223	177	140
55～59歳	132	12	132	29	175	47	38	17	261	116	124	68
60～64歳	47	7	77	5	83	22	32	5	155	48	79	30
65～69歳	5	0	20	4	26	5	6	1	46	5	32	7
70歳以上	3	0	6	1	15	2	2	0	22	4	6	1
無回答	5	2	2	1	1	3	0	1	3	1	1	0
計	2,511	1,235	2,059	1,131	1,601	1,022	271	162	1,670	1,385	1,005	965

年齢階級	介護老人福祉施設		介護医療院		障がい児・者施設等		その他		看護業務以外の職場	働いていない	無回答	計	
	現在	10年後	現在	10年後	現在	10年後	現在	10年後	10年後	10年後	現在	現在	10年後
25歳未満	1	6	0	0	2	3	7	115	45	46	16	842	830
25～29歳	4	11	4	0	7	12	42	179	86	65	19	1,204	1,191
30～34歳	7	19	4	1	3	9	24	145	49	37	13	960	952
35～39歳	12	20	5	3	4	5	23	135	57	37	8	1,005	994
40～44歳	24	29	11	8	21	24	22	188	71	57	12	1,382	1,365
45～49歳	53	49	11	9	24	23	24	199	85	78	9	1,518	1,508
50～54歳	54	53	14	10	23	22	30	218	92	272	19	1,349	1,342
55～59歳	44	30	21	1	18	10	25	125	88	439	9	1,016	1,011
60～64歳	47	24	10	3	13	0	18	48	28	368	3	603	600
65～69歳	30	3	4	0	8	1	5	23	1	148	2	202	202
70歳以上	14	2	1	1	4	0	2	8	1	56	0	77	77
無回答	4	2	0	0	3	1	0	2	1	5	31	50	19
計	294	248	85	36	130	110	222	1,385	604	1,608	141	10,208	10,091

※ 端数処理の関係により、割合等の合計が100%とならない場合があります。

VI 福岡県看護職員確保対策協議会

福岡県看護職員確保対策協議会設置要綱

(設置目的)

第1条 福岡県内の看護職員の現状を踏まえ、看護職員の確保及び質の向上等を図るための具体的施策を協議するため、福岡県看護職員確保対策協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(協議事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1)看護職員の需給に関する事
- (2)看護職員の確保・定着対策に関する事
- (3)看護の質の向上に関する事
- (4)その他必要と認める事

(組織)

第3条 協議会は、次に掲げる者の中から15名程度の委員を以って構成し、知事が委嘱又は任命する。

- (1)学識経験者
- (2)看護教育機関
- (3)病院等看護管理者
- (4)関係団体
- (5)就労支援機関
- (6)その他知事が必要と認める者

第3条の2 前条の委員のほか、大学等研究機関から1名程度のアドバイザーを置き、知事が委嘱又は任命する。アドバイザーは、協議会に出席し研究協議・意見交換が活性化するよう助言を行う。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選により選出する。

- 2 会長は会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故等があるときは、その職務を代行する。

(委員等の任期)

第5条 委員及びアドバイザーの任期は、2年とする。ただし、委員等が欠けた場合における補欠の委員等の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員等は、再任することができる。

(会議)

第6条 協議会は、会長が招集する。

- 2 会長は、必要があるときは、会議に委員等以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、福岡県保健医療介護部医療指導課医師・看護職員確保対策室において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関しその他必要な事項は、会長が別途定める。

附 則

この要綱は、令和元年8月8日から施行する。

福岡県看護職員確保対策協議会 委員名簿

（任期：令和6年2月13日～令和8年2月12日）

【委員】

（敬称略）

区 分	所 属	委員	
		職 位	名 前
学識経験者	日本赤十字九州国際看護大学	学長	池松 裕子 ◎
看護教育機関	公立大学法人 福岡県立大学	看護学部長	石田 智恵美
	福岡市医師会看護専門学校	教務長	稲田 由香里
病院等看護管理者	独立行政法人 国立病院機構九州医療センター	看護部長	西山 ゆかり
関係団体	公益社団法人 福岡県医師会	専務理事	瀬戸 裕司 ○
	公益社団法人 福岡県看護協会	専務理事	掛川 秋美
	公益社団法人 福岡県病院協会	理事	横倉 義典
	公益社団法人 福岡県介護老人保健施設協会	副会長	松本 久美
	一般社団法人 福岡県精神科病院協会	副会長	山浦 敏宏
	一般社団法人 福岡県私設病院協会	理事	川崎 裕司
	社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会	施設・人材・研修部長	武田 明彦
	福岡県有床診療所協議会	会長	原 速
	福岡県訪問看護ステーション連絡協議会	理事	西 秀博
就労支援機関	福岡中央公共職業安定所	統括人材確保担当官	山下 大輔
	福岡県ナースセンター	事業責任者	桑原 淑子

※ 会長…◎ 副会長…○

【アドバイザー】

区 分	所 属	職 位	名 前
大学等研究機関	産業医科大学公衆衛生学教室	准教授	村松 圭司

VII 調査票

看護職員確保に係る実態調査（施設調査票）

I 施設の基本情報について

問1 貴施設の状況についてお伺いします。

（1）貴施設の法人名及び名称をご記入ください。

法人名		施設名称	
-----	--	------	--

（2）施設区分

- | | | |
|----------------|--------------|--------------|
| 1 病院(400床以上) | 5 無床診療所 | 9 介護医療院 |
| 2 病院(200～399床) | 6 訪問看護ステーション | 10 障がい児・者施設等 |
| 3 病院(200床未満) | 7 介護老人保健施設 | 11 その他 |
| 4 有床診療所 | 8 介護老人福祉施設 | |

（3）施設所在地(医療圏)

- | | | |
|---------|----------|--------|
| 1 福岡・糸島 | 6 久留米 | 11 田川 |
| 2 粕屋 | 7 八女・筑後 | 12 北九州 |
| 3 宗像 | 8 有明 | 13 京築 |
| 4 筑紫 | 9 飯塚 | |
| 5 朝倉 | 10 直方・鞍手 | |

II 看護職員の状況について

問2 看護職員の状況

（1）看護職員数(実人員)【※委託・派遣を除く】について各職種ごとの人数を入力してください。
該当がない場合は、「0(ゼロ)」と入力してください。

	保健師	助産師	看護師	准看護師
1 令和5年4月1日時点の在籍看護職員数 (令和5年5月1日の免許取得予定者を含む)				
2 令和5年10月1日時点の在籍看護職員数				
3 令和6年3月31日時点の在籍看護職員数 (3月31日付の退職者数を含む)				
4 3のうち、外国籍の看護職員数 (在留外国人・EPA含む)				
5 令和5年度新卒採用者数(「新卒」とは免許取得 後初めて就労した職員とする)				
6 5のうち令和5年度中の新卒退職者数				
7 令和5年度の既卒採用者数 (「新卒」以外の看護職)				
8 7のうち令和5年度中の既卒退職者数				
9 令和5年度の総退職者数 (新卒・既卒・定年退職者全てを含む)				
10 令和5年度の定年退職者数				
11 10のうち定年後の再雇用者数				

(2) 令和6年度の看護職員充足状況

該当がない場合は、「〇(ゼロ)」と入力してください。

①令和6年4月1日時点の採用必要数

※定期の採用の他、退職・休職等による人員補充や増床等拡大を含む、採用を必要とした看護職員の人数

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師
人数				

②令和6年4月1日付採用者総数（委託・派遣除く）

※新卒・既卒にかかわらず、系列病院からの異動を含む、実際に令和6年4月1日付で採用した看護職員の人数

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師
人数				

③令和6年4月1日付採用者総数（委託・派遣のみ、実人数）

職種	保健師	助産師	看護師	准看護師
人数				

(3) 過去1年間の貴施設における看護職員の確保状況について、当てはまるものを選択してください。

- 1 困っていない
- 2 時期や状況によって困ることがある
- 3 年間を通して困っている

(4) (3) で2と回答した施設にお伺いします。困る時期について、下記のうち当てはまるものを選択してください。

- 1 4～5月（年度初め）
- 2 10月頃（半年経過）
- 3 2～3月（年度終わり）
- 4 その他

(5) (3) で2・3と回答した施設にお伺いします。困る理由について、下記のうち当てはまるものを選択してください。

- 1 募集しても集まらない
- 2 新人看護職員が多く、業務負担が増加
- 3 産前産後休暇・育児休業等の職員が多い
- 4 退職予定職員の休暇取得が多い
- 5 その他

(6) (3) で2・3と回答した施設にお伺いします。困った時にどのような工夫をして対応しましたか。

（当てはまるもの全てを選択）

- 1 業務・サービス内容を見直した
- 2 他職員が不足する病棟を応援する等病院(系列の施設) 全体で取組んだ
- 3 ITやDXの活用により、業務の効率化を図った
- 4 派遣職員を雇用した
- 5 臨時・パート職員を雇用した
- 6 病床又は病棟を減らした(休床)
- 7 その他

問3 貴施設における看護職員の勤務形態についてお伺いします。

（当てはまるもの全てを選択）

- 1 2交代制
- 2 3交代制
- 3 宿直制
- 4 日勤
- 5 日勤+オンコール
- 6 その他（ ）

問4 昇給制度について

(1) 貴施設に昇給制度はあるかについて、お伺いします。

- 1 ある 2 ない

(2) 資格取得や能力に応じた手当は、採用しているかお伺いします。

- 1 ある 2 ない

(3) (2)で「1. ある」と回答した施設にお伺いします。どのような手当を採用していますか。(当てはまるもの全てを選択)

- 1 認定看護師手当 4 診療看護師手当
2 専門看護師手当 5 分娩手当(助産師)
3 特定行為に係る手当 6 その他()

問5 令和5年1月～令和5年12月の看護職員の年次有給休暇平均取得日数について、お伺いします。

- 1 1～5日未満 4 15～20日未満
2 5～10日未満 5 20日以上
3 10～15日未満

問6 貴施設の教育研修体制についてお伺いします。

(1) 貴施設では、新人看護職員の採用はありますか。(※新人看護職員は、卒後初めて就職する看護職員をいう)

- 1 ある 2 ない 3 今後予定している

(2) 貴施設で新人看護職員を採用する場合、必要な取組は何と考えますか。(当てはまるもの全てを選択)

- 1 養成所等における基礎教育・技術指導の充実
2 自施設の教育体制整備(指導者の確保・育成、教育プログラム・マニュアル整備、メンタル支援等)
3 新人看護職員のフォロー(相談や技術指導等)のための養成所等との連携体制
4 福利厚生・労働環境の整備
5 その他()

(3) 貴施設において、看護職員が受講できる研修で当てはまるもの全てを選択してください。

- 1 新人看護職員研修(自施設・他施設が行う集合研修)
2 新任期(2～3年目)看護職員フォローアップ研修(自施設・他施設が行う集合研修)
3 新人看護職員の指導者向け研修(看護協会が実施する研修責任者・教育担当者・実地指導者研修)
4 習熟段階に応じた研修(キャリアラダー別研修)
5 専門別研修
6 管理者向け研修
7 特になし

問7 看護職員が保有する資格等について、お伺いします。

(1) 貴施設における次の資格保有者数を入力してください。該当者がいない場合は、「0(ゼロ)」と入力してください。

	人数(人)
1 特定行為研修修了者	
2 認定看護師	
3 専門看護師	
4 診療看護師(NP)	

※ 1は厚生労働省が認定する施設での研修修了者、2・3は日本看護協会の認定資格、4は日本診療看護師教育大学院協議会の認定資格

診療看護師:患者のQOL向上のために医師や他職種と連携・協働し倫理的かつ科学的根拠に基づき、一定レベルの診療を行うことができる看護師をいう。

(2) (1)で「1 特定行為研修修了者」が0(ゼロ)人と回答した施設にお伺いします。

受講しない理由を教えてください。(当てはまるもの全てを選択)

- 1 特定行為研修についての情報収集の段階である
- 2 医師や関係職種の理解が得られない
- 3 特定行為の活用方法がわからない
- 4 人員不足で研修受講期間中の人員補充が困難である
- 5 受講希望者がいない
- 6 施設として配置を考えていない
- 7 経費が高額である
- 8 その他

Ⅲ 勤務環境について

問8 貴施設における「子育てと仕事の両立支援」「介護と仕事の両立支援」の実施状況についてお伺いします。

(当てはまるもの全てを選択)

- 1 勤務希望のシフト調整を行っている
- 2 法定に上乗せした育児休業制度がある(4歳までに延長等)
- 3 院内保育所がある
- 4 保育所に支払う保育費の補助を行っている
- 5 学童保育がある
- 6 短時間勤務制度がある
- 7 介護休業制度がある
- 8 法定5日を超える介護休暇制度がある
- 9 フレックスタイム制または時差出勤を導入している
- 10 介護に関する費用の助成を行っている
- 11 その他
- 12 上記に示すいずれの制度もない

Ⅳ 看護職員の確保について

問9 貴施設における看護職員の求人方法について、当てはまるもの全てを選択してください。

- 1 ハローワークへの求人
- 2 ナースセンターへの求人(e-ナースセンター)
- 3 民間の有料職業紹介会社への求人
- 4 法人、施設等のホームページへの掲載
- 5 就職懇談会・説明会への参加
- 6 広報(チラシ、新聞・雑誌・市町村広報誌への掲載等)
- 7 大学、養成所等への募集案内、巡回
- 8 その他

問10 看護職員の確保や定着について課題と感ずることについて、当てはまるもの全てを選択してください。

- 1 夜勤ができる人材の確保に苦慮している
- 2 人材確保のため民間の有料職業紹介会社を利用しているが、経済的負担が大きい
- 3 離職が多い(新卒者・中途採用者も長期雇用にならない人が増加)
- 4 経営面の問題で、労働条件や労働環境改善をすることが難しい
- 5 管理者の指導・管理能力等が不足している
- 6 施設の教育体制が脆弱である(指導する職員の知識・技術不足、教育・研修時間の確保が難しい等)
- 7 看護職員の意欲・姿勢、コミュニケーション能力等が十分でない
- 8 健康問題(精神的不調・身体的不調の職員)を抱える職員の増加
- 9 看護技術(キャリアに応じた知識・技術)が十分でない
- 10 看護補助者の確保が難しい
- 11 現在の診療報酬では賃金が上げられない
- 12 その他 ()
- 13 課題はない

問11 看護職員の離職理由として貴施設が考える多いものを3つまで選択してください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 職員間の人間関係 | 8 勤務時間が長い・超過勤務が多い・多忙 |
| 2 結婚 | 9 夜勤の負担・不安が大きい |
| 3 妊娠・出産・子育て | 10 リフレッシュのため |
| 4 転居 | 11 他職場への関心・再就職 |
| 5 自分の適性・能力への不安 | 12 親族の健康問題・介護 |
| 6 自分の健康(身体的・精神的理由) | 13 その他 () |
| 7 スキルアップの機会が少ない | |

問12 令和5年に改正された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針(厚生労働省医政局長等通知)」では、55歳以上の看護職員の就業の推進が必要とされています。そこで、貴施設における55歳以上の看護職員の活用状況について、お伺いします。

(1) 令和6年3月31日時点の、貴施設における55歳以上の看護職員について、年齢及び正規・非正規職員別の看護職員数を入力してください。

※正規職員は、短時間勤務含む。非正規職員は、パート・契約職員・嘱託等で派遣は含まず。

該当がない場合には、「〇(ゼロ)」と記入してください。

		正規職員(人)	非正規職員(人)
年 齢 区 分	55～59歳		
	60～64歳		
	65～69歳		
	70歳以上		

(2) 定年制の導入・延長や再任用の有無について、お伺いします。(当てはまるものを選択及び上限年齢を入力してください)

		現状		今後の予定	
		あり	上限年齢	なし	延長・導入あり ある場合の 上限年齢
1	定年制		歳		歳
2	再任用		歳		歳

(3) 貴施設では、定年以降の看護職員の活用(拡充)を考えていますか。

- 1 積極的に活用したい 2 活用したい 3 考えていない

(4) (3)で「1 積極的に活用したい」「2 活用したい」と回答した施設にお伺いします。定年以降の看護職員に求める業務・役割について、当てはまるものを全てを選択してください。

- 1 院内の案内
- 2 患者相談・サポート、患者家族の相談・対応
- 3 入退院支援、地域連携の調整
- 4 新人の教育支援や中途採用者の相談支援
- 5 新任看護管理者の相談支援
- 6 地域住民向けの健康相談や健康教室の講師
- 7 職員が手薄となる時間帯(夕方等)のカバー、急な欠勤のバックアップ
- 8 産休・育休中の職員のバックアップ
- 9 介護老人保健施設等における感染管理
- 10 要介護認定に係る業務
- 11 その他 ()

V. 看護補助者の確保について

問13 貴施設における看護補助者の勤務状況についてお伺いします。

(1) 貴施設における看護補助者(正規雇用・非正規雇用)の採用・退職の状況について、入力してください。

※退職者には、非常勤の補助者の雇用契約終了又は派遣職員の補助者の派遣終了に伴う退職者を含む。

※該当がない場合(新規採用者がいなかった場合等)は、「0(ゼロ)」と入力してください。

採用者・退職者の状況		自施設雇用職員数		自施設以外雇用職員(委託・派遣)数	
		常勤数	非常勤数	常勤数	非常勤数
1	令和5年4月1日時点の在籍看護補助者数				
2	1のうち、外国籍の看護補助者数(在留外国人、EPA含む)				
3	令和5年4月1日～令和6年3月31日の新規採用者数				
4	3のうち、年度末までに退職した新規採用者数				
5	令和5年4月1日～令和6年3月31日の看護補助者総退職者数 ※定年退職者、新規採用者の退職者を含む全退職者数				
6	令和6年4月1日時点の採用必要数				
7	5に対する令和6年4月1日付の実際の採用者総数				
8	年代別人数 (令和5年4月1日時点)				
	29歳以下				
	30～39歳以下				
	40～49歳以下				
	50～59歳以下				
	60～69歳以下				
	70歳以上				

(2) 過去1年間の貴施設における看護補助者の確保状況について、当てはまるものを選択してください。

- 1 困っていない
- 2 時期や状況によって困ることがある
- 3 年間を通して困っている

(3) 貴施設における看護補助者の確保に向けた取組状況について、お伺いします。

① 現在の取組状況について、下記のうち当てはまるものを選択してください。

- | | |
|-------------|-----------|
| ア 既に取り組んでいる | ウ 検討していない |
| イ 検討中 | エ わからない |

② ①でア、イと回答した施設にお伺いします。

どのような取組み(検討)をしていますか。(当てはまるもの全てを選択)

- | | |
|-----------------------------|---|
| ア 看護補助者対象の研修の実施(外部研修活用含む) | |
| イ 看護補助者を正規職員として雇用 | |
| ウ 看護補助者の人事評価(評価に応じた昇給・手当支給) | |
| エ 看護補助者の求人活動強化 | |
| オ その他(具体的に |) |

③ ①で「ウ 検討していない」と回答した施設方にお伺いします。

取組を検討していない理由をお答えください。(当てはまるもの全てを選択)

- | | |
|---------------|---|
| ア 取り組む時間がない | |
| イ 取り組む人がいない | |
| ウ 取り組む費用がない | |
| エ 取組を必要としていない | |
| オ その他(具体的に |) |

(4) 看護補助者を雇用している施設の方にお伺いします。

看護補助者が行っている業務及び指導が難しいと感じる業務について、当てはまるもの全てを選択してください。

業務内容			行っているもの	難しいと感じるもの
周辺業務(対象者に接しない業務)	生活環境に関わる業務	1 病床及び病床周辺の清掃・整頓		
		2 病室環境(温度・湿度・遮光・換気など)の調整		
		3 シーツ交換・ベッドメイキング		
		4 リネン類の管理		
	診療に関わる周辺業務	5 診療・検査等の書類(伝票等)の準備、補充		
		6 診療に必要な機器・器具等の準備、片づけ		
		7 診療材料の補充・整理		
		8 診療材料の運搬		
		9 入退院・転出入に関する業務		
直接ケア(「対象者の状態像」「看護補助者が業務を実施する状況」によって看護補助者が実施可能かどうかは異なる)	日常生活に関わる業務	10 食事に関する業務		
		11 身体の清潔に関する業務		
		12 排泄に関する業務		
		13 安全安楽に関する業務		
		14 移動・移送に関する業務		
		15 夜勤業務		
		16 その他(具体的に)		

(5) 看護補助者の雇用に係る看護補助者処遇改善補助金※の活用状況についてお伺いします。

① 貴施設では、看護補助者処遇改善補助金を活用しましたか。

1 はい 2 いいえ

② ①で「1. はい」と回答した施設方にお伺いします。補助金活用後、継続的な賃金改善を実施していますか。

1 継続している 2 一部縮小して継続している 3 継続していない

※看護補助者処遇改善補助金：医療分野では他の産業に賃上げが追い付いていないため、病院及び有床診療所に勤務する看護補助者を対象に、賃上げ効果が継続される取組を前提として、収入を引き上げるために必要な経費を補助するもの(国→県補助→施設)

補助金額：対象施設の看護補助者 常勤換算1人当たり月額平均6,000円の賃上げに相当する額

対象期間：令和6年2月～令和6年5月分の賃金引上げ分(以降も、別途賃上げ効果が継続される取組みを行

ご協力ありがとうございました。

看護職員確保に係る実態調査（看護職員調査票）

I. 職場選択の考え方について

問1 あなたが現在の職場を選ぶ際に、最も活用した情報はどれですか。（1つ選択）

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1 ハローワーク | 7 友人・知人からの紹介 |
| 2 ナースセンター（eナースセンター含む） | 8 臨地実習施設の情報 |
| 3 民間の職業紹介会社 | 9 法人、施設からの就職の働きかけ |
| 4 大学・養成所等での進路指導 | 10 広告（チラシ、新聞・雑誌・市町村広報への掲載等） |
| 5 法人、施設等のホームページ | 11 その他（ ） |
| 6 就職懇談会（セミナー）・説明会 | |

問2 あなたが現在の職場を選んだ理由は何ですか。（当てはまるもの全てを選択）

- 1 仕事の内容が魅力的（働きがいがある。今後もニーズがある等）
- 2 設置者の理念・方針に共感したから
- 3 資格・技能が活かせるから
- 4 教育体制が充実しているから
- 5 通勤が便利だから
- 6 給与が高いから
- 7 福利厚生・労働環境（子育て支援・介護支援等）が充実しているから
- 8 経営が健全で将来的に安定した職場であるから
- 9 勤務時間に柔軟性があるから
- 10 人に勧められたから（家族・学校・先輩など）
- 11 その他

問3 現在の仕事の満足度についてお伺いします。当てはまるものを選択してください。

- | | | | |
|------|--------|--------|------|
| 1 満足 | 2 やや満足 | 3 やや不満 | 4 不満 |
|------|--------|--------|------|

問4 これまでのお仕事の経験について、お伺いします。

（1）看護職員として転職したことがありますか。

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

（2）（1）で「1 ある」と回答した方にお伺いします。

以前、勤務していた職場を辞めた理由は、何ですか。（当てはまるもの全てを選択）

※離職されたことが複数回ある方は、今までの理由を全て選んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 職場の人間関係 | 11 自身の精神的な健康問題 |
| 2 賃金が安い | 12 夜勤ができない |
| 3 能力が適正に評価されない | 13 通勤が不便 |
| 4 教育体制・スキルアップの機会がない | 14 結婚・妊娠・出産 |
| 5 有給休暇がとりにくい | 15 子供の教育・進学 |
| 6 時間外勤務が多い | 16 家族の介護 |
| 7 職場の相談体制の不足（フォロー体制） | 17 転居 |
| 8 患者・家族、上司等からの暴言・暴力 | 18 定年、雇用期間終了 |
| 9 業務の負担感（看護部内の役割が多い等） | 19 他にしたいことがある |
| 10 自身の身体的な健康問題 | 20 その他 |

Ⅱ. 看護職員として生涯働くことのできる要件や働きやすい職場環境について

問5 看護職員として働き続けるために、必要だと思う条件や仕事の負担について、お伺いします。

(1) 現在の職場であなたが感じる、労働条件・仕事の負担等での悩み、不安、不満等は何ですか。

(当てはまるもの全てを選択)

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1 仕事の内容・やりがいが少ない | 9 有給休暇がとりにくい |
| 2 教育体制・キャリアアップの機会(研修の機会・能力開発等)が少ない | 10 医療のIT化に適應できない |
| 3 雇用形態に不満がある(非正規・パート等) | 11 身体的・精神的負担が大きい |
| 4 人手が足りない | 12 職場の人間関係 |
| 5 仕事内容のわりに賃金が低い | 13 事故や感染の危険がある |
| 6 福利厚生に不満がある | 14 自身の知識・技術の不足がある |
| 7 時間外勤務が多い・勤務時間が長い | 15 その他 |
| 8 夜勤の負担が大きい | 16 なし |

(2) 看護職員が生涯働き続けられるには、何が必要と考えますか。(当てはまるもの全てを選択)

- 1 仕事とプライベートの両立ができる
- 2 処遇に見合った賃金
- 3 自分のスキルに合った仕事内容
- 4 キャリアに応じた教育体制
- 5 自身の健康
- 6 多様な勤務形態の導入(日勤のみ・夜勤専従・短時間勤務等)
- 7 定年延長・再任用の導入
- 8 子育て支援の充実
- 9 介護支援の充実
- 10 その他

(3) 令和5年に改正された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針(厚生労働省 医政局長等通知)」では、55歳以上の看護職員の就業の推進が必要とされていますが、ご存じですか。

- 1 はい
- 2 いいえ

(4) あなたが55歳以降も働く場合、何歳まで継続して働きたいと思いますか。

- | | |
|----------|----------|
| 1 55～59歳 | 4 70歳以上 |
| 2 60～64歳 | 5 わからない |
| 3 65～69歳 | 6 働きたくない |

問6 働く現場でのハラスメントの状況等について、お伺いします。

(1) あなたは、過去1年間に仕事に「患者やその家族から」以下のようなことを受けたことがありますか。
(当てはまるもの全てを選択)

※ 勤務経験が1年未満の方は、入職して今までの期間の経験でお答えください。

- 1 セクシャルハラスメント(意に添わない性的誘い掛けや好意的態度の要求等、性的な嫌がらせ行為等)
- 2 身体的な暴力
- 3 言葉の暴力
- 4 カスタマーハラスメント
- 5 その他()
- 6 ない

(2) あなたは、過去1年間に「職場の上司や同僚等から」以下のようなことを受けたことがありますか。
(当てはまるもの全てを選択)

※ 勤務経験が1年未満の方は、入職して今までの期間での経験でお答えください。

1 セクシャルハラスメント

(意に添わない性的誘い掛けや好意的態度の要求等、性的な嫌がらせ行為等)

2 パワーハラスメント

(職務上の地位や職場での人間関係等の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える行為)

3 マタニティハラスメント・パタニティハラスメント

(妊娠・出産、男性の父性に対し、上司や同僚の言動により、対象職員の就業環境が害されること)

4 モラルハラスメント(職場での優位性に関係なく行われる精神的嫌がらせ行為)

5 その他 ()

6 ない

(3) (1) で1～5、(2) で1～5のいずれかを選択した方にお伺いします。

ハラスメントを受けた後の対応について、誰かに相談しましたか。(当てはまるもの全てを選択)

1 上司に相談した

5 組織外の相談窓口相談した

2 先輩や同僚に相談した

6 誰にも相談していない

3 家族や友達に相談した

7 その他 ()

4 施設内の相談窓口相談した

(4) ハラスメントに係るあなたの職場での取組みについて、お伺いします。

職場の取組みで知っているもの全てを選択してください。

1 相談窓口又は相談窓口担当者が周知されている

2 被害を受けた場合の配慮がある(メンタルサポート対応や行為者への対応の体制等)

3 被害防止のための取組み(マニュアルや研修への参加)

4 その他 ()

5 知らない

Ⅲ. 労働日・労働時間について

問7 現在の職場でのあなたの勤務時間数・日数について、お伺いします。

(シフト勤務等で変動がある場合は、平均的な時間数・日数をご回答ください)

(1) 1日の平均的な勤務時間(残業を除く)について、お伺いします。(1つ選択)

1 4時間未満

4 8時間以上 10時間未満

2 4時間以上 6時間未満

5 10時間以上 12時間未満

3 6時間以上 8時間未満

6 12時間以上

(2) 1週間に働く平均的な日数について、お伺いします。(1つ選択)

1 2日以内

3 5日

2 3～4日

4 6日以上

Ⅳ. 資質向上について

問8 あなたの職場における看護職員の資質向上のための取組状況について、お伺いします。

(1) 研修を受講する機会がありますか。(外部研修を含む)

1 ある

2 ない

(2) (1) で「1 ある」と回答した方にお伺いします。

下記研修の中で、これまで受講したものは何がありますか。(自施設・外部研修含む)(当てはまるもの全てを選択)

- 1 新人看護職員研修
- 2 新任期(2～3年目)看護職員研修(フォローアップ研修等)
- 3 習熟段階に応じた研修(キャリアラダー別研修)
- 4 管理者向け研修
- 5 専門別研修

(3) 県では新人看護職員の指導者となる看護職員の資質向上のため、「新人看護職員研修責任者研修」「新人看護職員教育担当者研修」「新人看護職員実地指導者研修」を開催(県看護協会が委託を受け実施)していますが、受講したことがありますか。

- 1 ある
- 2 ない

(4) (3) で「2 ない」と回答した方にお伺いします。

受講していない理由で当てはまるもの全てを選択してください。

- 1 新人の入職がない
- 2 研修を受講できる教育体制がない
- 3 人手不足で外部研修を受けられない
- 4 その他

(5) あなたの資格取得状況についてお伺いします。

下記の資格取得の状況と今後の予定について、当てはまるものを選択してください。

資格等の内容	取得している	取得予定
1 特定行為研修修了		
2 認定看護師		
3 専門看護師		
4 認定看護管理者		
5 診療看護師		
6 アドバンス助産師		
7 その他()		

※ 1は、厚生省が認定する施設での研修修了者 2・3・4は、日本看護協会の認定資格

5は、日本診療看護師教育大学院協議会の認定資格 7は、日本助産師評価機構の認定資格

V. あなた自身について

問9 あなたの年齢(記入日時点の年齢)についてお伺いします。(1つ選択)

- 1 24歳未満
- 2 25～29歳
- 3 30～34歳
- 4 35～39歳
- 5 40～44歳
- 6 45～49歳
- 7 50～54歳
- 8 55～59歳
- 9 60～64歳
- 10 65～69歳
- 11 70歳以上

問10 あなたの性別についてお伺いします。

1. 男性
2. 女性
3. 回答しない

問11 あなたの出身都道府県および卒業した看護学校の所在都道府県についてお伺いします。

(1) あなたの出身都道府県を教えてください。

(2) あなたが卒業した看護学校(養成所含む)の所在都道府県を教えてください。

問12 あなたの職場と仕事の状況について、お伺いします。

あなたが働く施設の状況についてお伺いします。

(1) 施設の法人名及び名称をご入力ください。

法人名		施設名称	
-----	--	------	--

1	病院(400床以上)	7	介護老人保健施設
2	病院(200～399床)	8	介護老人福祉施設
3	病院(200床未満)	9	介護医療院
4	有床診療所	10	障がい児・者施設等
5	無床診療所	11	その他
6	訪問看護ステーション		

1	福岡・糸島	6	久留米	11	田川
2	粕屋	7	八女・筑後	12	北九州
3	宗像	8	有明	13	京築
4	筑紫	9	飯塚		
5	朝倉	10	直方・鞍手		

- 1 保健師 2 助産師 3 看護師 4 准看護師

- 1 病棟での看護業務
- 2 病棟以外での看護業務（手術室・材料室、外来業務（病院・診療所）
- 3 地域医療連携室・相談室での相談調整業務
- 4 認定看護師、専門看護師等専門に特化した業務
- 5 訪問看護
- 6 助産業務
- 7 施設利用者の健康管理・相談業務
- 8 管理監督業務
- 9 その他（ ）

問13 あなたの就業形態について、お伺いします。(1つ選択)

- 1 正規職員
2 非常勤職員（契約職員、嘱託職員、パートなど）

問14 あなたの勤務形態について、お伺いします。（1つ選択）

- | | | |
|--------|------------|-------|
| 1 2交代制 | 4 日勤のみ | 7 その他 |
| 2 3交代制 | 5 日勤＋オンコール | |
| 3 宿直性 | 6 夜勤専従 | |

問15 あなたが現在働いている施設での経験年数についてお伺いします。

- | | | |
|-----------|------------|---------|
| 1 3年未満 | 3 10～20年未満 | 5 30年以上 |
| 2 3～10年未満 | 4 20～30年未満 | |

問16 あなたの各種手当（夜勤手当、時間外手当、通勤手当、住居手当等）を含めた前月の総支給額はいくらですか。（1つ選択）

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 20万円未満 | 4 30～35万円未満 | 5 45～50万円未満 |
| 2 20～25万円未満 | 5 35～40万円未満 | 6 50万円以上 |
| 3 25～30万円未満 | 6 40～45万円未満 | |

問17 あなたの今後の勤務希望についてお伺いします。

あなたのキャリアを考えたときに、10年後、どのような職場で働いていると考えますか。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 病院(400床以上) | 8 介護老人福祉施設 |
| 2 病院(200～399床) | 9 介護医療院 |
| 3 病院(200床未満) | 10 障がい児・者施設等 |
| 4 有床診療所 | 11 看護業務以外の職場 |
| 5 無床診療所 | 12 働いていない |
| 6 訪問看護ステーション | 13 その他 |
| 7 介護老人保健施設 | |

ご協力ありがとうございました。

看護職員確保に係る実態調査報告書
令和7年3月発行
福岡県保健医療介護部医療指導課

福岡県行政資料	
分類記号 GC	所属コード 4400403
登録年度 06	登録番号 0002